

盛岡市総合計画(2015-2025)の総括

令和8年3月

盛岡市

■はじめに～総括にあたって

本市では、平成27年度から令和6年度までの10年間にわたり「盛岡市総合計画（2015-2025（以下「総合計画」という。））を推進し、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

このたび、令和6年度（2024年度）で計画期間が終了したことから、この期間の取組を振り返り、今後のまちづくりに生かすため、総合計画の総括を行いました。

■総合計画の概要

1 計画の趣旨

総合計画は、市政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画であり、本市の目指す将来像やその実現に向けて展開する市政の各分野における施策などを体系的に示すもので、各分野の個別計画や施策などは、この計画に沿って進められました。

2 計画の期間

平成27年度（2015年度）～令和6年度（2024年度）

3 計画の構成

総合計画は基本構想と実施計画で構成されています。

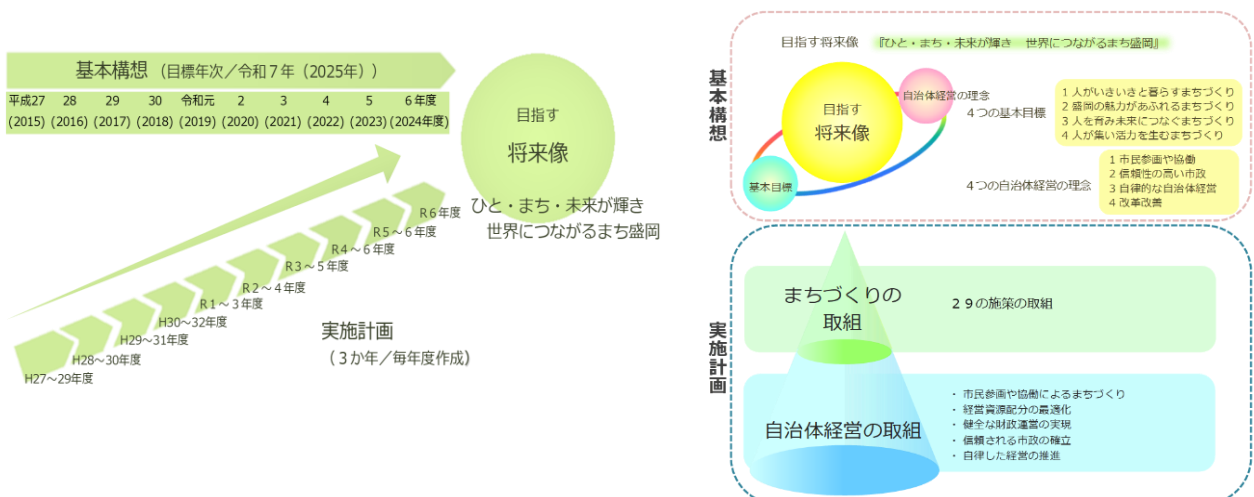
(1) 基本構想

令和7年（2025年）を目標年次とする基本構想では、目指す将来像として「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を掲げ、その実現のために「人がいきいきと暮らすまちづくり」「盛岡の魅力があふれるまちづくり」「人を育み未来につなぐまちづくり」「人が集い活力を生むまちづくり」の4つを本市のまちづくりの基本目標とし、目標を達成するための29の施策を位置付けたほか、社会情勢や市民ニーズ等に的確に対応しながら取り組むための自治体経営の理念を定めました。

(2) 実施計画

具体的な取組を示す実施計画においては、各事業の実施状況や新たに実施する事業の評価・検討を行い、施策の目標達成に向けて改革改善をしながら、ローリング方式による見直しを行い、向こう3年間の計画を毎年度策定しました。

施策の取組である「まちづくりの取組」と、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するための「戦略プロジェクト」のほか、自治体経営の理念に基づく「自治体経営の取組」で構成しています。



目 次

1 まちづくりの取組	3
1 施策体系	3
2 主要事業の投資額（H27-R6）	5
3 施策別指標の達成状況	10
4 施策に対する市民の実感の推移（まちづくり評価アンケートによる）	13
5 施策別詳細	14
基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり	15
施策 1 地域福祉の推進	15
施策 2 子ども・子育て、若者への支援	18
施策 3 高齢者福祉の充実	21
施策 4 健康づくり・医療の充実	23
施策 5 障がい者福祉の充実	26
施策 6 生活困窮者への支援	29
施策 7 人権尊重・男女共同参画の推進	31
施策 8 安全・安心な暮らしの確保	33
施策 9 地域コミュニティの維持・活性化	37
施策 10 生活環境の保全	39
基本目標 2 盛岡の魅力があふれるまちづくり	41
施策 11 歴史・文化の継承	41
施策 12 芸術文化の振興	44
施策 13 スポーツの推進	46
施策 14 「盛岡ブランド」の展開	48
施策 15 良好な景観の形成	51
施策 16 計画的な土地利用の推進	54
基本目標 3 人を育み未来につなぐまちづくり	57
施策 17 子どもの教育の充実	57
施策 18 生涯学習の推進	63
施策 19 社会を担う人材の育成・支援	65
施策 20 地球環境の保全と自然との共生	68
基本目標 4 人が集い活力を生むまちづくり	71
施策 21 農林業の振興	71
施策 22 商業・サービス業の振興	74
施策 23 工業の振興	77
施策 24 観光の振興	80
施策 25 雇用の創出	82
施策 26 都市基盤施設の維持・強化	84
施策 27 交通環境の構築	89
施策 28 国際化の推進	92
施策 29 都市間交流の促進	94

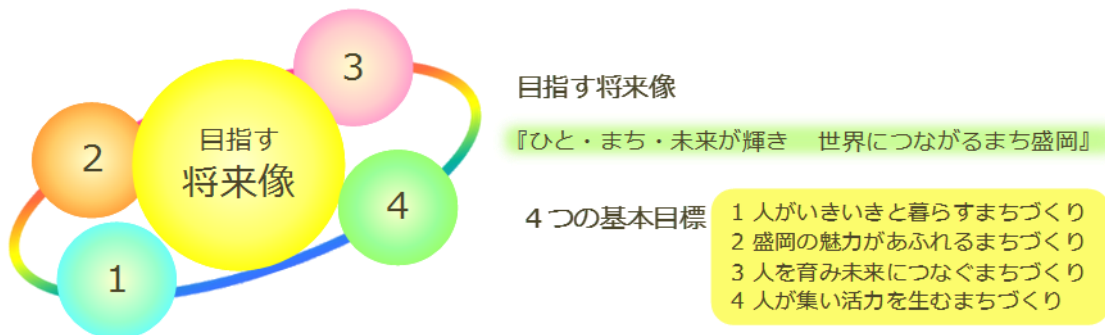
2 戦略プロジェクト	97
1 戦略プロジェクトの変遷	97
2 取組の概要と成果	99
(1) いわて国体おもてなしプロジェクト	100
(2) 子育て応援プロジェクト	101
(3) きらり盛岡おでんせプロジェクト	103
(4) 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト	105
(5) みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト	107
(6) 2020 あつまる・つながるまちプロジェクト	109
(7) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト R2-R3	111
(8) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト R4-R6	113
(9) 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト	116
3 自治体経営の取組	119
1 体系図等	119
2 各取組の成果と課題	120
方針1 市民参画や協働によるまちづくり	121
推進項目Ⅰ 協働の環境整備	121
推進項目Ⅱ 公民連携の推進	122
推進項目Ⅲ 広聴機能の充実	122
推進項目Ⅳ 分かりやすい行政情報の提供	123
方針2 経営資源配分の最適化	125
推進項目Ⅰ 予算配分の最適化	125
推進項目Ⅱ アセットマネジメントの推進	126
推進項目Ⅲ 事務改善の推進	127
方針3 健全な財政運営の実現	130
推進項目Ⅰ 将来負担を意識した財政運営	130
推進項目Ⅱ 自主財源の確保	131
推進項目Ⅲ 出資等法人の健全経営の確保	134
推進項目Ⅳ 地方公営企業の経営の効率化及び健全化	135
方針4 信頼される市政の確立	137
推進項目Ⅰ 組織・人事の適正化	137
推進項目Ⅱ 職員人材育成の推進	138
推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保	139
方針5 自律した経営の推進	142
推進項目Ⅰ 地方分権の推進	142
推進項目Ⅱ 他の自治体との連携の推進	142
4 計画期間中の人口動態・土地利用の状況・財政状況	144
1 人口動態	144
2 土地利用の状況	146
3 財政状況	147
5 全体総括	148
1 10年間のあゆみ	148
2 主な成果	149
3 主な課題	150
4 今後に向けて	150

1 まちづくりの取組

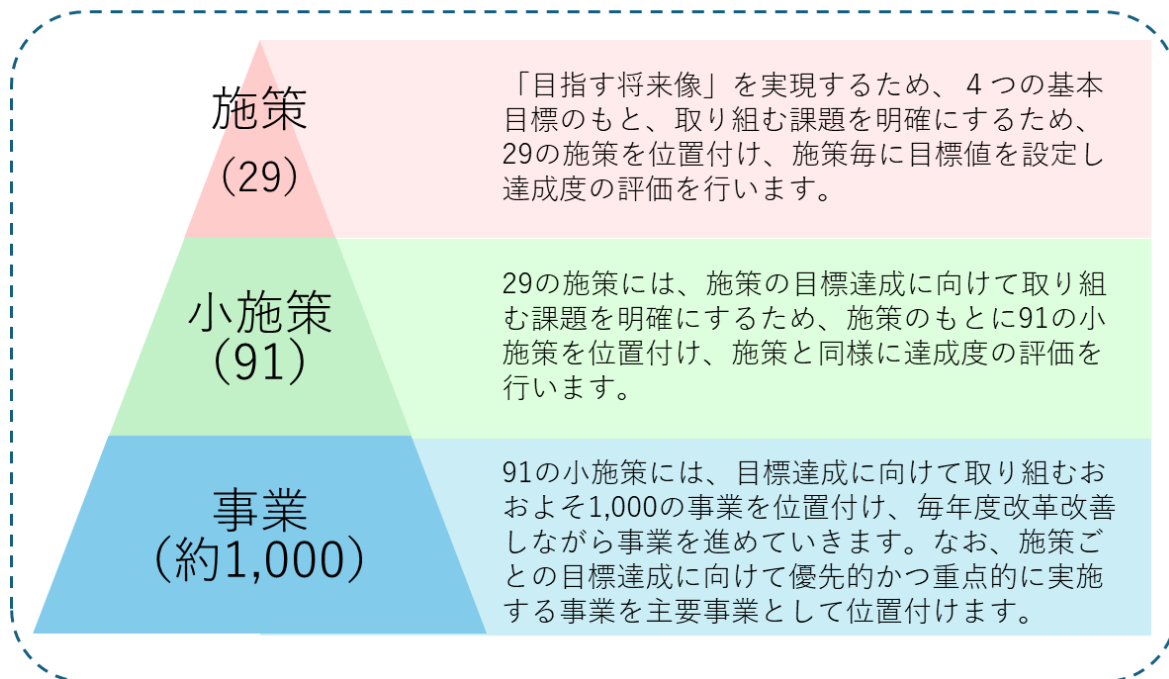
1 施策体系

(1) 施策体系のしくみ

基本構想に定める「目指す将来像」を実現するため、次のような体系を構成し、施策を展開しました。



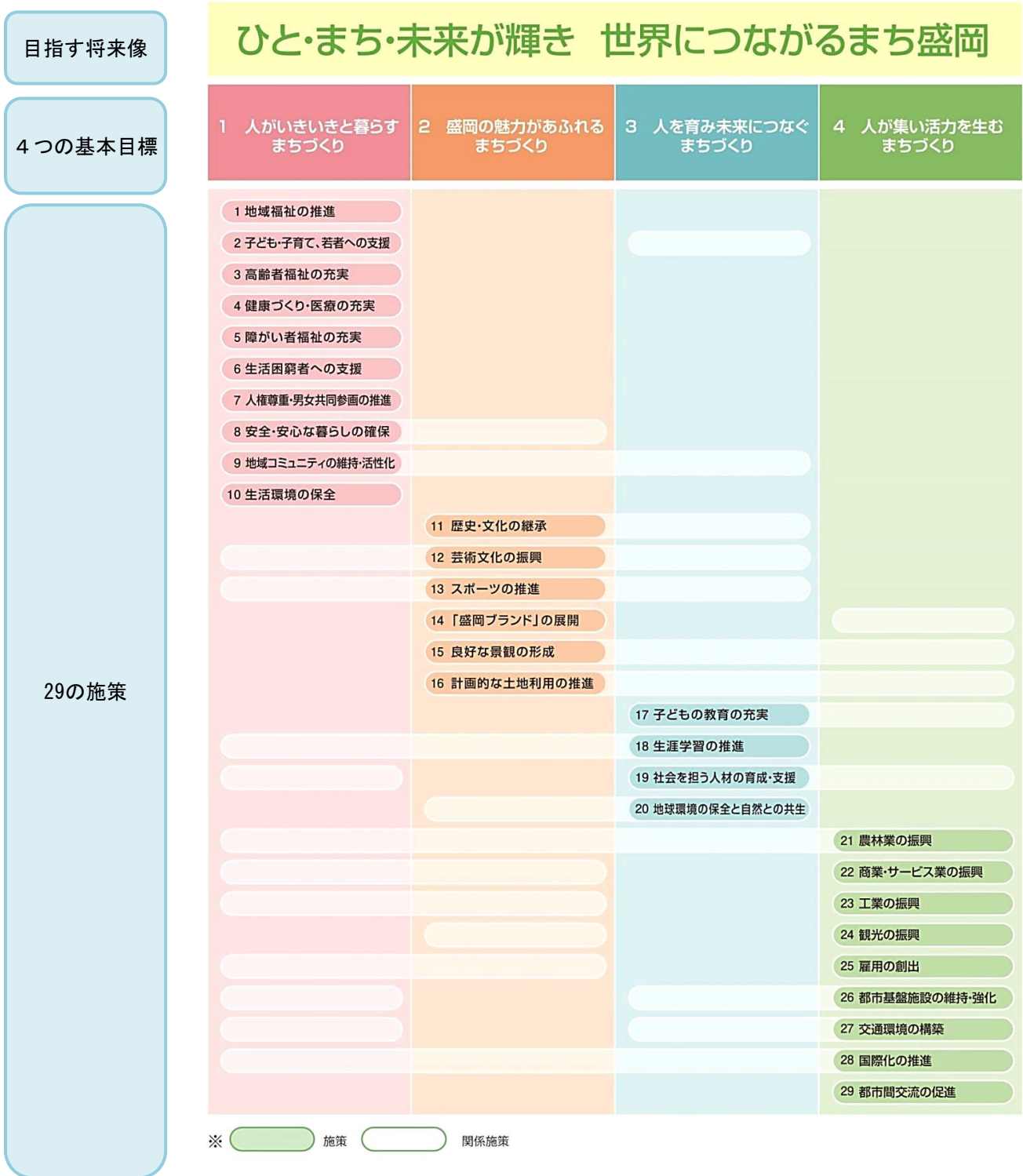
まちづくりの取組



(2) 施策体系図

4つの基本目標を実現させるため、29の施策を下記図のとおり位置付けました。施策間での連携を図り、効果的なまちづくりを進めてきました。

< 目指す将来像の実現に向けた4つの基本目標と29の施策 >



2 主要事業の投資額 (H27-R6)

(1) 施策体系別

(単位：百万円)

基本目標	施策	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	全	
I 人がいきいきと暮らすまちづくり	1 地域福祉の推進	171	160	169	171	182	176	169	179	188	194	1,759	
	2 子ども・子育て、若者への支援	7,057	6,857	9,463	9,927	10,770	11,796	12,218	12,371	13,242	14,243	107,944	
	3 高齢者福祉の充実	26,917	27,841	28,745	28,739	30,151	31,195	31,261	31,967	32,558	32,789	302,163	
	4 健康づくり・医療の充実	41,331	40,486	39,872	36,356	35,475	35,160	36,667	36,504	36,164	37,113	375,128	
	5 障がい者福祉の充実	6,024	6,099	6,439	6,688	7,068	7,252	7,665	7,749	8,135	8,571	71,690	
	6 生活困窮者への支援	8,759	8,564	8,500	8,627	8,512	8,418	8,154	8,064	8,119	8,274	83,991	
	7 人権尊重・男女共同参画の推進	5	4	4	4	5	5	6	5	6	6	6	50
	8 安全・安心な暮らしの確保	3,628	4,017	3,992	4,426	4,972	5,033	4,944	4,726	5,102	5,280	46,120	
	9 地域コミュニティの維持・活性化	161	234	195	205	204	202	189	203	197	199	1,989	
	10 生活環境の保全	234	218	306	289	287	273	256	290	434	441	3,028	
	基本目標 計	94,287	94,480	97,685	95,432	97,626	99,510	101,529	102,058	104,145	107,110	993,862	
II 盛岡の魅力があふれるまちづくり	11 歴史・文化の継承	59	67	50	41	10	9	28	76	839	11	1,190	
	12 芸術文化の振興	28	33	37	28	37	44	136	137	119	125	724	
	13 スポーツの推進	2,044	2,037	127	142	148	213	3,187	3,651	451	361	12,361	
	14 「盛岡ブランド」の展開	3	3	3	3	3	8	12	11	4	3	53	
	15 良好な景観の形成	7	6	25	31	30	84	23	26	28	32	292	
	16 計画的な土地利用の推進	6	7	7	1	2	2	7	6	109	45	192	
	基本目標 計	2,147	2,153	249	246	230	360	3,393	3,907	1,550	577	14,812	
III 人を育み未来につなぐまちづくり	17 子どもの教育の充実	2,895	1,939	1,167	775	1,630	3,015	3,042	1,661	1,831	2,319	20,274	
	18 生涯学習の推進	41	325	154	48	12	48	30	354	912	10	1,934	
	19 社会を担う人材の育成・支援	16	12	12	17	17	17	22	27	20	21	181	
	20 地球環境の保全と自然との共生	75	66	69	59	54	54	55	89	129	79	729	
		基本目標 計	3,027	2,342	1,402	899	1,713	3,134	3,149	2,131	2,892	2,429	23,118
IV 人が集い活力を生むまちづくり	21 農林業の振興	528	587	591	668	549	580	633	595	531	523	5,785	
	22 商業・サービス業の振興	49	44	45	46	55	765	72	54	101	56	1,287	
	23 工業の振興	70	62	65	192	312	1,105	184	129	329	1,054	3,502	
	24 観光の振興	143	109	136	307	136	482	478	2,147	458	194	4,590	
	25 雇用の創出	148	82	126	129	78	221	92	224	93	346	1,539	
	26 都市基盤の維持・強化	9,790	11,115	10,993	11,062	12,728	16,904	15,427	15,943	12,808	13,003	129,773	
	27 交通環境の構築	1,018	887	835	666	135	343	384	517	576	247	5,608	
	28 国際化の推進	18	14	23	24	26	27	22	24	26	23	227	
	29 都市間交流の促進	4	1	5	4	1	10	1	9	1	1	37	
	基本目標 計	11,768	12,901	12,819	13,098	14,020	20,437	17,293	19,642	14,923	15,447	152,348	
	主要事業 計	111,229	111,876	112,155	109,675	113,589	123,441	125,364	127,738	123,510	125,563	1,184,140	

※令和6年度には、令和7年度への繰越額を見込額として含みます。

(2) 基本目標別

基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり (施策 1~10)

(単位: 百万円)

施策	会計	区分	事業費	国費	県費	地方債	(うち特例債)	その他	一般財源
1 地域福祉の推進	一般	計画	1,775	184	11	0	(0)	25	1,555
		実績	1,740	203	21	0	(0)	24	1,491
	一般以外	計画	19	7	4	0	(0)	8	0
		実績	20	8	4	0	(0)	8	0
2 子ども・子育て、若者への支援	一般	計画	107,000	35,818	20,344	10	(0)	8,864	41,964
		実績	107,945	38,528	20,284	7	(0)	8,520	40,605
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
3 高齢者福祉の充実	一般	計画	41,483	948	3,489	674	(0)	2	36,371
		実績	40,992	1,076	1,410	1,710	(0)	0	36,796
	一般以外	計画	256,477	66,353	35,077	0	(0)	121,605	33,441
		実績	261,172	61,709	36,817	0	(0)	103,252	59,393
4 健康づくり・医療の充実	一般	計画	69,352	3,213	12,440	0	(0)	1,694	52,004
		実績	69,679	3,895	12,483	0	(0)	1,771	51,530
	一般以外	計画	303,961	1	90,975	0	(0)	2,864	210,120
		実績	305,448	21,364	133,716	0	(0)	2,776	147,592
5 障がい者福祉の充実	一般	計画	68,217	28,060	16,501	0	(0)	1,473	22,183
		実績	71,692	29,974	17,412	0	(0)	1,471	22,835
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
6 生活困窮者への支援	一般	計画	86,174	59,200	628	4,981	(0)	1,331	20,034
		実績	83,992	58,215	639	3,916	(0)	1,388	19,833
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
7 人権尊重・男女共同参画の推進	一般	計画	52	1	7	0	(0)	0	44
		実績	50	1	5	0	(0)	0	44
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
8 安全・安心な暮らしの確保	一般	計画	47,715	1,886	1,454	4,159	(16)	144	40,072
		実績	46,120	2,067	1,539	2,809	(16)	48	39,656
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
9 地域コミュニティの維持・活性化	一般	計画	2,099	0	29	0	(0)	141	1,929
		実績	1,989	0	25	0	(0)	136	1,828
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
10 生活環境の保全	一般	計画	3,105	0	2	101	(0)	904	2,099
		実績	3,027	0	2	100	(0)	1,006	1,919
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
基本目標 計	一般	計画	426,972	129,309	54,905	9,925	(16)	14,578	218,255
		実績	427,224	133,959	53,821	8,541	(16)	14,364	216,539
	一般以外	計画	560,457	66,362	126,056	0	(0)	124,478	243,561
		実績	566,641	83,081	170,537	0	(0)	106,036	206,985

※四捨五入等の都合上、(1) の値と合致しないことがあります。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり（施策11～16）

（単位：百万円）

施策	会計	区分	事業費						
			国費	県費	地方債	(うち特例債)	その他	一般財源	
11 歴史・文化の継承	一般	計画	1,306	150	0	934	(780)	9	212
		実績	1,189	131	0	869	(706)	0	189
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
12 芸術文化の振興	一般	計画	684	0	6	0	(0)	41	637
		実績	724	27	5	0	(0)	45	648
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
13 スポーツの推進	一般	計画	12,996	52	4,365	5,797	(1,733)	132	2,651
		実績	12,360	79	4,183	5,591	(1,679)	138	2,370
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
14 「盛岡ブランド」の展開	一般	計画	60	18	0	0	(0)	0	43
		実績	54	14	0	0	(0)	0	41
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
15 良好な景観の形成	一般	計画	297	38	0	31	(0)	59	169
		実績	291	40	0	32	(1)	45	174
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
16 計画的な土地利用の推進	一般	計画	278	66	4	0	(0)	3	204
		実績	190	74	0	0	(0)	2	114
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
基本目標 計	一般	計画	15,622	324	4,375	6,762	(2,513)	244	3,916
		実績	14,808	364	4,188	6,492	(2,387)	230	3,535
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり（施策17～20）

（単位：百万円）

施策	会計	区分	事業費	国費	県費	地方債	（うち特例債）	その他	一般財源
17 子どもの教育の充実	一般	計画	19,455	1,717	165	13,217	(1,376)	24	4,331
		実績	20,273	2,630	136	13,533	(1,403)	16	3,959
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
18 生涯学習の推進	一般	計画	2,096	13	0	1,659	(0)	10	414
		実績	1,935	10	0	1,534	(0)	5	385
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
19 社会を担う人材の育成・支援	一般	計画	175	19	0	0	(0)	3	153
		実績	182	27	0	0	(0)	3	152
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
20 地球環境の保全と自然との共生	一般	計画	752	4	1	9	(9)	451	288
		実績	730	49	1	1	(0)	391	289
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
基本目標 計	一般	計画	22,478	1,752	165	14,885	(1,385)	489	5,187
		実績	23,120	2,716	136	15,067	(1,403)	415	4,785
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0

基本目標 4 人が集い活力を生むまちづくり（施策 21～29）

（単位：百万円）

施策	会計	区分	事業費	国費	県費	地方債	（うち特例債）	その他	一般財源
21 農林業の振興	一般	計画	6,256	2	3,014	803	(93)	557	1,879
		実績	5,785	23	2,762	715	(163)	494	1,790
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
22 商業・サービス業の振興	一般	計画	657	24	0	90	(0)	9	534
		実績	1,278	218	390	50	(0)	9	611
	一般以外	計画	5	0	0	0	(0)	0	5
		実績	3	0	0	0	(0)	0	3
23 工業の振興	一般	計画	1,043	94	12	0	(0)	231	707
		実績	1,095	125	37	7	(0)	268	658
	一般以外	計画	3,530	0	0	3,525	(0)	4	2
		実績	2,407	0	0	2,373	(0)	33	1
24 観光の振興	一般	計画	2,244	207	35	401	(345)	19	1,583
		実績	4,591	1,611	192	1,384	(1,094)	13	1,390
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
25 雇用の創出	一般	計画	1,217	0	16	0	(0)	444	756
		実績	1,538	90	83	0	(0)	503	862
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
26 都市基盤の維持・強化	一般	計画	77,143	25,626	528	25,516	(920)	3,792	21,681
		実績	80,786	24,749	487	26,514	(876)	4,679	24,357
	一般以外	計画	55,350	9,482	74	15,371	(0)	2,643	27,780
		実績	48,986	9,516	0	13,185	(0)	2,630	23,656
27 交通環境の構築	一般	計画	6,153	1,910	15	2,555	(0)	172	1,502
		実績	5,608	1,683	19	2,337	(0)	222	1,345
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
28 国際化の推進	一般	計画	290	0	0	0	(0)	191	98
		実績	227	0	0	0	(0)	125	101
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
29 都市間交流の促進	一般	計画	31	3	1	0	(0)	0	26
		実績	35	10	0	0	(0)	0	25
	一般以外	計画	0	0	0	0	(0)	0	0
		実績	0	0	0	0	(0)	0	0
基本目標 計	一般	計画	95,033	27,865	3,621	29,365	(1,358)	5,415	28,767
		実績	100,942	28,509	3,971	31,007	(2,132)	6,313	31,141
	一般以外	計画	58,885	9,482	74	18,896	(0)	2,647	27,787
		実績	51,396	9,516	0	15,557	(0)	2,663	23,659

3 施策別指標の達成状況

各施策に設定しているまちづくり指標の「施策別指標達成状況」及び「指標達成状況」を一覧で掲載しています。

「施策別指標達成状況」は各施策に設定した「指標達成状況」の平均値をとっています。

なお、各指標の詳細については「5 施策別詳細」に掲載しています。

基本目標	施策No	施策	施策別指標達成状況	まちづくり指標	指標達成状況
1 人がいきいきと暮らすまちづくり	1	地域福祉の推進	○	まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	○
				まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合	△
	2	子ども・子育て、若者への支援	△	子育て支援サービス利用者数	△
				まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	△
				まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	○
	3	高齢者福祉の充実	△	75歳介護保険認定者数/75歳人口	☆
				まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	△
	4	健康づくり・医療の充実	☆	3大死因の死亡率（人口10万対年齢調整死亡率）	☆
				まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	◎
				まちづくり評価アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合	◎
	5	障がい者福祉の充実	☆	障がい福祉サービス受給者数	☆
				施設から地域への移行	○
				施設から一般就労への移行	☆
				管内事業所の障がい者雇用率	☆
	6	生活困窮者への支援	☆	生活保護受給世帯から自立した世帯の割合（死亡・移管・失踪などを除く）	☆
				生活困窮者の自立支援相談の解決率	☆
	7	人権尊重・男女共同参画の推進	☆	人権相談件数（女性センター女性相談、子ども青少年課女性相談、子ども家庭総合支援センター児童家庭相談）	☆
	8	安全・安心な暮らしの確保	○	まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	○
				まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	△
				人口1万人当たりの火災発生件数	○
人口1万人当たりの刑法犯認知件数				○	
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数				☆	
消費生活相談の解決率（解決した件数/消費生活相談件数）				△	
9	地域コミュニティの維持・活性化	△	まちづくり評価アンケート調査「コミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合	△	
10	生活環境の保全	☆	まちづくり評価アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合	○	
			焼却処理施設での年間処理量	☆	

基本目標	施策No	施策	施策別指標達成状況	まちづくり指標	指標達成状況
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり	11	歴史・文化の継承	◎	文化財数（国・県・市指定）	◎
				まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	◎
	12	芸術文化の振興	△	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	△
	13	スポーツの推進	○	まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	○
	14	「盛岡ブランド」の展開	△	まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	○
				地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	△
				観光客入込数	△
	15	良好な景観の形成	△	まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	☆
				まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	○
				まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	◎
				まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物（屋外に表示・設置されているはり紙や看板など）は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	○
				まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合	△
	16	計画的な土地利用の推進	◎	都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合（市域における都市計画区域の割合*1）	☆
				農用地として保全し土地利用する割合（市域における農用地区域の割合）	☆
				森林として保全し土地利用する割合（市域における森林区域の割合）	◎

基本目標	施策No	施策	施策別指標達成状況	まちづくり指標	指標達成状況
3 人を育み未来につなぐまちづくり	17	子どもの教育の充実	△	小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生・国語】	△
				小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生・算数】	△
				小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生・国語】	△
				小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生・数学】	△
				小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生・英語】	△
				体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生・男】	○
				体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生・女】	△
				体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生・男】	△
	体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生・女】	△			
	18	生涯学習の推進	△	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの生涯学習をした」と答えた市民の割合	△
	19	社会を担う人材の育成・支援	☆	もりおか若者サポートステーションに年度内に新規登録した盛岡市民のうち就職決定した者の割合	☆
				ジョブカフェいわての利用者数	☆
	20	地球環境の保全と自然との共生	△	まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	△
				まちづくり評価アンケート調査「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	△
ごみ総排出量				☆	

基本 目標	施策 No	施策	施策別指標 達成状況	まちづくり指標	指標 達成率 (%)	指標 達成状況
4 人 が 集 い 活 力 を 生 む ま ち づ く り	21	農林業の振興	○	農業総生産額	132.9	☆
				林業総生産額	△ 234.4	△
				新規就農者数	128.6	☆
				農用地の利用集積面積	73.0	○
	22	商業・サービス業 の振興	◎	卸・小売の年間販売額	98.0	◎
				サービス業の事業所数	87.0	◎
	23	工業の振興	☆	製造品出荷額等	145.9	☆
	24	観光の振興	△	観光客入込数	△ 81.0	△
	25	雇用の創出	○	盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	129.8	☆
				盛岡公共職業安定所管内の就職率	△ 117.6	△
	26	都市基盤施設 の維持・強化	○	市道改良率	111.1	☆
				まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	1.7	○
				水道管路の耐震化率	91.2	◎
				汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）	71.4	○
				面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）	95.1	◎
	27	交通環境の構築	△	平日の主要幹線道路の混雑度	172.7	☆
				交通の手段分担率の変化（自動車）	△ 119.0	△
				交通の手段分担率の変化（バス、鉄道）	△ 25.6	△
				交通の手段分担率の変化（徒歩、自転車など）	△ 320.0	△
				1日当たりのバス・鉄道利用者数	△ 482.6	△
28	国際化の推進	○	まちづくり評価アンケート調査「この一年間に国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	16.7	○	
29	都市間交流の促進	◎	都市間交流を促進するための協定等の締結数	100.0	☆	
			みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数	76.5	○	

【凡例】

- ☆：達成率が100%以上（目標値達成）
- ◎：達成率が80%以上100%未満（おおむね達成）
- ：達成率が0%より大きく80%未満（当初値より向上）
- △：達成率が0%以下（当初値以下）

4 施策に対する市民の実感の推移（まちづくり評価アンケートによる）

単位：％

施策	施策名	市民の実感	満足（とても満足・やや満足）と回答した人の割合										
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	H27→R6 増加率
1	地域福祉の推進	「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合	20.1	20.1	19.7	23.2	22.0	25.7	23.7	26.1	22.1	26.5	131.9
2	子ども・子育て、若者への支援	「安心して産み・育てられる子育て支援の取組が充実している」と感じる市民の割合	14.3	16.1	17.1	21.5	20.5	23.8	24.1	21.9	21.9	22.2	155.5
3	高齢者福祉の充実	「高齢者が積極的に社会参加できる取組や高齢者福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合	17.2	18.1	18.3	19.5	20.6	22.2	23.8	22.5	22.3	23.2	135.1
4	健康づくり・医療の充実	「健康診断や予防接種、健康相談がしやすい」と感じる市民の割合	42.8	44.1	42.2	44.6	46.3	47.8	46.5	51.8	50.5	51.4	120.1
5	障がい者福祉の充実	「障がい者が安心して暮らすことができるまちづくりや障がい福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合	15.0	14.1	13.5	15.9	14.4	17.2	16.9	16.0	16.6	20.4	136.0
6	生活困窮者への支援	「生活保護や医療助成などの生活の自立を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合	14.5	15.6	13.2	16.6	17.8	17.8	18.3	20.3	21.0	21.7	149.9
7	人権尊重・男女共同参画の推進	「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合	10.8	11.7	11.2	11.5	12.7	15.5	14.1	14.5	14.8	17.6	162.6
8	安全・安心な暮らしの確保	「安全・安心な暮らしを確保するための防災対策や防犯、交通安全、消費者相談などの取組が行われている」と感じる市民の割合	27.2	26.8	27.5	30.0	27.7	31.5	31.8	32.5	31.1	32.5	119.6
9	地域コミュニティの維持・活性化	「町内会などの地域活動を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合	25.4	24.8	24.8	27.2	24.7	26.3	31.6	31.3	29.9	32.5	128.1
10	生活環境の保全	「身近な生活環境が保全されている」と感じる市民の割合	19.9	21.7	19.7	23.7	21.2	25.4	28.8	28.3	27.5	30.4	152.5
11	歴史・文化の継承	「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合	24.5	23.4	24.1	27.8	25.4	27.0	37.6	35.7	32.8	41.5	169.3
12	芸術文化の振興	「芸術文化に親しむ機会が身近にある」と感じる市民の割合	23.3	21.6	22.6	25.2	24.5	25.2	33.1	31.7	32.8	38.0	162.9
13	スポーツの推進	「スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設の整備が整っている」と感じる市民の割合	23.7	22.8	21.0	24.4	25.8	25.8	28.6	29.9	29.7	31.9	134.8
14	「盛岡ブランド」の展開	「盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信している」と感じる市民の割合	20.5	18.9	18.2	21.5	21.6	22.1	23.9	22.8	31.2	34.4	168.0
15	良好な景観の形成	「盛岡らしい景観が形成されている」と感じる市民の割合	24.4	26.7	25.5	32.0	30.4	31.6	35.5	34.3	38.3	39.1	160.4
16	計画的な土地利用の推進	「地域の特性を生かした土地利用の計画、管理などが行われている」と感じる市民の割合	9.6	10.8	9.8	12.3	11.6	14.2	15.6	15.5	14.7	19.4	202.1
17	子どもの教育の充実	「将来を担う子どもたちを育てる小中学校の教育内容や施設の整備が充実している」と感じる市民の割合	18.6	16.0	16.8	18.8	18.5	21.1	22.3	20.5	17.8	21.8	117.3
18	生涯学習の推進	「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合	19.1	17.7	16.8	18.9	17.6	17.8	19.6	19.3	18.1	22.2	116.4
19	社会を担う人材の育成・支援	「ライフスタイルに合わせた、若い世代や女性の活躍を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合	10.5	11.0	9.4	11.3	11.9	13.6	12.2	13.0	11.7	14.9	141.7
20	地球環境の保全と自然との共生	「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組が行われている」と感じる市民の割合	21.6	22.8	19.4	21.3	20.9	21.2	21.8	21.9	20.4	23.7	109.5
21	農林業の振興	「地域特性を生かした、地産地消の取組が進んでいる」と感じる市民の割合	29.1	31.2	30.2	31.7	30.2	31.5	39.7	38.7	36.5	39.0	134.2
22	商業・サービス業の振興	「商店街で買い物がしやすい」と感じる市民の割合	28.4	28.6	24.6	34.1	28.8	30.4	34.8	35.5	34.1	38.1	134.3
23	工業の振興	「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組が行われている」と感じる市民の割合	12.1	11.4	11.5	12.1	11.1	12.9	16.1	16.5	13.9	18.0	148.6
24	観光の振興	「観光地としての魅力が溢れている」と感じる市民の割合	21.0	19.9	19.3	21.6	20.2	21.6	23.4	25.4	31.3	34.9	166.0
25	雇用の創出	「企業の誘致や雇用対策の取組が行われている」と感じる市民の割合	6.8	6.8	8.8	9.1	8.7	10.0	9.7	11.9	10.7	13.3	195.5
26	都市基盤施設の維持・強化	「快適で暮らしやすい居住環境が整っている」と感じる市民の割合	17.8	17.5	16.4	16.3	17.1	20.3	23.2	23.3	19.1	22.2	124.9
27	交通環境の構築	「幹線道路や公共交通機関が利用しやすい」と感じる市民の割合	28.7	27.7	22.6	27.6	27.9	27.5	30.9	28.0	27.0	28.9	100.8
28	国際化の推進	「異文化にふれ国際交流に参加する機会が充実している」と感じる市民の割合	7.6	8.9	6.7	9.2	8.0	10.0	11.2	10.2	12.4	14.9	195.8
29	都市間交流の促進	「都市間の交流が盛んになり、まちのにぎわいを感じる市民の割合	11.4	11.4	11.6	14.4	12.1	12.7	12.4	13.3	15.2	18.5	162.1
	平均		19.5	19.6	18.7	21.5	20.7	22.4	24.5	24.6	24.3	27.4	140.2

5 施策別詳細

施策別詳細の見方

施策の方針について掲載しています。

施策1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進する。

- ・計画期間内に実施した主要事業と実績額を掲載しています。
- ・会計の欄は一般会計または各特別会計の略称を掲載しています。
- ・事業開始年度には「○」、継続年度には「→」、単年度事業または事業終了年度には「●」を記載しています。
- ・令和6年度実績分については、翌年度への繰越額も実績見込額として含めています。

No	事務事業	会計	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績	
													事業費	一般財源
1	重層的支援体制整備事業 (地域福祉コーディネーター設置補助金)	介護	○	●									20,108	0
2	重層的支援体制整備事業 (地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業)	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	290,882	79,754
	重層的支援体制整備事業													

まちづくり指標（成果指標）の推移・達成率・要因分析を掲載しています。

- ・「性格（目指す方向）」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は当初値を維持していくことを目標としています。
- ・「達成状況」欄の「達成率」は次の計算方法で算出しています。

$$[\uparrow \downarrow \text{の指標}] : (R6 \text{実績値} - \text{当初値}) / (R6 \text{目標値} - \text{当初値}) \times 100$$

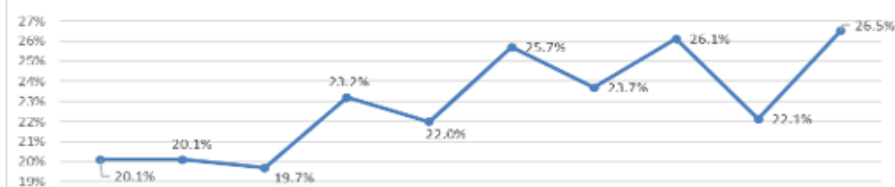
$$[\rightarrow (+) \text{の指標}] : (R6 \text{実績値}) / (\text{当初値}) \times 100$$

$$[\rightarrow (-) \text{の指標}] : (\text{当初値}) / (R6 \text{実績値}) \times 100$$
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

実績値の推移					達成状況		
指標①	単位	目指す方向	R6実績値	達成率	達成率		
まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	%	↑	32.6	48.3%			
当初値(H28)	R1目標値	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
22.9	26.4	43.0	・目標値に届かなかったことについて、分野毎の相談窓口の充実のほか、重層的支援体制整備事業による各分野の関係機関が連携した支援の仕組みづくりを進めたが、支援を必要とする人が抱える課題が多様化・複雑化していることに加え、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、人間関係や生活困窮といった困りごとが増えたことが要因と考えられる。				

施策に対する市民の実感の状況を掲載しています。

- ・施策への取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか、無作為抽出した市民 3,000 人を対象に毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として掲載しています。
- ・各項目の選択肢（とても満足・やや満足・どちらともいえない・やや不満・とても不満）のうち（とても満足・やや満足）と回答した人の割合を表しています。



施策ごとに、10年間の成果・課題・まとめ～今後に向けて～を掲載しています。

■ 10年間の成果、課題

（成果）

- ・単体の支援機関では解決が困難なケースについて・・・

（課題）

- ・市民の抱える課題が複雑化・複合化しており・・・

■ まとめ～今後に向けて～

社会経済状況の変化や新型コロナウイルス感染症の流行を経て、

基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり

施策 1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
														事業費	一般財源	
1	重層的支援体制整備事業 (地域福祉コーディネーター設置補助金)	介護	○	●											20,108	0
2	重層的支援体制整備事業 (地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業)	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	290,882	79,754
3	重層的支援体制整備事業 (ふれあいのまちづくり事業に係る人件費)	一般					●								1,029	1,029
4	盛岡市社会福祉協議会運営費補助事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,269,557	1,254,376
5	社会福祉法人指導監督等事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	118,453	118,453
6	地域再犯防止推進計画事業	一般					○	●							7,421	21
7	地域福祉団体育成事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	31,595	31,595
8	地域福祉人材育成事業 (地域福祉計画推進事業)	一般	○	→	→	→	●								21,262	6,103
施策 計		一般													1,740,199	1,491,331
		一般以外														20,108

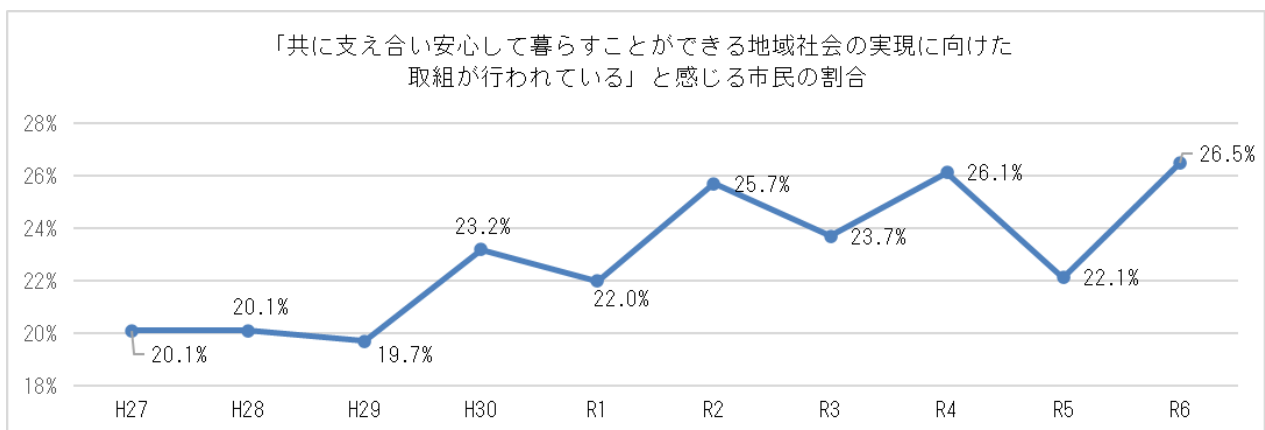
■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	32.6	達成率	48.3%
		%	↗					
当初値 (H26)	22.9	R1目標値	26.4	R6目標値	43.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<ul style="list-style-type: none"> 目標値に届かなかったことについて、分野毎の相談窓口の充実のほか、重層的支援体制整備事業による各分野の関係機関が連携した支援の仕組みづくりを進めたが、支援を必要とする人が抱える課題が多様化・複雑化していることに加え、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、人間関係や生活困窮といった困りごとが増えたことが要因と考えられる。 			

実績値の推移					達成状況																													
指標②	まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合				単 位	目指す方向	R6実績値	27.8	達成率	△34.8%																								
					%	↗																												
当初値 (H26)	29.4	R1目標値	31.7	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																													
<table border="1"> <caption>実績値の推移 (H27-R6)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H26)</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>26.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27.8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>30.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>29.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>30.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>29.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>25.4</td></tr> <tr><td>R5</td><td>26.5</td></tr> <tr><td>R6</td><td>27.8</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	当初値 (H26)	29.4	H27	24.0	H28	26.3	H29	27.8	H30	30.2	R1	29.5	R2	30.1	R3	29.0	R4	25.4	R5	26.5	R6	27.8	<p>・目標値に届かなかったことについて、ボランティアの育成による地域福祉を担うひとづくりや避難行動要支援者の避難支援を通じた共に支え合う地域環境づくりに取り組んだが、高齢者雇用の拡大や女性の社会進出、地域におけるつながりの希薄化等により、地域活動を支える担い手が不足していることに加え、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う活動制限の影響により、地域コミュニティの機能低下や活動の縮小が進んだことが要因と考えられる。</p>					
年度	実績値 (%)																																	
当初値 (H26)	29.4																																	
H27	24.0																																	
H28	26.3																																	
H29	27.8																																	
H30	30.2																																	
R1	29.5																																	
R2	30.1																																	
R3	29.0																																	
R4	25.4																																	
R5	26.5																																	
R6	27.8																																	

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：131.9%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・単体の支援機関では解決が困難なケースについて、重層的支援体制整備事業で設置した「まるごとよりそいネットワークもりおか」により、地域福祉コーディネーターが重層的支援アドバイザーや様々な関係機関と連携して福祉サービス等につなげることができた。
- ・避難行動要支援者に対して、民生委員の協力を得ながら避難行動要支援者情報提供同意者名簿への登録を進めたほか、災害発生時の個別避難計画を収めた「あんしん連絡パック」を配布するなど、災害時に備えた支援や支えあいの地域環境づくりを進めた。
- ・盛岡市社会福祉協議会が実施する高校生ボランティアスクールや一般の方を対象とした入門講座により新たなボランティアが登録されるなど、地域福祉を担うひとづくりを進めることができた。

(課題)

- ・市民の抱える課題が複雑化・複合化しており、8050問題といったひきこもり者を抱える世帯などは、問題が表面化しにくく、包括的な支援が必要なケースが増えている。
- ・集合住宅の増加などにより世帯調査が困難になっていることやプライバシー意識の高まりから、避難行動要支援者情報提供同意者件数が伸び悩んでいる。
- ・ボランティア団体の運営を担う人材の高齢化等により、ボランティアの登録者数や団体数が減少傾向にあることや支援を必要とする人のニーズとボランティア登録者とのマッチングが十分に機能していない状況がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・社会経済状況の変化や新型コロナウイルス感染症の流行を経て、福祉ニーズが拡大、多様化する状況において、関係機関が連携した相談支援体制の構築に取り組み、一定の成果を挙げてきたところであるが、市民の実感につながっていない。今後は、重層的支援体制整備事業において、多機関の連携をより一層密にしながら、協働で着実に支援を進めるとともに、地域福祉コーディネーターを軸とした地域づくりに取り組む必要がある。
- ・世帯構成の変化、地域コミュニティの希薄化や個人情報保護など、地域の福祉活動を進める上で様々な課題がある状況下で、個別避難計画の精度や策定率を向上させるため、名簿未登録者に対して、より丁寧な制度の周知と登録勧奨を行う必要がある。

施策2 子ども・子育て、若者への支援

子どもの最善の利益を第一に、希望を持って子どもを産み育て、全ての子どもが健やかに成長できるように、子ども・子育て支援を進める。

また、困難を抱える若者が自立できるように、社会全体で支援する仕組みを構築する。

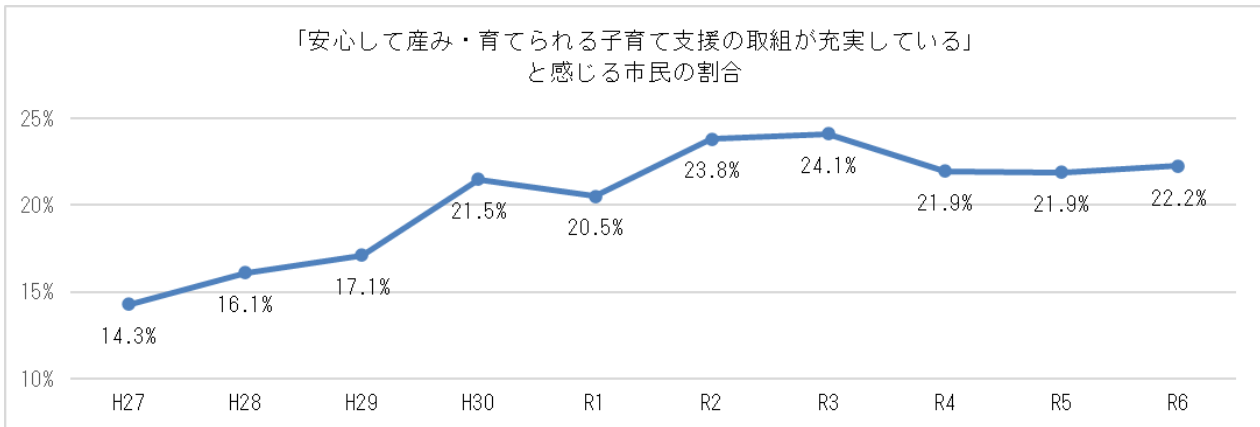
■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
														事業費	一般財源	
1	私立児童福祉施設等運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	50,798,077	13,521,508
2	認定こども園等運営費給付事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	34,772,954	11,107,349
3	保育所管理運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,074,612	3,278,348
4	特別保育事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,480,716	1,144,815
5	待機児童解消強化事業	一般							○	→	→	→	→	→	19,200	19,200
6	保育士確保対策事業	一般							○	→	→	→	→	→	345,713	141,597
7	地域子育て支援センター事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	746,573	268,209
8	妊婦子育て支援事業	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	100,442	27,261
9	子ども家庭支援事業	一般								○	→	→	→	→	67,205	29,635
10	子ども未来基金事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	188,499	520
11	子育て応援プラザ運営事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	214,250	134,983
12	医療費給付事業(妊産婦)	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,156,667	648,199
13	医療費給付事業(乳幼児)	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,408,277	3,235,684
14	医療費給付事業(小学生)	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,243,921	2,159,692
15	医療費給付事業(中学生)	一般				○	→	→	→	→	→	→	→	→	840,065	738,268
16	医療費給付事業(高校生)	一般									○	→	→	→	267,574	258,608
17	子育てのための施設等利用給付事業	一般							○	→	→	→	→	→	1,323,672	325,680
18	私立児童福祉施設運営費助成事業	一般								○	→	→	→	→	256,777	256,777
19	母子保健事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,308,607	2,193,479
20	乳幼児健康診査事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	975,962	971,384
21	小児救急輪番制病院事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	354,749	143,954
施策計		一般													107,944,512	40,605,150
		一般以外														0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	子育て支援サービス利用者数	単位	目指す方向		R6実績値	44,249	達成率	△155.4%
		人	↗					
当初値 (H25)	70,179	R1目標値	74,000	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<p>・新型コロナウイルス感染症が蔓延した令和2年度に大きく減少したが、徐々に増加に転じ、令和5年度には4万人を超える利用者まで回復した。</p> <p>・子どもの遊びや交流の場へのニーズが高まっているものと考えられ、引き続き、利用者が安心して利用できる環境を確保しながら新たな子育て支援拠点の整備等を進め、利用者の拡大を図る必要がある。</p>			
実績値の推移					達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	単位	目指す方向		R6実績値	72.9	達成率	△1,083.3%
		%	↗					
当初値 (H25)	79.4	R1目標値	75.0	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<p>・「子育てを楽しんでいると感じている」割合が、令和3年度には82%を超えたが、以降は減少傾向にある。</p> <p>・「つらいと感じている」割合は、令和6年度は9.5%と、令和5年度の4.9%から上昇した。つらいと感じている理由としては、「自分の時間が取れないため」や「身体的・体力的に疲れるため」などが挙げられているが、一方で充実してほしいと考える子育てサービスでは、経済的支援を求めている項目が多く、物価高騰などの影響により、家計の負担が増加していることが要因の一つと考えられる。</p>			
実績値の推移					達成状況			
指標③	まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	19.5	達成率	7.6%
		%	↗					
当初値 (H25)	17.0	R1目標値	40.0	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<p>・子育て支援策・支援活動が充実していると感じると答えた市民の割合は、20%前後を横ばいで推移しているが、目標値には大きく届かない状況である。</p> <p>・これまで、待機児童対策緊急プロジェクトや、児童の放課後の居場所の整備、子育て世帯への経済的支援策の拡充のほか、子育て世代に広く活用されているスマートフォンを対象とした情報発信（LINEやアプリ）など、各般の施策の推進に取り組んできたところであるが、こども計画の策定に当たってのアンケート調査において、充実してほしいと考える子育てサービスとして、子どもの教育のための経済的支援や生活のための経済的支援といったお金に関する項目が上位に並んでいることから、今後ニーズを捉えた更なる施策の充実にも努める必要がある。</p>			



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・ 保育環境の充実により、待機児童0人を達成したほか、児童センターや放課後児童クラブの計画的な整備による放課後の児童の居場所の拡充、育児不安解消に向け、産後ケア事業や子育て相談の充実、第2子以降の保育料の無償化、副食費の助成や各種医療費助成制度による経済的負担軽減策の取組等により、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援施策が展開された。

(課題)

- ・ 成果指標のうち、まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合は、依然として目標値に大きく届かない状況で推移している。
- ・ 待機児童対策緊急プロジェクトや、児童の放課後の居場所の整備、子育て世帯への経済的支援策の拡充など、各般の施策を推進してきたところであるが、更に施策の充実を図るためのニーズを十分把握できていない。
- ・ SNS等で市の子育て支援策の情報発信に努めているが、十分に市民への周知が図られていない。

■まとめ～今後に向けて～

- ・ 平成27年の子ども・子育て支援新制度の本格的スタートに伴い、本市においては盛岡市子ども・子育て支援事業計画の策定等により、喫緊の課題であった待機児童の解消、放課後の児童の居場所づくり、児童虐待への対応等に積極的に取り組み、一定の成果は得られたが、子ども・子育てを取り巻く環境には未だ課題が多く、まちづくりアンケートの数値も目標到達には至らなかったところである。
- ・ 今後は、令和7年度からの5年間を計画期間として新たに策定した盛岡市子ども計画に基づき、子ども・若者の意見を聴き、施策に反映する取組を進めるとともに、子育て家庭のニーズに即した支援等の取組を着実に進めていく必要がある。

施策3 高齢者福祉の充実

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる長寿社会の実現を目指し、高齢者の社会参加を促進するとともに、介護予防や認知症対策などを推進するほか、介護サービス提供体制を強化するなど、高齢者福祉の充実を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

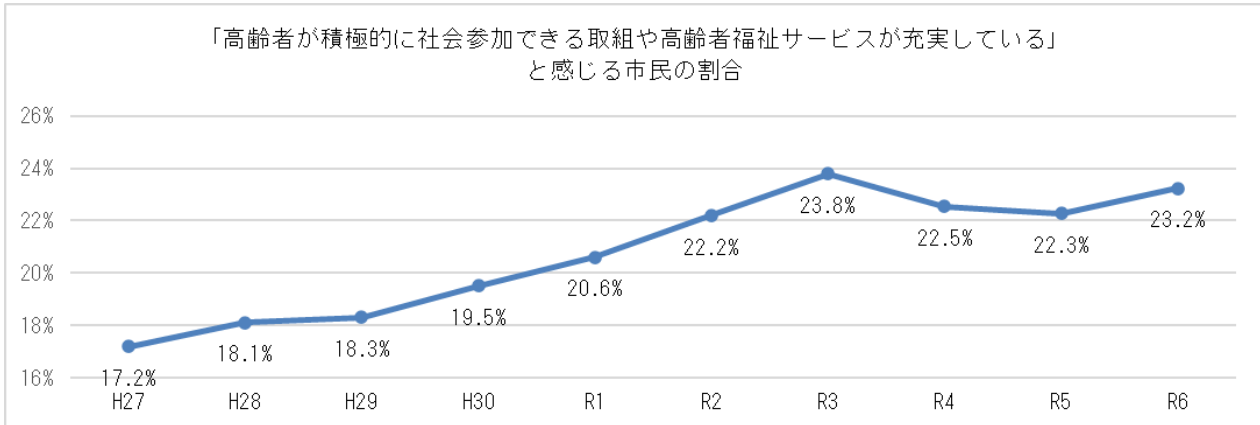
No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
													事業費	一般財源		
1	地域包括ケアシステム構築事業（在宅医療介護連携促進事業）	一般	●												34,689	0
2	地域包括ケアシステム構築事業（地域支援事業）	介護	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,827,385	1,089,255	
3	生きがい活動推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	209,071	209,071	
4	介護保険事業（繰出金）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	37,985,023	36,416,666	
5	介護保険事業（施設整備）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,763,187	170,595	
6	介護保険事業（特別会計）	介護	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	253,344,628	58,304,239	
施策計		一般													40,991,970	36,796,332
		一般以外														261,172,013

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	75歳介護保険認定者数/75歳人口	単位	%	目指す方向	→(一)	R6実績値	8.7	達成率	112.6%
当初値 (H26)	9.8	R1目標値	9.8	R6目標値	9.8	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・平成27年度～令和6年度までの10年間の実績値は、目標値前後で推移しており、医療の進歩や食生活の向上、健康に対する高齢者の意識の変化等により健康寿命が伸び、元気な高齢者の割合が維持されていると考えられる。</p>			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	単位	%	目指す方向	↗	R6実績値	51.6	達成率	△ 2,057.1%
当初値 (H25)	66.0	R1目標値	66.7	R6目標値	66.7	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・平成27年度～令和6年度までの10年間の実績値は、目標値と乖離しており、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられる。特にも、大きく減少した令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の長期化、物価高騰、円安の進行など経済的不安から地域活動や交流などが減少し、生きがいを感じにくくなったものと考えられる。</p>			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：135.1%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう「地域包括ケアシステム」を構築するため、地域包括支援センターを市内11か所に設置し、年間2万5千件弱の多種多様な相談へ対応し、相談者を必要なサービス等につなぐことができた。
- ・成果指標の一つである「75歳介護保険認定者数/75歳人口」は目標値前後で推移しており、医療の進歩や食生活の向上、健康に対する高齢者の意識の変化等により健康寿命が伸び、元気な高齢者の割合が維持されている。

(課題)

- ・高齢者人口が増加している中で地域包括支援センターの業務負担が過大となっている。
- ・認知度が上がることにより地域包括支援センターの業務量が更に過大となることが懸念される。
- ・まちづくり評価アンケート調査で「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合が減少している。

■まとめ～今後に向けて～

- ・高齢者人口が増加し、地域包括支援センターの負担が過大となっている中、高齢者が安心して生活できる環境の構築が急務となっているとともに、高齢者の健康寿命の延伸に向け、身体的、精神的及び社会的にも、全てが満たされた状態である「ウェルビーイング」を目指し、身体面の機能回復訓練に加え、精神面や社会参加などの多角的な介護予防施策の一層の充実に取り組む必要がある。
- ・認知症対策について、認知症の理解や本人とその家族の支援が必要となることから、成年後見制度の周知など、相談しやすい環境づくりや、認知症になっても安心して地域で暮らし続けられるよう、理解の促進と活動的な生活を維持できるよう取組を進めなければならない。
- ・介護サービス提供体制を支える担い手の不足が喫緊の課題となっており、国の施策とともに、市としての具体的な取組を進める必要がある。

施策4 健康づくり・医療の充実

生涯にわたり健やかに暮らすことができるように、健康相談や健康診査などを実施するとともに、医療体制の拡充や医療費を助成するなど、健康づくりと医療の充実を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
			事業費	一般財源										
1	各種健康診査事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,683,115	4,477,853
2	健康教育事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	28,128	15,590
3	精神保健福祉事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	37,627	34,442
4	予防接種事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	9,017,354	8,811,654
5	感染症対策事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,539,060	1,180,142
6	食品衛生指導事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	62,115	0
7	生活衛生指導事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,079	681
8	医務業務指導事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	6,805	1,461
9	第二次救急医療事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	577,475	325,371
10	在宅当番医制事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	83,434	83,434
11	夜間急患診療所管理運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	747,791	213,661
12	国民健康保険事業（繰出金）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	17,820,351	7,427,726
13	国民健康保険事業（特別会計）	国保	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	272,984,491	117,903,988
14	後期高齢者医療事業（繰出金）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	34,068,213	28,958,040
15	後期高齢者医療事業（特別会計）	後期高齢	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	32,463,905	29,687,941
施策計		一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	69,678,547	51,530,055
		一般以外	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	305,448,396

■まちづくり指標（成果指標）の状況

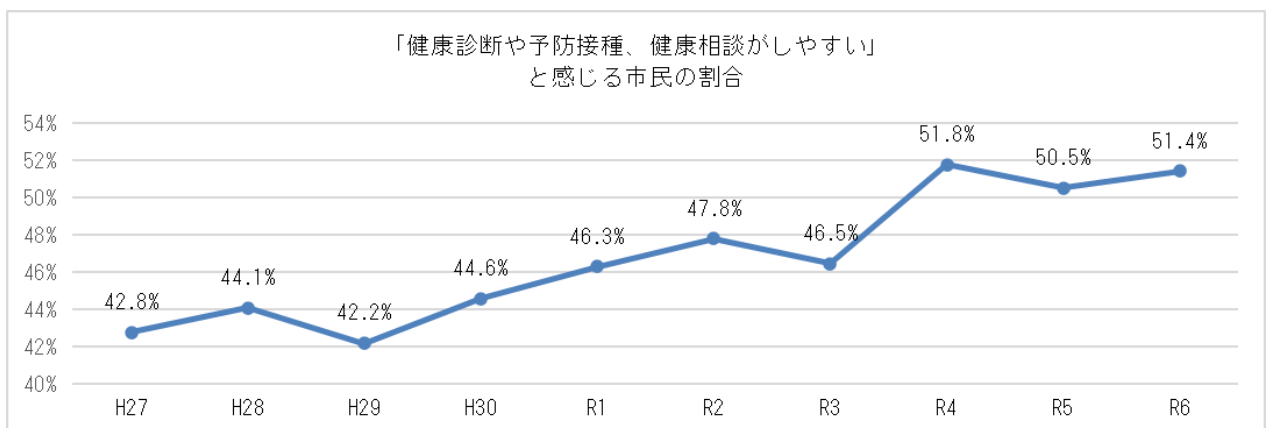
実績値の推移						達成状況					
指標①	3大死因の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率)					単 位	目指す方向	R5実績値	199.0	達成率	684.8%
						割合	↘				
当初値 (H24)	230.5	R1目標値	228.2	R6目標値	225.9	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
<p>※3大死因…悪性新生物、心疾患、脳血管疾患 ※年齢調整死亡率…人口構成の異なる集団間で比較するために、死亡率を一定の基準人口にあてはめて算出した指標 ※実績の最新値はR5</p>						<p>・がん検診や健康診断による病気の早期発見、治療等により死亡率は改善している。 ・「第2次もりおか健康21プラン」の最終評価では、疾病の原因となる生活習慣に関する項目（肥満・運動習慣等）が悪化していることがわかった。将来の疾病予防のため、引き続き生活習慣病等の予防と早期発見のために、各種検診の受診促進や予防に関する知識の啓発、検診の実施体制の充実等に取り組む必要がある。</p>					

実績値の推移						達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	R6実績値	86.0	達成率	94.7%	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
		%	→(+)						
当初値 (H25)	90.8	R1目標値	90.8	R6目標値	90.8				
						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行時も、相談窓口の周知や早期の相談の重要性の啓発を行い、内容を工夫しながら実施した。 ・市が実施する相談以外の具体的な相談先を紹介、情報提供を行った。 			

実績値の推移						達成状況			
指標③	まちづくり評価アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	R6実績値	86.7	達成率	95.4%	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
		%	→(+)						
当初値 (H25)	90.9	R1目標値	90.9	R6目標値	90.9				
						<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては高い水準を維持しているものの、目標値に届かなかったことについて、平成29年度に岩手医大が矢巾町へ移転したことや、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症が流行したことによる受診控えの影響が継続していると考えられる。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：120.1%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・各種がん検診等は、医療機関による個別検診で実施し受診しやすく、子宮頸がん及び乳がん検診未受診者への再勧奨も実施しており、成果指標「3大死因の死亡率」は、平成27年度以降目標値に到達した。
- ・各種健康教室や健康相談の実施により、健康に関する知識啓発ができ、健康づくりに取り組むきっかけとなる等、市民の健康保持増進に寄与した。

- ・巡回検診車による結核レントゲン検診の実施や広報啓発等により、全結核罹患率が低下し、結核の重症化や感染抑制につながった。
- ・食品衛生及び生活衛生の監視指導においては、重点的に監視する業種を調整して監視の質を維持した結果、食品関係事業者等の衛生意識が向上した。
- ・夜間急患診療所の運営や第二次救急医療事業の継続により、市民が安心して受診できる救急医療体制を確保することができた。
- ・保険税収納は高い水準を維持しており、安定的な税収確保に寄与し、国民健康保険財政の健全な運営につながった。

(課題)

- ・各種がん検診等の若い世代の受診率が低い状況である。
- ・まちづくり評価アンケート調査で「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合は横ばいである。
- ・全結核罹患率は低下しているが、新登録結核患者の中で高齢者の割合が高く、また、外国出生患者の占める割合は約1割であるが増加傾向にある。
- ・予防接種全体に対して忌避感を持つ人が増加していると考えられる。
- ・食品衛生及び生活衛生の監視指導において、全ての施設の監視が困難である。
- ・成果指標のうち、まちづくり評価アンケート調査で「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合は、横ばいであり、目標値には達していない状況である。
- ・保険税収納は高い水準を維持しているものの、被保険者数の減少により税収額は年々減少しており、財源不足が生じている。国民健康保険事業財政調整基金を取り崩して歳入・歳出の均衡を図っているが、このままの状態が続けば今後数年で基金が枯渇する見込みである。

■まとめ～今後に向けて～

- ・がん検診や健康教室、感染症対策、救急医療体制の整備など、多岐にわたる保健施策を着実に推進してきたことにより、三大死因の年齢調整死亡率は目標値を達成し、結核罹患率の低下や食品衛生意識の向上など、一定の成果が得られており、夜間・休日の救急医療体制の確保や保険税収納率の維持も、市民の安心につながっている。
- ・一方で、若年層のがん検診受診率の低迷、健康相談の身近さに関する市民の実感が横ばいであることなど、課題も明らかとなっており、特に、生活習慣の悪化傾向や予防接種への忌避感の広がりは、将来的な健康リスクの増大を懸念させるものであり、今後の重点的な対応が必要である。また、国民健康保険財政においては、被保険者数の減少に伴う税収減、基金の枯渇懸念等、持続可能な制度運営に向けた抜本的な見直しが急務である。
- ・今後、SNS等を活用した若年層への検診啓発や多様な相談体制の整備、外国人や高齢者への感染症対策の強化、生活習慣病予防のための地域、職域ぐるみの健康づくりを推進し、一人ひとりが健康を実感できるまちづくりを目指す必要がある。

施策5 障がい者福祉の充実

障がい者が地域の一員として安心して暮らすことができるように、障がいや障がい者への市民の理解と交流を促進するとともに、障がい者福祉サービスの充実を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
			事業費	一般財源										
1	地域生活支援事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,578,151	1,794,691
2	障がい者相談支援事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	404,636	359,231
3	障がい者福祉施設整備助成事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	367,468	141,672
4	介護給付等給付事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	34,020,152	9,172,450
5	訓練等給付事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	25,116,776	6,171,001
6	医療費給付事業（重度）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,077,624	3,362,969
7	医療費給付事業（中度）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,127,323	1,832,524
施策計		一般	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	71,692,130	22,834,538
		一般以外											0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	障がい福祉サービス受給者数	単位	人	目指す方向	↗	R6実績値	4,164	達成率	103.9%
当初値 (H25)	2,460	R1目標値	3,300	R6目標値	4,100	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・障がい福祉サービスを提供する事業所が増えていること、また子どもの発達に不安を抱える保護者が増加し、障がい児通所支援の需要が増していることなどから、障がい福祉サービス受給者は増加を続け、令和6年度には4,164人となっており、令和6年度末で目標値に達した。</p>			

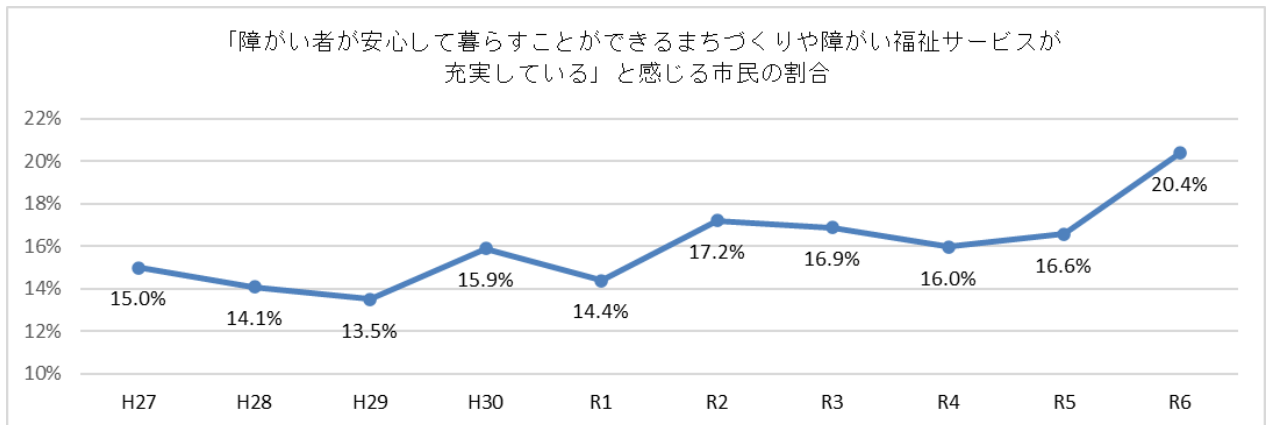
実績値の推移						達成状況			
指標②	施設から地域への移行	単位	人	目指す方向	↗	R6実績値	175	達成率	79.8%
当初値 (H25)	96	R1目標値	150	R6目標値	195	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・地域での受入れ先が増えたことにより、施設を退所しグループホームやアパート、一般住宅など地域での生活に移行している人が増えている。なお、指標の「施設から地域への移行」については累計人数である。 ・令和6年度は令和5年度から4名増え175名が地域生活に移行出来たが、計画期間を通じての目標達成はならなかった。 ・一方で障がい者の高齢化・重度化により、施設入所支援のニーズは依然としてあり、身体障がい者施設への待機者がいる状態が続いており、令和6年度末の待機者は17名となっている。</p>			

実績値の推移						達成状況					
指標③	施設から一般就労への移行					単 位	目指す方向	R6実績値	68	達成率	119.0%
当初値 (H25)	18	R1目標値	19	R6目標値	60	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の就労を支援するサービスの利用者数1,369名中68名が一般就労に移行できたものである。 平成27年以降、目標値を達成してきているが、その要因のひとつは、一般就労するための訓練を提供する「就労移行支援」の利用者が平成24年度から26年度の間大きく増加し(24年度55人⇒26年度74人)、その後も同水準(令和6年度71人)で推移してきたことによると考えられる。 このほか、就労を支援するサービスにおいて、平成30年度以後、一般就労に強化するよう順次制度が改正されており、各事業所が取り組んできた結果が表れたことも要因として考えられる。 					

実績値の推移						達成状況					
指標④	管内事業所の障がい者雇用率					単 位	目指す方向	R6実績値	2.46	達成率	128.6%
当初値 (H25)	1.74	R1目標値	2.00	R6目標値	2.30	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> 目標値は、障がい者の法定雇用率と同値の設定であったが、令和6年4月には2.5%、8年7月に2.7%まで引き上げられることが決定している。 目標値に向け順調に推移していると言えるものの、今後の法定雇用率の引上げ等を勧奨すれば、事業者による障がい者雇用の取組は、さらに必要となる。 					

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率136.0%



■10年間の成果、課題

(成果)

- 障がい者スポーツ大会、障がい者芸術文化祭、手話講座等の多くのイベントを開催し、障がいの有無で分け隔てのない、市民の交流を推進した。これらの事業自体が障がい者の社会参加の機会となっているほか、計画策定のための障がいのない市民へのアンケートにおいて、「障がい者福祉」に関心があるかとの問いに「ある程度以上興味がある」とした回答者が、平成29年時点の59.7%から令和5年には70.8%と増加していることが分かった。
- 障がいサービス利用者は順調に増加しており、必要なサービスを提供できる環境の整備が進んでいる。
- 障がい者の就労及び訓練の場の確保がなされている。

(課題)

- ・各イベント等において、コロナ禍以前の参加者数に戻っていない。
- ・就労移行支援事業所を利用した利用者の就労率が伸び悩んでいる。

■まとめ～今後に向けて～

- ・障がい者がサービスを受ける環境や働く環境は、就労系やグループホームなどの体制整備が進んでおり、継続して多岐にわたる障がい者への支援を行うとともに、障がいや障がい者への理解を促進し、障害者差別解消法について周知を進め、「合理的配慮」の普及を推進する必要がある。
- ・障がい者全般について、障がい福祉サービスの需要は増加しており、特にも、医療的ケアが必要な在宅の重症心身障がい児（者）等については、ライフステージにおける様々な相談への対応や支援が重要であることから、引き続き関係機関等と連携し体制整備を進めていく必要がある。

施策6 生活困窮者への支援

生活困窮者が自立し安定した暮らしができるように、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度などによる支援を推進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

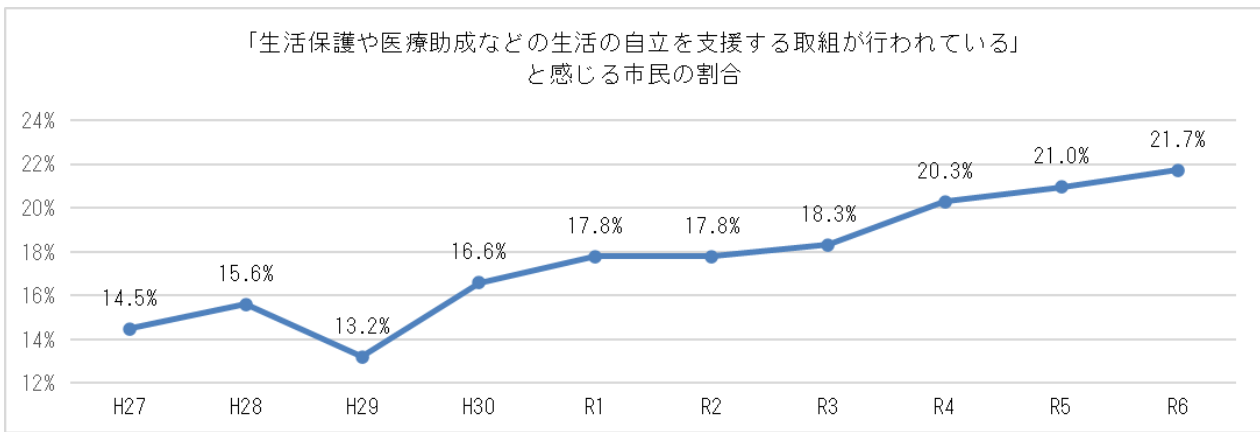
(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	生活保護事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	73,611,722	18,280,877
2	生活困窮者自立支援事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	695,832	131,635
3	医療費給付事業（ひとり親家庭）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,496,615	820,250
4	医療費給付事業（寡婦・寡夫）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	607,893	595,312
5	公営住宅整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,579,846	5,415
施策計		一般											83,991,908	19,833,489
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	生活保護受給世帯から自立した世帯の割合（死亡・移管・失踪などを除く）					単位	目指す方向	R6実績値	6.2	達成率	116.7%
						%	↗				
当初値 (H25)	4.8	R1目標値	6.0	R6目標値	6.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<p>・平成25年度から福祉事務所に常設窓口として「ハローワーク盛岡就労支援コーナー」を設置するとともに、就労支援員を中心とした就労支援事業等の継続による就職実現の推進や、経済情勢の好転による求人の増大により、令和元年度までは、当初値よりも高い割合で推移してきた。</p> <p>・しかし、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の流行による雇用情勢の悪化や、感染拡大防止のための来所自粛によるハローワーク就労支援コーナーの利用減少等から実績値は減少し、当初値より高い割合を維持しているものの、低調な実績値で推移してきた。</p> <p>・令和5年度からは、雇用情勢も徐々に好転するとともに、ハローワーク就労支援センターの利用件数も回復してきたことから、勤労収入増加による保護廃止が増加に転じてきた。</p> <p>・一方、生活保護受給者に占める高齢者の割合が増加し、稼働年齢層（16歳～64歳）の保護受給割合の減少により、就労支援事業の支援対象者数が減少しており、就労に伴う保護脱却が難しくなっている。</p>					

実績値の推移						達成状況					
指標②	生活困窮者の自立支援相談の解決率					単位	目指す方向	R6実績値	72.3	達成率	3285.7%
						%	↗				
当初値 (H27)	49.3	R1目標値	30.0	R6目標値	50.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<p>・「盛岡市くらしの相談支援室」が、生活困窮者のニーズに応じた丁寧な支援を計画的かつ継続的に行ってきたことにより高水準の解決率を維持している。</p> <p>・住宅確保給付金は、コロナ禍における特例措置が終了となり、件数が減少しているものの、引き続き生活困窮世帯に対する居所確保に係る支援を実施したことも高解決率の維持に寄与している。</p> <p>・一方、コロナ禍による経済低迷や、物価高騰等に伴う経済低迷の影響により、新規相談件数が依然として多い状態が続いており、より一層、相談件数の推移を注視し、支援に必要な体制の維持に努める必要がある。</p> <p>・学習支援事業については、学習会の会場・年間開催回数の確保や、会場への無料送迎サービスを通年で実施するなど、参加しやすい環境の整備に努めた。</p>					
※実績値の集計方法の見直しに伴いH28実績値を修正している											



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・盛岡市くらしの相談支援室による自立相談支援事業のほか、就労準備支援事業、学習支援事業等を、生活困窮者に対し生活保護に至る前の段階から支援を行うことで、直近5年間において「第2のセーフティネット」の利用等実績が増加する一方で、生活保護の被保護人員数は、おおむね横ばいに推移していることから、「第2のセーフティネット」としての役割を果たした。
- ・市営住宅長寿命化計画に基づき、順次老朽化した市営住宅が改修工事の実施により良質な住宅に改善された。

(課題)

- ・相談者の抱える問題が複雑なものが多くなり、十分なアウトリーチが困難になっている。
- ・市営住宅の老朽化等に伴い、入居募集できない空き住戸が年々増加傾向にあることなどから、入居率が減少傾向にある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・生活困窮者自立支援制度により、生活保護の対象にならない生活困窮者を救うための事業が実施され、働く意欲を促すなど実績を上げている。
- ・一方で、家庭における解決しなければならない課題が多様化していることに加え、経済構造の変化や新型コロナウイルス感染症の拡大を経て、依然として相談件数が増加していることから、生活困窮者支援の関係機関と庁内関係部局の連携の強化によるチーム支援により、迅速かつ包括的に取り組んでいく必要がある。

施策7 人権尊重・男女共同参画の推進

お互いを理解しながら個人が尊重される社会を実現するため、人権尊重の精神と平和の尊さの意識啓発に取り組むとともに、男女が、均等に利益を享受し、責任も分かち合いながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画を推進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

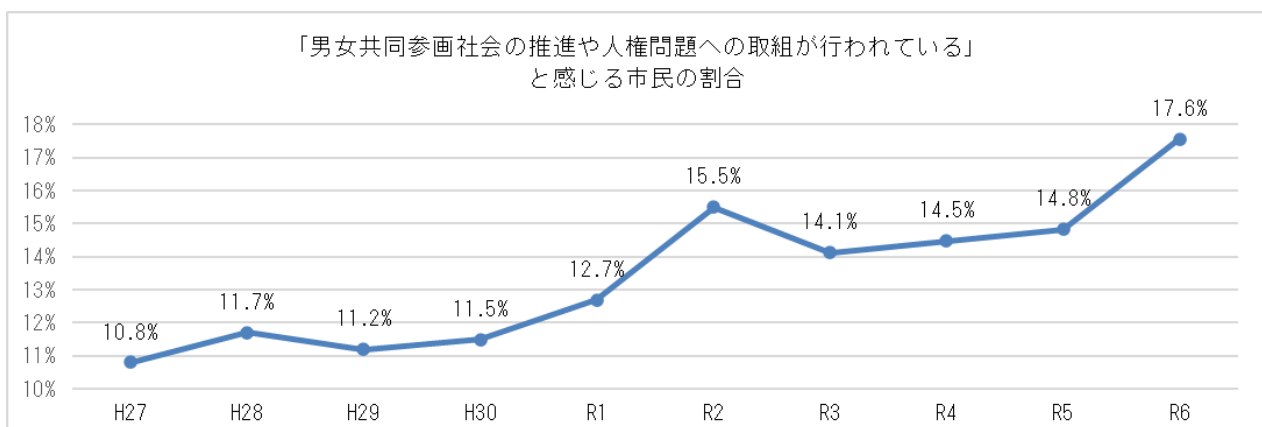
No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
													事業費	一般財源	
1	人権擁護事務	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	8,485	3,487
2	男女共同参画意識啓発事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,876	2,067
3	配偶者等暴力防止事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38,654	38,654
施策計		一般												50,015	44,208
		一般以外													0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	人権相談件数(女性センター女性相談、子ども青少年課女性相談、子ども家庭総合支援センター児童家庭相談)					単位	目指す方向	R6実績値	12,168	達成率	280.0%
						件	→(+)				
当初値(H25)	4,345	R1目標値	4,350	R6目標値	8,950	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> ・目指す方向を現状維持としていたが、人権に関する社会的な意識の高まりにより、実績が増加したものである。 ・各相談窓口が有効に機能し、相談者の支援に役立っていることも人権相談件数が増加している要因である。 ・人権に関する周知啓発事業が、一定の成果を収めていると考える。 					

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：162.6%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・子ども家庭総合支援センターの開設（平成30年）や女性相談窓口の周知啓発活動の継続により、人権相談件数は高い状態を維持しており、相談を解決につなぎつつ、新たに発生する相談の受け皿としての役割を担っている。
- ・盛岡人権擁護委員協議会への事業補助金等により同協議会の運営及び人権擁護活動が円滑かつ精力的に行われた。

(課題)

- ・男女共同参画や性の多様性への関心と理解が十分に深まっていない。
- ・人権啓発活動に係る啓発方法が限定されており、広く市民を対象としたものが少ないこと等の要因により、認知が広がらなかった。そのことに伴い、まちづくり評価アンケートの「人権擁護委員がいることを知っている」と答えた市民の割合が低いままである。

■まとめ～今後に向けて～

- ・子ども家庭総合支援センターの開設（平成30年）や、女性相談窓口の周知啓発活動の継続により、人権相談件数は高い状態を維持しており、相談を解決につなぎつつ、新たに発生する相談の受け皿としての役割を担うことができた。
- ・一方で、人権擁護委員による啓発方法が限定されており、認知が広がらず、目標値には達していないことから、今後も、福祉施設の訪問や街頭啓発などの活動を精力的に行い、その活動を市公式ホームページ及びプレスリリース等を活用し、継続して周知を図っていく必要がある。

施策8 安全・安心な暮らしの確保

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、自然災害や火災、健康被害など、あらゆる危機に対し強いま
ちを目指し、防災や防犯対策、消防力の充実などに取り組む。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
			事業費	一般財源											
1	急傾斜地崩壊対策事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	286,827	19,627
2	都市基盤河川改良事業 (新市建設計画分)	一般	●											279,442	10,042
3	都市基盤河川改良事業 (新市建設計画以外)	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,144,418	140,222
4	自主防災組織育成事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	68,032	60,732
5	危機管理防災事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	246,244	224,885
6	防災施設整備事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	870,335	94,129
7	盛岡地区広域消防組合負担 金事務	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	36,248,053	36,248,053
8	消防団管理事務	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,885,711	1,823,073
9	消防施設整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,013,549	83,249
10	交通安全教育事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	103,524	103,524
11	交通指導員活動事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	447,236	397,497
12	防犯活動事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	57,910	57,910
13	空き家等対策推進事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	90,546	82,902
14	消費者行政推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	377,710	310,570
施策計		一般												46,119,537	39,656,415
		一般 以外												0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合					単 位	目指す方向	R6実績値	78.8	達成率	61.3%
						%	↗				
当初値 (H25)	69.0	R1目標値	75.0	R6目標値	85.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり評価アンケート調査における、令和6年度の「避難場所を知っている」と答えた割合は、平成27年度と比較して、+6.1%となっており、避難場所についての認知度は、若干の変動はあるものの増加傾向にあるものと思われる。 ・しかしながら、避難場所等標識の整備については、指定緊急避難場所の指定施設も年々増加傾向にある中で、毎年の標識整備数が限られており、その整備率は高まっていない状況にあるため、目標値達成には至っていないものと思われる。 ・引き続き、「避難場所等標識の整備」や、「避難場所の周知」に取り組む必要があるものと思われる。 					

実績値の推移					達成状況				
指標②	まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合			単 位	目指す方向	R6実績値	52.4	達成率	△43.0%
			%	↗					
当初値 (H25)	60.7	R1目標値	70.0	R6目標値	80.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> まちづくり評価アンケート調査における、令和6年度の「防災対策をしている」と答えた割合は、平成27年度と比較して、-5.5%となっている。平成28年度以降、東日本大震災からの時間の経過により、防災意識の低下がみられたものの、平成30年に防災マップを全戸配布したことにより、割合が高まり、以降は横ばいになっている状況にあるものと思われる。 引き続き、「広報もりおかでの周知」や、「防災講座等による周知」等を継続する必要があるものと思われる。 				

実績値の推移					達成状況				
指標③	人口1万人当たりの火災発生件数			単 位	目指す方向	R6実績値	1.5	達成率	66.7%
			件	↘					
当初値 (H25)	1.7	R1目標値	1.7	R6目標値	1.4	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> 減少の傾向から、令和3年度を契機に上昇に転じているが、近年、全国的に家電発火による火災発生例があり、本市においても同様の例があることから、火災件数の上昇に影響している可能性があると思われる。 				

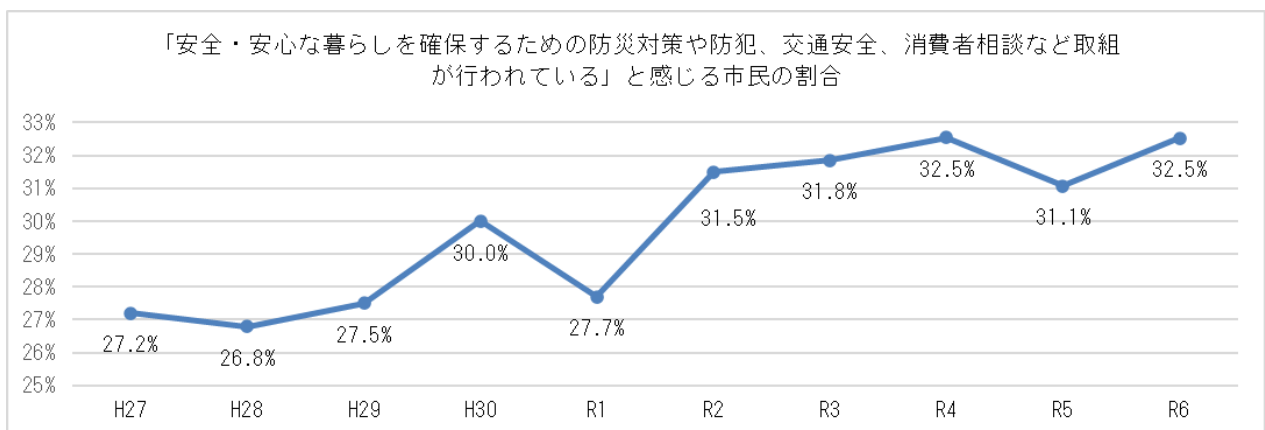
実績値の推移					達成状況				
指標④	人口1万人当たりの刑法犯認知件数			単 位	目指す方向	R6実績値	41.3	達成率	70.6%
			件	↘					
当初値 (H25)	68.4	R1目標値	68.4	R6目標値	30.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール用品の支給等により、地域における自主的な防犯活動は進んでおり、また、鍵かけ運動にも積極的に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の収束後、刑法犯認知件数は増加が続いていることから、結果として実績値は増加傾向となっている。 				

実績値の推移					達成状況				
指標⑤	不適正な管理状態にある空き家等の相談件数			単 位	目指す方向	R6実績値	139	達成率	316.0%
			件	↘					
当初値 (H25)	60	R1目標値	85	R6目標値	85	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> 講座や個別相談会の開催、空き家等調査員による迅速な対応等により、相談を受けた問題のある空き家等については、約7割が解決に結びついた。 しかし、空き家等の総件数は増加の一途を辿っていることや、空き家等適正管理事業の認知が進んだこと等から、相談件数は増加した。 				

実績値の推移						達成状況			
指標⑥	消費生活相談の解決率(解決した件数/消費生活相談件数)	単位	目指す方向	R6実績値	98.0	達成率	△100.0%		
		%	↗						
当初値 (H25)	98.5	R1目標値	99.0	R6目標値	99.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に3,212件あった消費者トラブルの相談が令和3年度までで2,372件まで減少したが、以後増加し、令和6年度においては2,648件となった。 ・成果指標となっている消費生活相談の解決率について、高い値で推移している。 ・目標値に達しなかった主な要因は、事業者の特定が困難であること、事業者が対応しないこと等によるあつせん不調件数の増であるが、背景には取引の複雑化・多様化があるものと考えられる。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：119.6%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・令和3年度に土砂災害警戒区域等の指定が完了し、併せてハザードマップの作成・配布を実施することで、災害時の警戒区域等について周知が図られた。
- ・平成30年度に防災マップを全面更新して市内全戸に配布するとともに、この防災マップの住民説明会を実施したことにより、「避難場所」への認知度が大幅に向上した。
- ・交通安全教室や街頭指導等を実施し、交通安全に対する知識の普及や交通安全意識の向上につながったことにより、交通事故発生件数が減少した。
- ・防犯パトロール用品の支給や防犯カメラ設置補助等を行い、住民主体の地域防犯活動を継続的に支援したことにより、刑法犯認知件数が減少した。
- ・平成27年度に策定した空き家等対策計画において、市の空き家等対策の基本方針や施策の体系を明らかにして取組を進めたことで、町内会・自治会との協働による実態調査や市民等からの通報により判明した問題のある空き家等のうち、7割以上が解決した。

(課題)

- ・避難所を知っている市民の割合や防災対策をしている市民の割合が、いずれも目標値に達していない。
- ・令和3年度に土砂災害警戒区域等の指定が完了したが、令和2年度に国の土砂災害防止対策基本指針が変更されたことを受け、令和4年度以降、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」が順次公表されており、それらの周知が必要な状況となっている。また、防災マップについても、平成30年度の発行以降、新たに洪水浸水想定区域が指定された河川等があり、防災マップの更新や、周知が必要な状況となっている。

- ・高齢者が関係する交通死亡事故の割合が高い。
- ・地域活動の担い手不足や高齢化などにより、地域の防犯パトロール等の人による防犯活動が難しくなっている。
- ・相続問題や経済的な理由等により、指導を行っても空き家が適切に管理されないケースがある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・防災対策については、防災マップの浸透や防災講座の実施などにより、避難場所の周知や防災対策の取組は一定程度図られているが、いずれの割合も目標値に達しておらず、防災意識の低下が見受けられる。今後、防災対策のさらなる周知を図るほか、市民参加型の防災訓練などの継続実施、コミュニティ地区ごとの地区防災計画の策定支援などにより、啓発や防災意識の向上を図る必要がある。
- ・防犯対策については、講座や相談会の開催、空き家等調査員による対応等により、問題のある空き家等の解決率が7割を超えていることは、取組の成果が出ているものと評価できる。一方で、自転車盗等の増加による、刑法犯認知件数が増加しており、引き続き、鍵かけ運動の推進や関係機関と連携することなどにより、安全安心な暮らしの確保につながる取組を進める必要がある。

施策9 地域コミュニティの維持・活性化

地域コミュニティがこれまで担ってきた多岐にわたる役割を維持し、活動を活性化するため、地縁又は目的を共にする団体などへの支援に取り組む。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

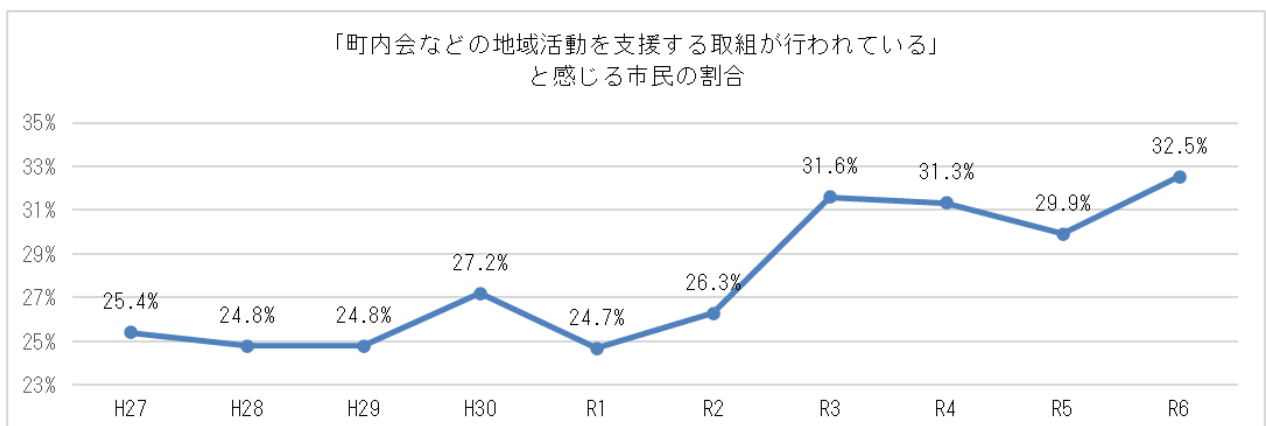
No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	地区行政事務	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	704,005	704,005
2	コミュニティ推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	160,523	73,482
3	公衆街路灯関連事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	985,206	976,206
4	地域協働推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	110,591	71,251
5	市民運動総括事業	一般	→	●									2,978	2,978
6	コミュニティ施設建設事業	一般	→	●									25,631	3
施策計		一般											1,988,934	1,827,925
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	まちづくり評価アンケート調査「コミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合					単 位	目指す方向	R6実績値	36.8	達成率	△97.0%
						%	↗				
当初値 (H25)	46.5	R1目標値	51.5	R6目標値	56.5	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体の多くは、新たな担い手の創出や、若者を取り込み活発に活動している地域コミュニティの事例等に高い関心があることから、「地域活動担い手養成講座」、「コミュニティリーダー研修会」、情報誌等で、その内容を積極的に紹介してきたほか、不動産協会等との協定による町内会等への加入促進の取組や、広報もりおか特集記事による地域活動の取組の周知等、地域活動に関わる市民を増やすための取組を行ってきたところである。 ・この間、新型コロナウイルス感染症の影響により指標の実績も落ち込んだところであり、令和5年に5類感染症に移行したことにより町内会等の活動が再開されたことで、徐々に回復基調にあるものの、若者や働く世代など、活動への参加が期待される層にまで十分に浸透せず、依然としてコロナ禍以前よりも低い水準で推移している。 					

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：128.1%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・地域課題アドバイザーの派遣により、地域の課題解決が進んだ。
- ・町内会・自治会協働推進奨励金制度及び公衆街路灯の維持管理の支援により、町内会・自治会の負担軽減が図られた。
- ・地域活動団体ポスターセッション等によるコミュニティ活動の紹介を通じ、市民協働及びコミュニティ活動の意識が向上した。
- ・地域協働の地域づくり事業の実施により、地域課題やまちづくりの取組が促進した。

(課題)

- ・少子高齢化及び担い手の不足により、活動が困難となっている町内会・自治会が増加している。
- ・地域協働の実施地区の数が伸び悩んでいる。
- ・地域活動団体のニーズを把握しきれていない。

■まとめ～今後に向けて～

- ・地域コミュニティ推進への支援に継続的かつ多角的に取り組んできたことは成果と言えるが、コミュニティ活動への市民の参加割合は、新型コロナウイルス感染拡大により減少傾向に転じ、コロナ収束後もコロナ禍以前の水準に戻っていない状況である。今後も、地域課題の解決と地域特性を活かしたまちづくりを推進し、地域コミュニティへの市民の参加が促進されるよう、市と地域が連携を図り取り組む必要がある。
- ・全国的に顕在化している少子高齢化や定年延長等による活動の担い手不足の課題に対しても、町内会や自治会等が持続的な活動を推進できるよう、市と地域が一体となった取組が必要である。
- ・しかし、これらの課題解決のための決定打となる方策が見つけられずにいる状況であることから、他都市の事例等も参考にしながら、効果的な施策の研究を続けることとしたい。

施策10 生活環境の保全

大気汚染、水質汚濁、騒音などの監視の継続や廃棄物の適正処理などを図り、良好で快適な生活環境の保全に取り組む。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
														事業費	一般財源
1	クリーンセンター設備改修事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,669,351	1,650,480	
2	リサイクルセンター設備改修事業	一般										○	94,270	9,470	
3	県央ブロックごみ処理施設整備事業	一般										○	→	43,122	43,122
4	公害防止対策事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	219,974	216,223	
施策計		一般											3,026,717	1,919,295	
		一般以外												0	0

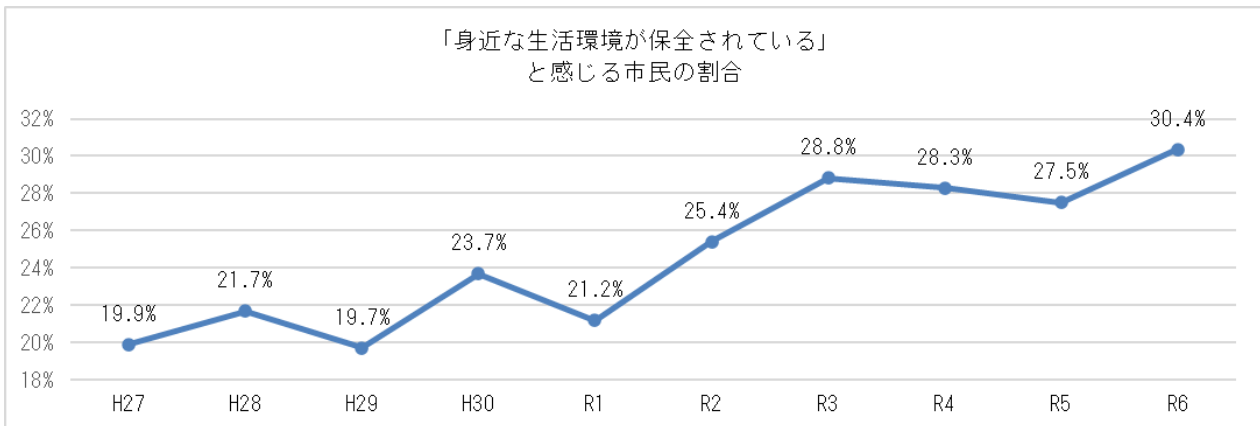
■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移				達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合	単 位 %	目指す方向 ↗	R6実績値	79.1	達成率	78.6%
当初値 (H25)	75.8	R1目標値	77.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
<p>・大気や水質等の環境基準はおおむね良好に保たれているが、当該アンケートは、市民が主観的に本市の自然環境が保全されていると感じているかと回答するものであるため、市民が本市の自然環境が保全されていることを、様々な媒体を活用して情報発信していくことが重要である。環境部ホームページや、市SNS、環境学習講座等により市民への周知が推進できたことにより令和6年度目標値に近い数値にすることができたものと考え。</p>							

実績値の推移				達成状況			
指標②	焼却処理施設での年間処理量	単 位 t	目指す方向 ↘	R6実績値	77,295	達成率	153.3%
当初値 (H25)	96,367	R1目標値	90,784	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
<p>・家庭ごみ（資源を除く。）の減量に向けた各種取組により、家庭ごみの総排出量が減少していることに伴い、焼却処理施設での処理量も減少に向かった。 ・令和2年度以降の事業系古紙の搬入規制の実施や、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した事業系ごみの排出量が、経済活動の再開以降も増加せず推移したため、焼却処理施設での処理量も減少に向かった。 ・上記要因から、焼却処理施設での年間処理量は令和6年度目標値に到達している。</p>							
<small>※盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改定に合わせてH28に目標値を変更している ※H28実績値を暫定値から確定値に修正している</small>							

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：152.5%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・市内全地域（盛岡、都南及び玉山の各地域）において、各一部事務組合とも連携を取りながら、ごみの減量及び資源化に向けた各種取組等を行い、一般廃棄物の適正な処理を行った。
- ・大気及び水質については、おおむね良好な状況を保っている。

(課題)

- ・資源ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の老朽化が進行しており、令和2年度策定の清掃関連施設個別施設計画に掲げる修繕を計画的に実施して、処理施設の機能保持に努めていくほか、将来における処理施設の更新の方向性について検討を行う必要がある。
- ・一部に環境基準の超過が見られる。
- ・クリーンセンターは、施設稼働後25年以上が経過していることから、盛岡広域環境組合で事業を進めている新しいごみ焼却施設の稼働までは、施設設備の性能を維持していくため、計画的な改修を継続する必要がある。
- ・資源ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設についても施設設備の老朽化が進行しており、安定的な処理の継続には計画的な設備改修が必要である。

■まとめ～今後に向けて～

- ・大気、水質等について、環境基準適合率はおおむね良好であることから監視指導を継続して行うとともに、市民への環境教育、環境啓発に取り組んでいく必要がある。
- ・廃棄物処理については、3Rの更なる推進を図るとともに、適正処理体制（収集運搬・廃棄物の処分）を維持し、快適な生活環境の保全に努める必要がある。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

施策11 歴史・文化の継承

地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるように、文化財の幅広い活用を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

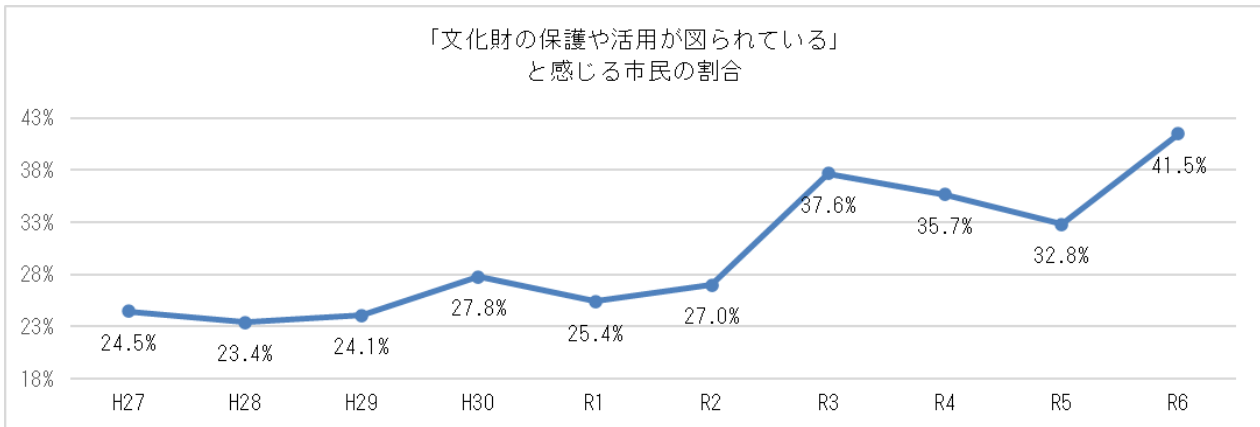
(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	盛岡城跡保存整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	45,556	23,044
2	志波城跡保存整備事業	一般	→	→	→	→	●						199,003	70,003
3	遺跡の広場整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	3,988	3,988
4	玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	940,238	91,838
施策計		一般											1,188,785	188,873
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況				
指標①	文化財数(国・県・市指定)	単位	目指す方向	R6実績値	280	達成率	90.9%			
		件	↗							
当初値 (H25)	270	R1目標値	276	R6目標値	281	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
<p>当初値 H27 270, H28 271, H29 273, H30 274, R1 275, R2 275, R3 276, R4 276, R5 277, R6 280</p>						<p>・文化財の指定追加については、候補となる案件の情報収集に努め、文化財保護審議会へ諮問を行うための調査等を行い、審議会の答申に基づき進めてきたところであり、コロナ禍において新規案件の調査ができなかったこと等により目標件数までは届かなかったが、県の指定や市の追加指定など、着実に件数を増やすことができた。</p>				

実績値の推移						達成状況				
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	単位	目指す方向	R6実績値	64.7	達成率	95.3%			
		%	↗							
当初値 (H25)	58.6	R1目標値	61.8	R6目標値	65.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
<p>当初値 H27 58.6, H28 56.7, H29 56.2, H30 59.3, R1 57.7, R2 60.9, R3 59.8, R4 58.1, R5 65.2, R6 64.7</p>						<p>・盛岡城跡保存整備事業や埋蔵文化財調査事業において、博物館等での歴史・文化財を活用した事業や現地説明会等の周知を図り、市民や観光客に対し、文化財に触れる機会を提供することができた。 ・郷土芸能フェスティバルの共催などを通じて無形民俗文化財の鑑賞機会を提供したほか、博物館施設においては、各館の収蔵資料を活用した展示や講座等を行うなど、施設の特徴・個性を生かした事業に取り組んだことにより、概ね目標値に達することができた。</p>				



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・有形・無形の文化財等の保護と活用に取り組み、市民が歴史や文化に理解を深めるための一助となった。
- ・国指定重要無形民俗文化財「永井の大念仏剣舞」が属する「風流踊（ふりゅうおどり）」が、令和4年にユネスコ無形文化遺産に登録され、地域に伝わる民俗芸能の価値を再認識するとともに、市民の関心を高め、本市の魅力を発信する機会となった。
- ・玉山地域の歴史や民俗・文化を後世に伝え、新たな魅力を発信するための拠点施設となる、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備を推進し、令和7年度から施設の供用を開始した。

(課題)

- ・有形文化財等について、適切な保存が難しくなっている物件が増加していることから、管理体制の維持が必要である。
- ・無形民俗文化財について、民俗芸能保持団体の後継者が減少していることから、確実な継承支援が必要である。
- ・埋蔵文化財について、収納スペースが不足していることから、出土資料の収蔵場所の確保が必要である。
- ・盛岡城跡を次世代に継承していくために、引き続き、発掘調査を進める必要がある。
- ・博物館等施設等の多くは老朽化が進行していることから、施設機能の更新を図る必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりや交流人口の拡大を図る上で非常に大切なことであることから、更に市民や本市を訪れる方々の関心が高まるよう、企画展やイベント等について、創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。
- ・博物館等施設については、市民や来館者が関心を持ち、訪れてみたいと思う魅力的な施設であり続けるよう、計画的に企画展などの事業を展開するとともに、展示施設の更新など、利用しやすくわかりやすい展示に心がけるほか、施設を安全に利用していただくため、修繕・改修、整備を行う必要がある。
- ・この10年間で、コロナという大きなマイナス要因があったにもかかわらず、目標数値にあと一歩のところまで近づけたのは、ニューヨーク・タイムズ紙効果による外国人を含めた観光客の増加が要因として挙げられるが、それ以上に、市における地道な活動と、文化財や伝統芸能にかかわる市民、指定管理者の協力が大きかったものと捉えている。今後も、市民や盛岡を訪れる方々

が、本市の歴史や文化に興味を持ち、歴史的価値の高い文化財等の大切さを認識するとともに、来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から施策展開に努めたい。

施策12 芸術文化の振興

誰もが芸術文化に親しみ、豊かな生活が送れるように、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を支援する。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

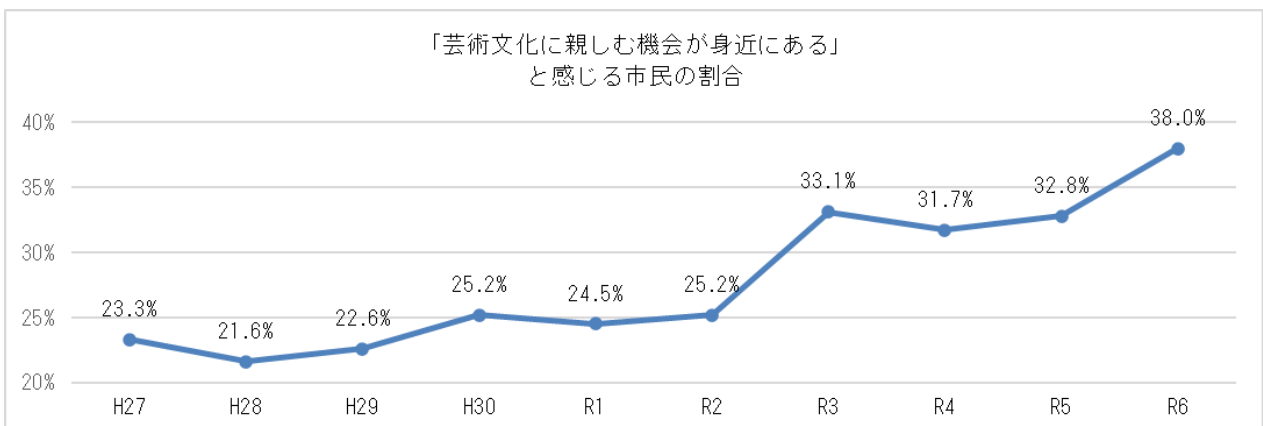
No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	芸術文化活動振興事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	282,053	217,906
2	文化会館活動事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	●		441,581	429,681
施策計		一般											723,634	647,587
		一般以外											0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況																					
指標①	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	単 位	目 的 指 方 向	R6実績値	40.9	達成率	△8.3%																				
		%	↗																								
当初値 (H25)	41.6	R1目標値	45.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																							
		R6目標値	50.0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大前までは徐々に実績値が目標に近づいていたが、感染症拡大の影響により急落した。令和2・3年度以降、徐々に実績値は上昇し回復してきたが、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度の実績まで回復するに至らなかった。 ・新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、催事等の開催状況は徐々に戻りつつあるが、参加機会が確保される状況までには至らなかったものと考えられる。 ・新型コロナウイルス感染拡大により催事の中止や延期が長期化したことから、主催者側においては芸術文化活動の縮小に伴い、実施のノウハウが失われていたり、参加者側にあつては活動への関心が薄れていたりする場合もあるものと考えられる。 																							
<table border="1"> <caption>実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H25)</td><td>41.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>40.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>40.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>40.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>42.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>44.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>28.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>26.5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>34.3</td></tr> <tr><td>R5</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>R6</td><td>40.9</td></tr> </tbody> </table>								年度	実績値 (%)	当初値 (H25)	41.6	H27	40.3	H28	40.9	H29	40.6	H30	42.2	R1	44.7	R2	28.7	R3	26.5	R4	34.3
年度	実績値 (%)																										
当初値 (H25)	41.6																										
H27	40.3																										
H28	40.9																										
H29	40.6																										
H30	42.2																										
R1	44.7																										
R2	28.7																										
R3	26.5																										
R4	34.3																										
R5	38.9																										
R6	40.9																										

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：162.9%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・盛岡の魅力を再発見する取組として、令和元年度から継続して盛岡国際俳句大会を開催し、国内外に対し盛岡市を芸術文化が生きる魅力あるまちとしてアピールすることができた。
- ・公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、令和2年度に市民文化会館の長寿命化修繕を実施した。
- ・芸術文化に関する情報の集約と発信力向上のため、令和3年度から「A r tのM o r i（盛岡市芸術文化ポータルサイト）」の運用を開始し、情報発信を強化した。
- ・令和4年度から「もりおか市民文化祭」を開催し、市内で芸術文化活動を行う団体や個人の発表機会や市民の鑑賞、参加機会の充実が図られた。
- ・文化会館におけるオンラインチケットシステムやW i - F i環境を令和4年度に整備し、施設の利便性をより高めることができた。

(課題)

- ・会員の高齢化や運営資金面などに課題を抱える芸術文化活動団体等が生じている。
- ・気軽に芸術文化に触れられる機会が増えていない。
- ・文化会館の老朽化が進んでいる。

■まとめ～今後に向けて～

- ・「A r tのM o r i」の運用やもりおか市民文化祭の開催により、市民の芸術文化活動の鑑賞・参加機会を増やす取組の充実を図ることができたが、新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻っていない状況にあり、活動に携わる方の意欲や技能の継承が図られるよう活動の継続を支える取組を更に強化していく必要がある。
- ・文化会館利用率や利用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻っていない状況にあるが、施設の老朽化に伴い、修繕や更新を要する設備が多くなっており、安全・快適で機能的な活動環境を提供するため、適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要がある。
- ・指定管理者や芸術文化関係団体との意見交換を踏まえて令和7年3月に策定した第2期芸術文化推進計画の着実な推進を図り、市内で芸術文化活動を行う様々な団体や個人の活動を支えるため、「A r tのM o r i」の活用による情報発信の強化や、もりおか市民文化祭の開催などを通じた活動発表の機会を確保できる取組を継続する必要がある。
- ・盛岡市芸術文化振興基金をより活用できるよう寄付募集やネーミングライツなどによる財源の確保策を進めるとともに、修繕に活用できる財源の確保や修繕後の維持管理も含めた費用縮減の取組について継続して検討する必要がある。

施策13 スポーツの推進

誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるように、スポーツをする環境やスポーツを支える環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じたまちの魅力の創出などに取り組む。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

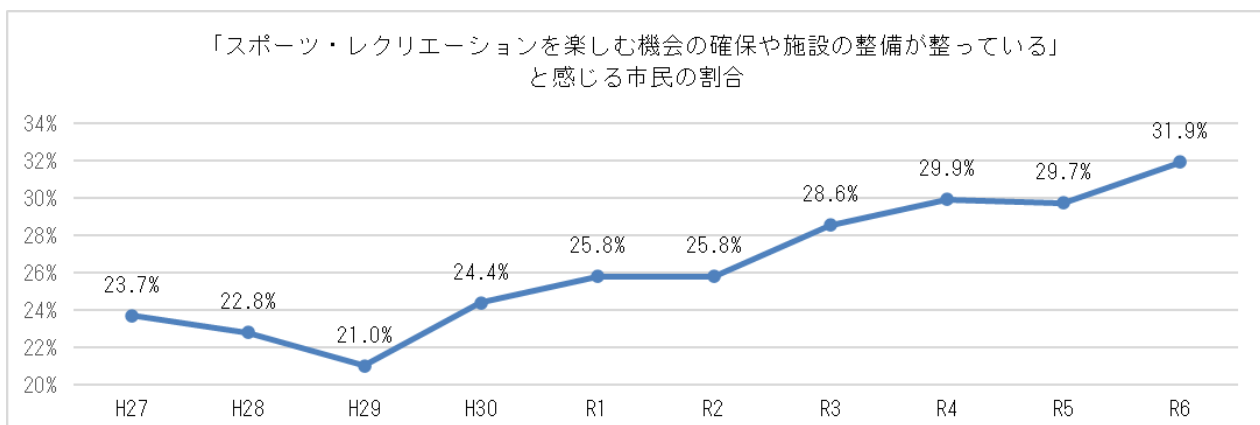
No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	生涯スポーツ推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	807,285	681,684
2	国民体育大会開催事業	一般	→	●									1,830,523	805,189
3	国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	一般	→										1,567,877	157,422
4	浜民運動公園整備事業	一般	○	→	●								612,275	89,604
5	運動部活動の地域移行事業	一般										○	794	0
6	都南東部体育館整備事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	132,815	38,815
7	いわて盛岡ボールパーク管理運営事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	7,281,732	487,070
8	盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	126,763	109,719
施策計		一般											12,360,064	2,369,503
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向		R6実績値	49.4	達成率	45.9%
		%	↗					
当初値 (H25)	31.1	R1目標値	56.0	R6目標値	71.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<p>・平成30年度から横ばいで推移していたが、令和6年度については前年比で約4ポイントの上昇が見られた。これは、令和4年度から開始した健康づくりアプリの利用者が、令和4年末と比較し3倍増になっていること、スポーツ大会等の事業数が増加し、それに伴い参加者数も増加となっていることから、市民のスポーツへの関心の高まりがうかがえ、スポーツ活動を行うことに対する意識が向上しているものと思われる。</p>			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：134.8%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・各種スポーツ大会やスポーツ教室、いわて盛岡シティマラソンなどの開催により、市民のスポーツに関わる機会を創出し、市民のスポーツへの関心を高めることができた。
- ・地域スポーツイベントへのスポーツ推進委員の派遣により、ボッチャなどのニュースポーツに親しむ機会を創出し、市民のスポーツへの関心を高めることができた。
- ・いわて盛岡ボールパークなどスポーツ施設の整備や改修を行ったことによりスポーツの利用環境が向上し、利用者の増加につながった。
- ・「岩手ビッグブルズ」及び「いわてグルージャ盛岡」のホームゲーム観戦者に市の特産品を贈呈するなど市内経済活動の推進や試合会場への誘客を図り、市民がプロスポーツに触れる機会や関心の向上につながった。
- ・スポーツクライミングの世界大会を開催したほか、ホストタウン事業としてラグビーワールドカップ2019™のナミビア代表の合宿や水球カナダ・クライミングカナダ・カナダ女子セブンズの「東京2020オリンピック・パラリンピック」事前キャンプ受け入れを行い、スポーツによる交流人口の拡大に寄与した。
- ・第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」及び第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」の開催により、多くの市民がスポーツに関わったほか、通年型施設の整備を行うことで利用環境が向上した。

(課題)

- ・働く世代の参加者が少なく、参加世代に偏りがある。
- ・競技団体等の指導者や審判が高齢化・固定化している。
- ・施設の老朽化に対し、修繕が追いついていない。
- ・総合型地域スポーツクラブに携わる人材が不足している。
- ・人口減少や高齢化に伴いスポーツ人口が減少している。
- ・大型大会や事前合宿の誘致対象である首都圏や海外の主催者にとって、地方都市での大会開催は、選手やスタッフの移動費や宿泊費等の負担が大きい。
- ・日本代表レベルの試合やトッププロの大会の開催要件において、現況の施設では、観客席の不足、練習調整用のサブアリーナ（サブプール・サブリンク）がないなど、競技団体の要求水準を満たさなくなりつつある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・まちづくり評価アンケート調査における「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合は、目標値には及ばないものの、増加傾向にあり、身近で気軽にできるウォーキングを推奨し、令和4年度から導入した健康づくりアプリ「MOR I-WALKER」などで市民へ周知したことや、ウォーキングイベントの開催などにより、これまでイベントに参加しなかった人や体を動かさなかった人が自主的に運動するようになったものと考えられる。
- ・コロナ禍である令和2年度から令和3年度において、スポーツ事業数及び事業参加者数が大きく落ち込む中、「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合がほぼ横ばいを維持したことは、健康づくり習慣化推進事業による体操動画配信、いわて盛岡シティマラソンのオンラインマラソン、啄木の里ふれあいマラソン代替企画ランニングクリニック動画配信などによる自宅で一人でもできる企画が、市民の運動習慣の醸成及び継続につながったものと思料される。

施策14 「盛岡ブランド」の展開

盛岡が住みたいまち、住んでみたいまち、訪ねてみたいまちとなるため、盛岡ならではの魅力や価値である「盛岡ブランド」を市民と共に磨き、育み、都市ブランドの確立を目指す。
さらに、効果的に市内外に発信することにより「盛岡ブランド」を展開する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	盛岡ブランド確立事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	54,446	40,791
施策計		一般											54,446	40,791
		一般以外											0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合		単位	目指す方向		R6実績値	79.1	達成率	27.5%
			%	↗					
当初値 (H25)	78.0	R1目標値	80.0	R6目標値	82.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に目標値を達成したところであるが、他の年度はいずれも目標値以下となった。 アンケート結果によると、「盛岡市が嫌い」と答えた割合は、いずれの年度も2%未満となっていることから、「どちらともいえない」、「不明」と答えた無関心層に対するインナープロモーションの到達不足が要因として挙げられる。 今後も、市民一人ひとりが、盛岡に誇りや愛着を抱くことができるよう、引き続きシビックプライド醸成に向けた取組を実施する必要がある。 			

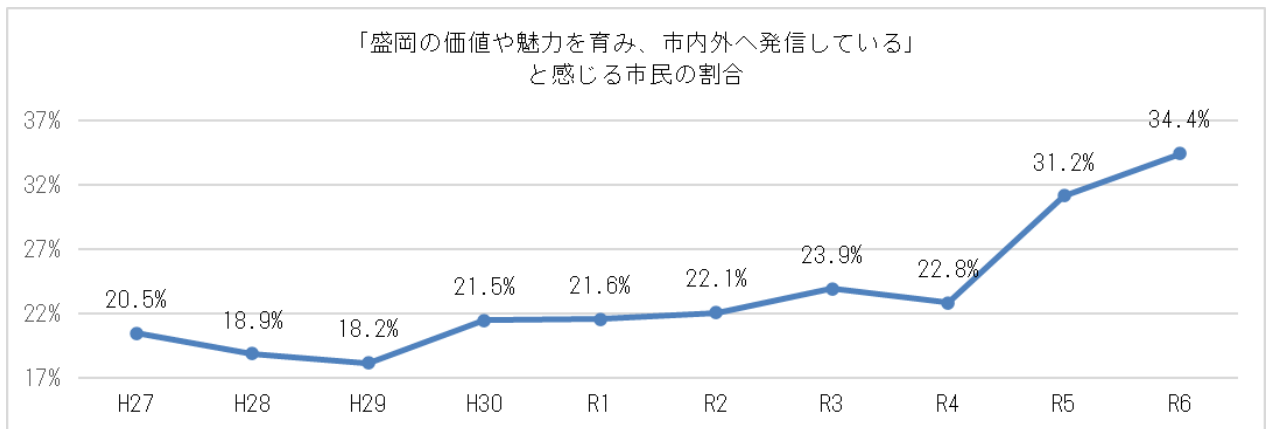
実績値の推移						達成状況			
指標②	地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」		単位	目指す方向		R6実績値	93	達成率	△194.4%
			位	↘					
当初値 (H26)	58	R1目標値	50	R6目標値	40	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に目標値である50位以内を達成した一方で、コロナ禍により対面での交流に制限が生じるなど、市の魅力を周知する機会が限定されたことから、一時期順位が下降した。 その後、新たなシティプロモーション素材を作成したり、「盛岡という星」プロジェクトによる効果的な情報発信を行ったことで、コロナ禍前並に順位を戻すことができた。 順位は、約1000自治体中の順位であり、各年度とも上位10%である100位前後に位置しており、市が行っているシティプロモーションは一定の効果があったと考える。 今後も継続して100位以内に入り続けることを目標として、市内外に対する効果的なプロモーションを行う必要があるものとする。 			

※H27に新しく設定した指標

実績値の推移						達成状況				
指標③	観光客入込数	単 位	目指す方向	R6実績値	425	達成率	△81.0%			
		万人回	↗							
当初値 (H25)	472	R1目標値	500	R6目標値	530	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
						<p>・コロナ禍以前は、目標値を達成していたところであるが、コロナ禍を契機に都道府県の跨いだ往来が制限されたことなどを理由に、観光客入込数が下降した。</p> <p>・コロナによる行動制限が緩和された令和4年度以降は、観光客入込数は回復傾向にあるが、依然として目標値には達していないことから、本市への人の流れを創出するため、今後は、外国人を含めたアウトタープロモーションの強化に努める必要がある。</p>				

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：168.0%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・暮らしの中に根付く盛岡らしい有形・無形の価値や魅力である「盛岡ブランド」が評価され、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に選出されたことで「盛岡ブランド」の価値が一層向上した。
- ・「盛岡という星で」のSNSで情報発信を行ったほか、新たに盛岡ファンクラブ「MORIOK ANNECTION ID」や、盛岡市公式インスタグラムによる情報発信などに努めたことにより、東京圏在住の若者等における盛岡の魅力の認知拡大や移住相談件数の増加につながった。
- ・盛岡ブランド推進のため、小学校等へ出前講座を実施したほか、盛岡にゆかりのある本や映画を活用したプロモーションの実施、木造船「もりおか丸」の運行等の新たな取組によって盛岡の魅力の再確認する機会を創出することができた。

(課題)

- ・個別の取組が成果指標の向上に結び付いていない。
- ・各種アンケート結果から市に対する無関心層の数値の変動があまりないため個別の取組の情報が行き届いていないと想定されるため引き続き戦略的にプロモーションを行う必要がある。
- ・人口減少社会が進む中において、若者の県外流出が深刻化し、東京圏への転出超過が継続している。
- ・東京一極集中の状況や、地域の生産年齢人口の減少が続く中、若者の地元定着や将来のUターンの促進の必要性がより高まっている。

■まとめ～今後に向けて～

- ・計画期間中の各年度において、戦略的・効果的な魅力発信を行った結果、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に選出されるなど、暮らしの中に根付く、盛岡らしい有形・無形の価値や魅力である盛岡ブランドが評価されたものと捉えているが、一方で、コロナ禍により、一時取組を制限せざるを得ない状況があり、最終的に各目標値を達成することができなかった。
- ・アンケート結果によると、市に対する関心が薄い層に対するインナープロモーション、アウタープロモーションが行き届いていなかったことが要因であると捉えていることから、令和7年3月に策定した第2期シティプロモーション推進計画に基づき、各課の効果的なプロモーションの支援などを通じて、情報の到達度の向上に向け全庁一体となった取組を底上げ・けん引する必要がある。

施策15 良好な景観の形成

市民と共に、自然環境と歴史的環境とが調和した盛岡らしい魅力ある景観を保持するなど、良好な景観の形成を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

No	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
													事業費	一般財源		
1	都市景観形成指導事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	11,333	11,333
2	景観計画推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	227,771	153,802
3	屋外広告物事務	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	52,141	9,355
施策計		一般													291,245	174,490
		一般以外														0

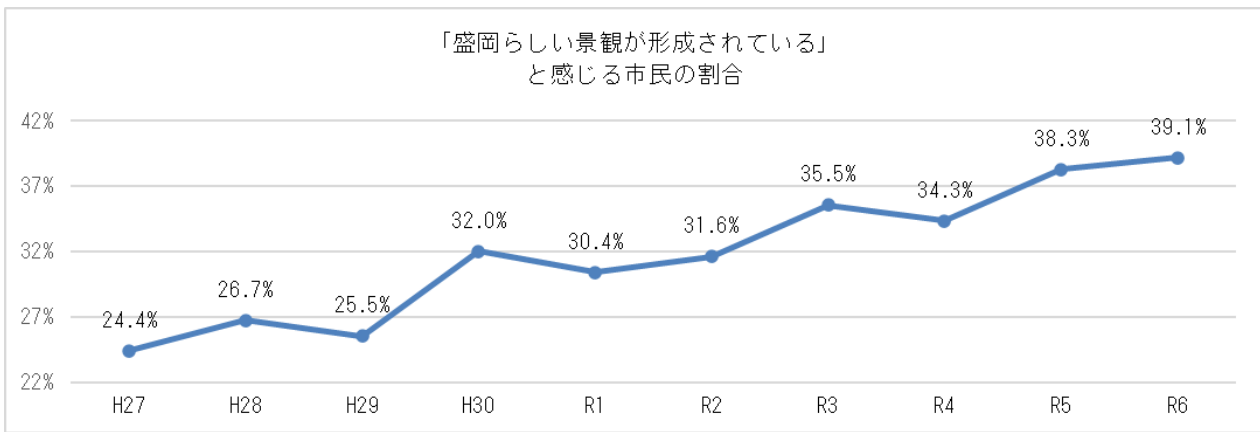
■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	80.5	達成率	113.0%
		%	↗					
当初値 (H25)	70.1	R1目標値	74.7	R6目標値	79.3	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>当初値 H27 70.1 H28 70.8 H29 69.7 H30 65.9 R1 72.2 R2 72.3 R3 72.0 R4 73.1 R5 73.1 R6 78.9 80.5</p>					<ul style="list-style-type: none"> 盛岡固有の市街地の景観が形成・維持されたことで、市民の評価が向上したと考えられる。 ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に取り上げられ、訪問者が増加したことが、盛岡固有の市街地の景観について再評価する機会になったものと考えられる。 			
実績値の推移					達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	66.2	達成率	33.5%
		%	↗					
当初値 (H25)	59.6	R1目標値	69.4	R6目標値	79.3	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>当初値 H27 59.6 H28 59.6 H29 52.3 H30 52.3 R1 58.9 R2 56.0 R3 59.0 R4 62.3 R5 61.7 R6 67.3 66.2</p>					<ul style="list-style-type: none"> 田園や丘陵地の景観が形成・維持されたことで、市民の評価が向上したと考えられる。 しかしながら、田園や丘陵地の景観については、盛岡固有の景観が少なく、相対的な評価が困難であるため、市街地の景観と同程度に設定した目標値までは及ばなかったものと考えられる。 			

実績値の推移					達成状況			
指標③	まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向		R6実績値	77.6	達成率	81.9%
		%	↗					
当初値 (H25)	69.9	R1目標値	74.6	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> ・山地の景観が形成・維持されたことで、市民の評価が向上したと考えられる。 ・岩手山や姫神山等盛岡固有の景観があり、日常生活の中で目に触れることも多いため、市街地の景観と同程度に設定した目標値までは及ばなかったものの、田園・丘陵地の景観に比べて高い評価を得られたものと考えられる。 			

実績値の推移					達成状況			
指標④	まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向		R6実績値	28.8	達成率	12.7%
		%	↗					
当初値 (H25)	28.1	R1目標値	31.1	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> ・施策の推進により、適正な屋外広告物が維持された結果、横ばい傾向になったものと考えられる。 ・目標値に及ばなかったことについては、屋外広告物の制度についての市民への周知が十分に図れていないことが要因と考えられる。 			

実績値の推移					達成状況			
指標⑤	まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向		R6実績値	43.0	達成率	△386.2%
		%	↘					
当初値 (H25)	20.6	R1目標値	17.4	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度までは都市景観シンポジウムの開催や都市景観賞の表彰等により、景観に関する啓発が図られ、横ばい傾向であった。 ・紺屋町番屋リニューアルオープン(R4. 3)や盛岡バスセンター(R4.10)、monaka(R6.7)の整備など、盛岡の景観が話題となる機会や報道が大幅に増加したことにより、良好な景観の形成について問題意識を有する市民が増加したことが変動の要因であると考えられる。 ・令和5年には、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行きべき52ヶ所」に掲載されたことや、紺屋町菊の司酒蔵の解体とその跡地へのマンション建設をきっかけとして良好な景観の形成についての議論が生じたことにより、問題意識を有する市民が一層増加したものと考えられる。 			



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・景観重要建造物の修繕や改修支援、景観重要樹木の樹勢診断、景観計画区域内行為届出制度による形態・意匠・色彩の誘導、適正な屋外広告物の維持等により、良好な景観が形成され、景観に対する市民の評価が向上した。

(課題)

- ・盛岡バスセンターやmonaka等の整備や、ニューヨーク・タイムズ紙の報道、紺屋町菊の司酒蔵の解体とその跡地へのマンション建設などをきっかけとして、良好な景観の形成について問題意識を有し、改善したい景観があると考える市民の割合が増加しており、良好な景観の形成のための多様な取組が求められている。
- ・景観重要建造物の老朽化や景観重要樹木の繁茂が顕著となりつつあり、計画的な対応が求められる中、資材費や人件費の高騰により、速やかな対応に至らない事案に対応していく必要がある。
- ・誇れる景観や、景観形成のための制度について周知を図り、景観に対する意識の醸成を図っていく必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・良好な景観が維持されるとともに、景観に対する市民の意識が高まったものと考えられる。
- ・一方、歴史的建造物の老朽化による破損や歴史的な街路沿道への高層建築物の建設等が見られ、盛岡固有の景観保全に向けた更なる対応が必要となっている。
- ・かつて、盛岡市では、都市景観形成ガイドライン（S59）を策定し、「市民とともに考え、ともに歩む～盛岡方式」を展開し、さらに景観計画（H21）に発展させることにより、良好な景観の形成に努めてきた。
- ・このような姿勢を継承し、市民の互いの立場と意見を尊重した“話し合いによるまちづくり”の実現を図りながら、企業・経済活動と盛岡らしさを両立した良好な景観の形成に取り組んでいく必要がある。

施策16 計画的な土地利用の推進

地域の特性をいかし、機能的で魅力的な都市を形成するため、自然環境の保全と人々の営みとの調和を考慮しながら、コンパクトで効率的な市街地を形成するなど、計画的で適正な土地利用を推進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No	事務事業	会計	実施年度												H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
															事業費	一般財源
1	都市計画区域区分変更事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	75,876	54,333	
2	開発許可事務事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	113,991	59,799	
施策計		一般												189,867	114,132	
		一般以外													0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合 (市域における都市計画区域の割合)					単位	目指す方向	R6実績値	50.3	達成率	100.0%
						%	→(+)				
当初値 (H25)	50.3	R1目標値	50.3	R6目標値	50.3	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
<p>50.5 50.4 50.3 50.2 50.1 50.0</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標としては、現状維持を目標値としており、目標値を達成している。 ・関連する上位計画や制度等の適切な運用、関係施策や計画における相互連携による調整及び市街化区域と市街化調整区域の区域区分が定められ適切に土地利用がなされることにより、盛岡市都市計画マスタープランや上位計画である盛岡広域都市計画区域マスタープランに即した整備、開発、保全の方針が適正に図られていると分析される。 ・開発及び建築行為における許可基準を周知し、加えて、申請前の窓口相談等において十分な指導を行うなどの方策により、市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が継続されていると分析される。 					

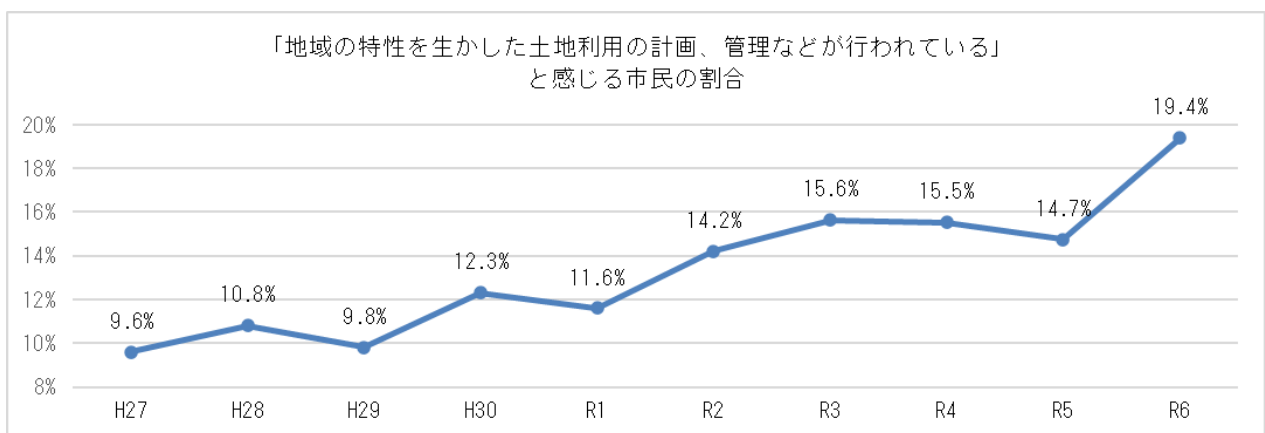
実績値の推移						達成状況					
指標②	農用地として保全し土地利用する割合 (市域における農用地区域の割合)					単位	目指す方向	R6実績値	8.4	達成率	100.0%
						%	→(+)				
当初値 (H25)	8.4	R1目標値	8.4	R6目標値	8.4	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
<p>8.6 8.5 8.4 8.3 8.2</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標としては、現状維持を目標値としており、目標値を達成している。 ・関連する上位計画や制度等の適切な運用、関係施策や計画における相互連携による調整及び市街化区域と市街化調整区域の区域区分が定められ適切に土地利用がなされることにより、盛岡市都市計画マスタープランや上位計画である盛岡広域都市計画区域マスタープランに即した整備、開発、保全の方針が適正に図られていると分析される。 ・開発及び建築行為における許可基準を周知し、加えて、申請前の窓口相談等において十分な指導を行うなどの方策により、農用地の保全が継続されていると分析される。 					

※当初値はH26の速報値

実績値の推移						達成状況			
指標③	森林として保全し土地利用する割合 (市域における森林区域の割合)	単位	目指す方向	R6実績値	73.1	達成率	99.9%		
		%	→(+)						
当初値 (H25)	73.2	R1目標値	73.2	R6目標値	73.2	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標としては、現状維持を目標値としており、目標値をほぼ達成している。 ・関連する上位計画や制度等の適切な運用、関係施策や計画における相互連携による調整及び市街化区域と市街化調整区域の区域区分が定められ適切に土地利用がなされることにより、盛岡市都市計画マスタープランや上位計画である盛岡広域都市計画区域マスタープランに即した整備、開発、保全の方針が適正に図られていると分析される。 ・開発及び建築行為における許可基準を周知し、加えて、申請前の窓口相談等において十分な指導を行うなどの方策により、森林の保全が継続されていると分析される。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：202.1%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・都市計画マスタープラン、盛岡広域都市計画マスタープラン及び立地適正化計画等に即して、適正な土地利用が図られている。
- ・市街化区域及び市街化調整区域の区分による適正な土地利用が図られている。
- ・開発許可及び建築許可に関する窓口相談等に予約制を導入し、待ち時間解消のほか、効率的で適正な指導により適正な土地利用が図られている。

(課題)

- ・人口減少、少子化及び高齢化の進展等により、都市部及び農村部の生活サービス、コミュニティ、社会資本の維持が難しい。
- ・土地利用に係る審査基準の見直しに関する相談や調査、資料収集が必要な相談などが複雑化・多様化している。

■まとめ～今後に向けて～

- ・都市計画マスタープラン（全体構想）の見直し、立地適正化計画の確実な運用及び開発許可の適正な運用等により、計画的な土地利用を進めており、成果指標による進捗評価は良好に推移している。
- ・しかし、今後の人口予測等の社会経済情勢の見通しを踏まえると、コンパクト・プラス・ネットワークの取組みをより一層推進していく必要がある。

- ・農村部においても、農林業を主とした土地利用を保全するため、開発許可の弾力的な運用や地区計画の運用等により、コミュニティの維持に向けた取組を検討する必要がある。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり

施策17 子どもの教育の充実

子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
			事業費	一般財源												
1	教育振興事業（小学校・中学校）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	602,355	602,355
2	先人教育推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,863	4,863
3	生徒指導強化推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	595,579	588,885
4	教育活動推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	125,286	119,836
5	小学校整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	9,205,724	999,996
6	中学校整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	6,227,531	533,292
7	学校プール整備事業	一般	→	→	→	→	●								557,333	71,097
8	小中学施設防災対策事業	一般	→	→	→	→	●								1,774,485	45,541
9	学校給食センター整備運営事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,179,985	993,185
施策計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	20,273,141	3,959,050
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況				
指標①	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:国語】			単 位	目指す方向	R6実績値	104.8	達成率	△241.7%
				ポイント	↗				
当初値 (H25)	110.6	R1目標値	113.0	R6目標値	113.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。 ・令和2年度の全国比110.0以降、結果が下降傾向にある。 ・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。 ・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。 ・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。 ・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。 				

実績値の推移						達成状況			
指標②	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較 【小学校4年生:算数】	単位	目指す方向			R6実績値	102.6	達成率	△362.5%
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	108.4	R1目標値	110.0	R6目標値	110.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。 ・平成29年度の全国比108.0以降、結果が下降傾向にある。 ・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。 ・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。 ・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。 ・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。 			

実績値の推移						達成状況			
指標③	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較 【中学校2年生:国語】	単位	目指す方向			R6実績値	101.2	達成率	△81.2%
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	103.8	R1目標値	107.0	R6目標値	107.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。 ・令和2年度の全国比105.2以降、結果が下降傾向にある。 ・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。 ・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。 ・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。 ・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。 ・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。 			

実績値の推移						達成状況			
指標④	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較 【中学校2年生:数学】	単位	目指す方向			R6実績値	95.8	達成率	△228.6%
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	102.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、令和3年度の全国比103.6以降、結果が下降傾向にある。 ・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。 ・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。 ・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。 ・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。 ・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。 			

実績値の推移						達成状況			
指標⑤	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較 【中学校2年生:英語】	単位	目指す方向	R6実績値	97.8	達成率	△300.0%		
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	103.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、令和2年度の全国比105.0以降、結果が下降傾向にある。 ・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。 ・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。 ・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。 ・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。 ・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。 ・授業における指導者の英語使用の機会を適切に確保すること、生徒が英語を使う場面をさらに保障することにより、英語力を確実に向上させる。 			

実績値の推移						達成状況			
指標⑥	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較 【小学校5年生:男】	単位	目指す方向	R6実績値	98.4	達成率	18.8%		
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	97.8	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。 ・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。 ・ソフトボール投げ(投力)は、令和4年度頃から全国平均を上回って来ている。投げることへの段階的な指導が確率されてきていることが要因としてあげられる。 ・立ち幅跳び(瞬発力)は、毎年、全国標準を上回ることが少なく、50m走との関連が大きく関わっていると考えられる。50m走が向上することで走り幅跳びの数値も上がってくると思われることから、走、跳の動きを体育のウォーミングアップ等で取り入れていく必要がある。 ・20mシャトルランは、低学年から中学年において全国標準を上回る傾向にあり、高学年では、ほぼ下回っている。各校では、マラソン大会等の企画をしているが、長距離の魅力や楽しさを継続して伝えていく必要がある。 ・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。 			

実績値の推移						進捗の評価			
指標⑦	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較 【小学校5年生:女】	単位	目指す方向	R6実績値	98.4	達成率	△420.0%		
		ポイント	↗						
当初値 (H25)	100.5	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られ、体育の時間を始めとする運動の質や量を確保することに努めたが、運動習慣の定着までは至らず、対象学年によっても差があり、運動習慣の二極化が進んでいると推測される。 ・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。 ・ソフトボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっていた。 ・20mシャトルランや反復横跳びは、コロナ禍前ではほぼ全学年で全国標準を上回っていたが、コロナ禍を機に低下が見られる。生活習慣が変わり、運動をしない遊び等が増加したことが要因としてあげられる。 ・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。 			

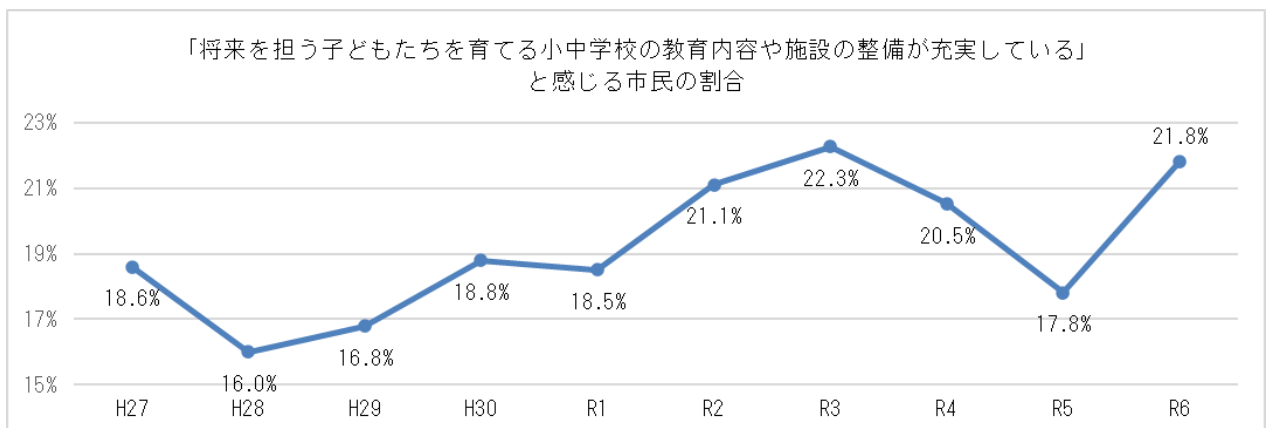
実績値の推移					進捗の評価			
指標⑧	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】	単位	目指す方向		R6実績値	99.6	達成率	△50.0%
		ポイント	↗					
当初値 (H25)	100.4	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。 50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。 ハンドボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年全国平均を上回る結果となっていた。 長座体前屈(柔軟性)は、毎年概ね全国標準を上回っている。 20mシャトルラン(全身持久力)についても、毎年、全国標準を下回ることが多い。小学校高学年から下回っていることから、小学校からの影響があるものと考え、日常的に有酸素運動を取り入れるなどし、苦手意識や有酸素運動嫌いを少なくしていくことが求められる。 岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。 			

実績値の推移					達成状況			
指標⑨	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】	単位	目指す方向		R6実績値	99.9	達成率	△16.7%
		ポイント	↗					
当初値 (H25)	100.2	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。 50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。 ハンドボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっていた。 長座体前屈(柔軟性)は、毎年概ね全国標準を上回っている。 20mシャトルラン(全身持久力)は、全国標準を下回ることが多かったが、98%前後の結果となることが多く見られる。 握力(筋力)は、コロナ禍前は、毎年上回っていたが、コロナ禍から低下傾向にある。しかし、99%台が多くほぼ全国標準で推移している。 岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。 			

※指標⑥⑦⑧⑨のR2実績については調査未実施のため、実績なし。

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：117.3%



■10年間の成果、課題

(成果)

- 盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「課題を捉え、解決の見通しをもつ場面」「考えを深める場面」「学びを振り返り、達成感を得る場面」を位置付けた授業づくりが浸透してきている。
- 校内研究会への指導主事の派遣、研究員研究、公開講座及び教育研究所研究発表会の開催等により教員の指導力向上に努めている。

- ・数研式全国標準学力検査（NRT）の結果において、小学校国語・算数・中学校国語で、全国平均を上回っている。特に、小学校で大きく上回っている。
- ・小学校男子、中学校男女で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことにより一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。
- ・各校種、各性別で、ソフトボール、ハンドボール投げ（投力）は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっている。
- ・幼稚園教育について、一人ひとりの園児に対する職員の丁寧な対応が保護者に評価され、保護者の満足度が高い水準を維持している。
- ・市立高校の進学・就職進路達成率は、コロナ禍の期間を除くと概ね98%以上となり、高い水準を維持できた。特に就職については連続して100%を達成した。
- ・教職員研修の充実について、講座の内容を吟味し、教職員のニーズが高い講座を開設したことにより参加意欲が喚起され参加者数の目標達成につながった。
- ・令和6年度までに、12校で公共施設保有最適化・長寿命化中期計画における大規模改修工事に着手したが、取組実績に顕著な遅れが見られたことから、令和3年7月に盛岡市立小中学校校舎安全対策改修計画を策定し、校舎安全対策改修を行った。
- ・令和3年7月に改訂した盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画において、小中学校校舎及び屋内運動場を「小中学校トイレ環境早期改善施設」と位置付け、集中的に整備を行った。

（課題）

- ・学力に関する諸調査の結果から、算数・数学と英語において、児童生徒の資質・能力の向上に努めていく必要がある。
- ・数研式全国標準学力検査（NRT）の結果において、中学校数学・英語で、全国平均を下回っている。また、中学校国語も低下傾向にある。
- ・不登校生徒の出現率が小学校も中学校も増加傾向にある。特に、中学校で大幅に増加している。
- ・小学校女子で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことにより一時的に体力低下が見られ、体育の時間を始めとする運動の質や量を確保することに努めたが、運動習慣の定着までは至らず、対象学年によっても差がある。
- ・幼稚園教育について、園児数の減少が継続しており、社会性を育む教育環境の確保が望まれている。
- ・市立高校について、進学率や就職率の一層の向上を図るため、きめ細やかな指導体制の確立と教職員研修の充実、教育活動の魅力化を図る必要がある。
- ・教職員研修の参加者数について、悉皆研修として位置付けた講座の参加者が増加傾向にあることから、年間を通して悉皆研修の程度を把握し適切に位置付ける必要がある。
- ・学校施設について、公共施設保有最適化・長寿命化長期計画及び同中期計画の方針に沿って、大規模改修による長寿命化等の取組を進めてきたが、計画に基づく実施時期よりも早く設備の破損等が生じる学校があり、早期の安全性の確保が求められていたほか、利用者のニーズが高い便器の洋式化を中心としたトイレの環境整備を早急に行う必要が生じていたため、校舎・屋内運動場のトイレ整備及び小中学校施設の安全対策改修を集中して行ったが、今後も引続き、改修が完了していない小中学校のトイレ整備及び安全対策改修に努める必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・盛岡市学力向上推進事業において、重点目標としている「児童生徒一人一人に資質・能力を育成することを目指した授業改善」に向け、校内研究会への指導主事の派遣、研究員研究、公開講座及び教育研究所研究発表会の開催等により教員の指導力向上に努めたことは評価できる。

- ・N R Tの数値は各校種、各教科共に減少傾向であることから、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をこれまで以上に推進する必要がある。
- ・不登校対策として、学校風土の「見える化」、校内教育支援センターの充実、「ひろばモリーオ」のセンター機能の充実を図り、誰一人取り残さない教育を更に推進する必要がある。
- ・各校種で、コロナ禍後に、工夫した活動を行ったことで、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保し、概ね、当初の値まで回復することができたことは評価できる。
- ・生涯にわたって運動を楽しむ態度の育成のために、運動の楽しさを体感する授業づくり、運動する機会の確保に努めることが求められる。
- ・幼稚園教育は、「幼保・こども園と小学校の接続カリキュラム」の見直しを行い、幼児教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続を促進する。
- ・高等学校教育は、インターンシップ事業の実施や探究学習の推進により地域の魅力や課題を理解し、本市に誇りと愛着を持ち貢献しようとする人材の育成を図る。また、「高等学校D X加速化推進事業」を生かしたI C T教育によるデジタル人材の育成に取り組む。
- ・学校の安全性の確保や、利用者のニーズの高いトイレの改修を優先的に校舎、屋内運動場のトイレ整備及び小中学校施設の安全対策改修を集中して取り組んできたところであり、今後も引続き、改修が完了していない小中学校のトイレ整備及び安全対策改修に努める。

施策18 生涯学習の推進

誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

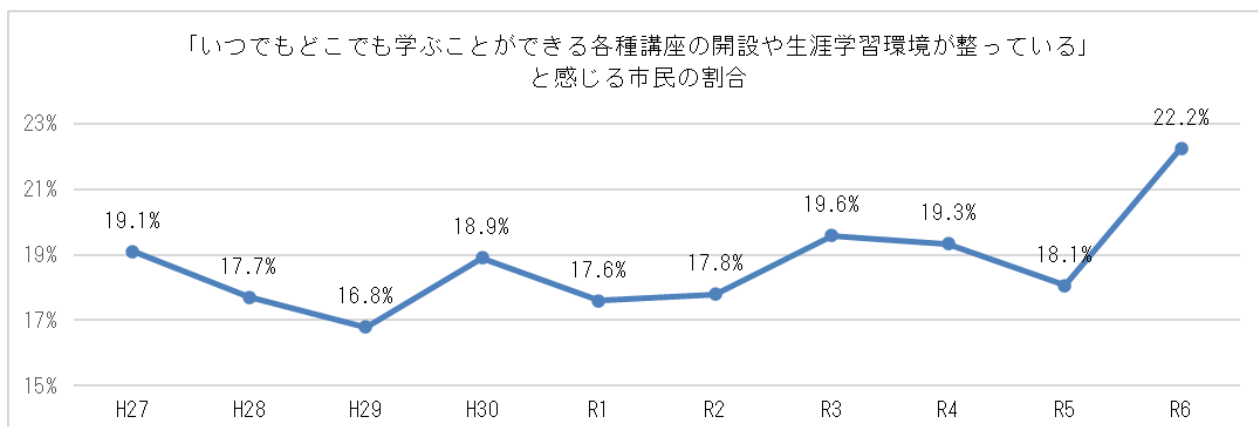
No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6			
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額			
			事業費	一般財源												
1	社会教育促進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	95,163	83,796
2	社会教育施設整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,839,431	301,490
施策計		一般													1,934,594	385,286
		一般以外													0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移				達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	単位 %	目指す方向 ↗	R6実績値	39.4	達成率	△18.2%
当初値 (H25)	40.6	R1目標値	43.9	R6目標値	47.2	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度と令和2年度に大きく減少したところである。 ・平成28年度の落ち込みは、「学びの循環推進事業」において市民のニーズに対して講座や講師が充足していないことや、公民館利用者の中心となるサークルの会員数が高齢化などの影響により減少し、それに伴ってサークル自体の数も減少していること、また、20歳以上の市民を対象としていたアンケート調査が平成28年度から18歳以上を対象と変更になったことが要因と考えられる。 ・令和2年度の落ち込みは新型コロナウイルス感染拡大によるものであり、その後、徐々に社会生活を取り戻す中で、自らの学びも再開してきている状況と考えられる。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：116.4%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・学びの循環推進事業は、市民グループの申請に基づき、市の担当課職員や人材バンク登録講師を講師として派遣する事業であり、充実した内容の講座が実施され、市民の継続的な学習活動の推進が図られた。
- ・家庭教育支援や放課後子ども教室など社会教育事業の実施により、家庭や地域での教育の充実が図られた。
- ・社会教育施設の通信環境整備については、公民館6館（中央、上田、西部、河南、都南、渋民）及び市立図書館にw i - f i等を整備し、オンラインを活用した研修会や資料研究等、利便性の向上が図られた。
- ・社会教育施設の整備においては、市立図書館の大規模改修工事、見前南地区公民館の建設等、社会教育施設の整備・充実を図り、地域における学びの場の確保に取り組んだ。

(課題)

- ・学びの循環推進事業については、利用実績がコロナ禍以前の水準程度に回復しつつあるものの、「専門コース」の活用が引き続き伸び悩んでいることから、社会情勢の変化を踏まえた学習ニーズの把握やSNS等を活用した情報発信に努めるなど、学びの機会の充実を図る必要がある。
- ・社会教育関係団体の状況について、会員数や団体数が減少傾向にあり、新規の団体結成が少ない状況であることから、会員増加と新規団体育成のための支援を行う必要がある。
- ・社会的課題の学習テーマの講座については、受講者が集まりづらい傾向があることから、市民に興味、関心を持ってもらえる企画内容や周知方法、講師選定等に工夫が必要である。
- ・地区公民館等、w i - f i等通信環境が未整備の社会教育施設が残っていることから、通信環境の整備を検討する必要がある。
- ・子ども科学館など、一部の社会教育施設は老朽化が著しいことから、計画的に整備を進める必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・誰もが生きがいを持ち豊かな人生を送るため、学んだ成果を地域づくりに生かす事業の普及や社会教育関係団体の支援・育成などを通して、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築が求められていることから、全ての人が豊かな人生を送ることができるよう学びの機会の充実を図る必要がある。また、多様な学びのニーズに応じた講座の開催や事業の実施が求められていることから、幅広い分野の学習指導者が必要となる。
- ・子どもたちの健全育成を図るため、学校、地域、家庭と連携しながら家庭教育の充実を図るほか、中学生リーダーを育成する事業を通じて若い年代の社会参加活動を促進していく必要がある。
- ・社会教育施設利用者の安全性と教育機会の確保及び利便性向上を図るため、計画的な修繕と通信環境の整備に取り組む必要がある。

施策19 社会を担う人材の育成・支援

将来を担う若い世代や女性がライフスタイルに合わせ、社会のさまざまな場面で活動できるように、人材の育成や情報の提供などの支援に取り組む。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

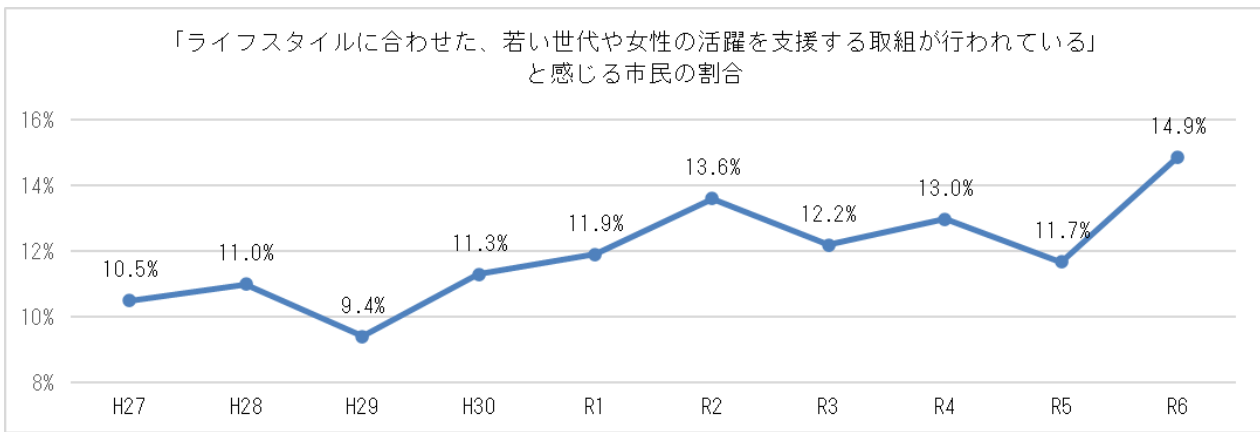
(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
			○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	事業費	一般財源	
1	若者の就業支援事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	181,541	151,608
施策計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	181,541	151,608
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	もりおか若者サポートステーションに年度内に新規登録した盛岡市民のうち就職決定した者の割合	単位	人	目指す方向	→(+)	R6実績値	83.5	達成率	132.8%
当初値 (H27)	62.9	R1目標値	62.9	R6目標値	62.9	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> 支援機関の認知の広がりとともに、利用者の状況に応じたきめ細やかな支援の実施により、新規登録者数、就職決定者数とも増加傾向が続き、令和4年度以降は目標値超え、年々伸びをみせている。 市事業としてコミュニケーション能力開発のセミナーや臨床心理士によるカウンセリング、ひきこもり支援につながる居場所づくり、ボランティア体験の実施など、国事業を補完する職業的自立を目指す前段階となる基礎的支援を実施しており、小さな成功体験や自信を積み上げていくことで、利用者の就労開始に寄与したと考えられる。 令和4年度からは、就職氷河期世代の支援を強化するため専門の支援員を配置したことで、対象世代の就職決定者数の伸びに大きく寄与したと考えられる。 			
※R1に「支援を受けて就職を決定した人数」から「年度内に新規登録した盛岡市民のうち就職決定したものの割合」に変更									

実績値の推移						達成状況			
指標②	ジョブカフェいわての利用者数	単位	人	目指す方向	↗	R6実績値	110,960	達成率	319.7%
当初値 (H25)	29,529	R1目標値	30,000	R6目標値	55,000	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> ジョブカフェいわてでは国・県・市の3者の事業を行っており、ジョブカフェいわて運営事業におけるカウンセリング等の就職相談支援のほか、U・Iターン希望者の相談支援や働き方改革推進事業の実施により、ジョブカフェいわてのサービス利用者数は年々増加で推移し、令和元年度に令和6年度目標値を達成した以降も大幅な伸びをみせている。 ジョブカフェいわての全体利用者総数だけでなく、相談支援を受けた者の就職決定者数も年々伸びている状況であり、きめ細やかな就職相談サービスをワンストップで行う若年者等の就労に関する相談拠点として十分に認知され、成果を挙げている。 			



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・国が設置する「もりおか若者サポートステーション」において、市事業としてワーキンググループの開設やボランティア活動の場の提供、臨床心理士によるカウンセリングを実施したほか、県が設置する「ジョブカフェいわて」へのカウンセラーの配置等、国や県の事業との連携による、きめ細やかな取組を行うことで、若年無業者や新規学卒者の就業率向上に寄与した。
- ・「もりおか若者サポートステーション」に、令和4年度から就職氷河期世代を支援する専門の支援員を配置し、相談支援体制を強化することで、対象世代のキャリアアップ、就業開始・職場定着に寄与した。
- ・インターンシップに係る高校生と市内民間企業のマッチング、県外の大学生等を対象に、就労体験や生活体験を通して、将来のU Iターンにつなげる「ふるさとワーキングホリデー」の実施により本市で働き暮らすことの魅力を発信し、若者の市内就業に寄与した。
- ・盛岡広域管内の高校生をメインターゲットに、地元企業で働く若手社員の様子を紹介する「MORIOKAシゴトカメラ」の冊子配布・ウェブマガジン公開を通じて、地元で働き暮らす魅力を発信し、地元就職意識の醸成を図った。

(課題)

- ・若年無業者になる背景には、心身の健康上の理由や人間関係に関する不安など、多種多様で複雑な要因があり、支援を必要とする若年無業者の全容把握が困難な状況である。また、利用者の抱える課題は多様化・複雑化しており、継続的かつ個々の状況に応じた丁寧な支援が求められる。
- ・全国的に少子高齢化に伴う労働力人口の減少が顕著となる中、高校・大学等の新卒者は就職活動において売り手市場の状況にあり就職率は高い水準となっているが、首都圏等の企業の採用活動が以前に増して旺盛となっており、賃金などの待遇面が好条件の県外企業への就職を希望する学生・生徒が増えている傾向にある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・成果指標である「もりおか若者サポートステーションに年度内に新規登録した盛岡市民のうち就職決定した者の割合」及び「ジョブカフェいわての利用者数」とともに、目標値を上回り順調に推移しているところであり、引き続き「もりおか若者サポートステーション」における若年無業者等の職業的自立に向けた支援や「ジョブカフェいわて」におけるきめ細やかな相談支援の充実を図り、若い世代や女性が活躍できるよう支援策を展開していく。
- ・コロナ禍明けに企業活動の活発化とともに、首都圏等の企業の採用活動が以前に増して旺盛となり、待遇面が好条件の県外企業への就職を希望する若い世代が増えている傾向にある。地元企業

を認知しないままに転出していることが考えられることから、より多くの若者が情報を得た上で就職先を選択できるよう、若者が地元企業の魅力に触れる機会の創出に取り組んでいく。

施策20 地球環境の保全と自然との共生

地球環境や豊かな自然を次世代に引き継ぐため、地球温暖化対策やごみの減量化・資源化の推進、水や緑の保全などに取り組み、地球環境の保全と自然との共生を推進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
			事業費	一般財源											
1	地球環境啓発事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	62,548	44,381
2	資源集団回収報奨金交付事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	272,920	82,947
3	地域循環型生ごみ処理推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	●				10,700	8,281
4	きれいなまち推進事業	一般									○	→	→	83,477	69,146
5	事業系ごみ減量等推進事業	一般							○	→	→	→	→	10,068	8,214
6	地球温暖化対策実行計画推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	255,379	46,654
7	生出地域エコタウン事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	35,358	29,732
施策計		一般												730,450	289,355
		一般以外													0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

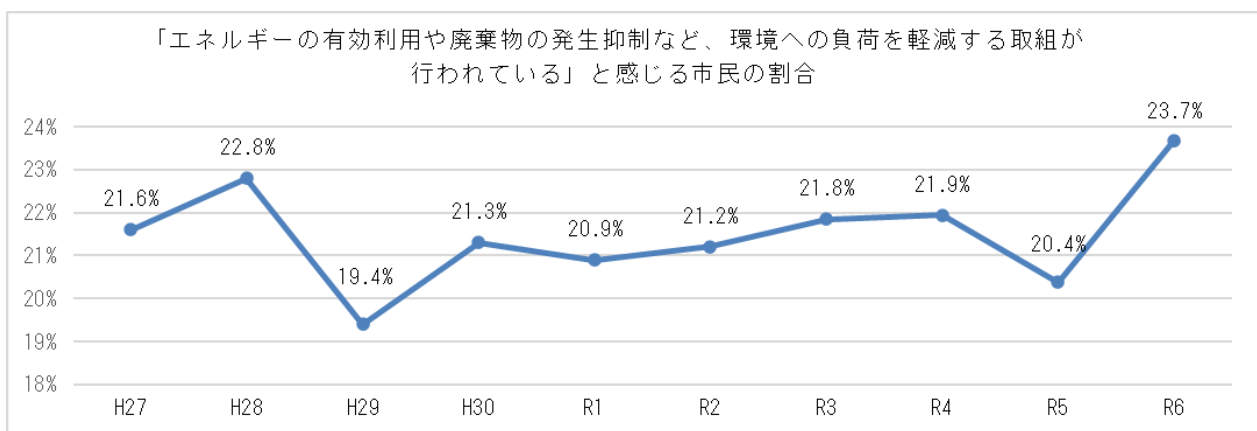
実績値の推移				達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	単位	目指す方向	R6実績値	74.4	達成率	△123.1%
		%	↗				
当初値 (H25)	80.8	R1目標値	83.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
		R6目標値	86.0				
<p>86 84 82 80 78 76 74 72 70</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値 R6目標値</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・大気や水質等の環境基準はおおむね基準値が守られているが、近年、中津川でのサケの遡上が見られないこと等により、「自然が守られていない」と感じる市民が多くなっていると推察される。 ・本市の自然環境が守られていることを、市ホームページや、SNS等のメディアを活用して情報発信していくことが重要と考えている。 			

実績値の推移				達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	単位	目指す方向	R6実績値	75.8	達成率	△92.5%
		%	↗				
当初値 (H25)	80.7	R1目標値	83.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
		R6目標値	86.0				
<p>86 84 82 80 78 76 74 72 70</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値 R6目標値</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間を通じて、緩やかに減少傾向である。近年気候変動による自然災害が頻発していることや、環境の変化に関する報道も多かったが、本市においては自然災害が少なく、身近な問題として認識が不十分な可能性がある。環境問題や省エネよりも、自らの生活や命を脅かす感染症問題や、熱中症対策としてのエアコンの利用促進などのほうが、より意識されている可能性が考えられる。 ・環境に配慮した生活を心がけている割合が減少傾向であるものの、物価高騰や燃料高騰に伴う節約志向の高まり、デジタル化による生活様式の変化などが影響し、ごみについては減量傾向が続いているものと考えられる。 			

実績値の推移				達成状況			
指標③	ごみ総排出量	単位	目指す方向	R6実績値	92,126	達成率	197.5%
		t	↘				
当初値 (H25)	118,398	R1目標値	111,170	R6目標値	105,098	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ(資源を除く。)の減量に向けた各種取組により、ごみの分別排出及び資源化に対する市民意識の高まりから、家庭ごみの排出量が減少に向かった。 ・令和2年度以降の事業系古紙の搬入規制の実施や、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した事業系ごみの排出量が、経済活動の再開以降も増加せずに推移したため、事業系ごみの排出量が減少に向かった。 ・上記要因から、ごみ総排出量は令和6年目標値に到達している。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：109.5%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・家庭ごみ(資源を除く。)については、きれいなまち推進員等と連携した各種事業により、ごみの分別排出及び資源化に関する市民の意識が徐々に浸透していることが考えられ、ごみ総排出量の減少傾向に結びついている。
- ・事業系ごみについては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響のほか、令和2年度以降の事業系古紙類の搬入規制の実施、盛岡商工会議所を通じた適正処理・資源化の周知を行ったことから、ごみ総排出量が大きく減少している。
- ・上記成果から、ごみ総排出量は令和6年目標値に到達している。

(課題)

- ・アンケート調査で、「自然が守られていると思う」と市民の割合が減少している。
- ・アンケート調査で、「CO₂の発生抑制に取り組んでいる」市民の割合が減少している。
- ・家庭ごみ(資源を除く。)については、地区別の排出状況に合わせた細やかな周知啓発を行うとともに、食品ロス削減に向けた取組を推進する必要がある。
- ・事業系ごみについては、資源化可能な事業系古紙や適切に分別されていない産業廃棄物の搬入規制を行うとともに、食品ロスの削減に向けた取組を推進する必要がある。
- ・地球温暖化対策の一環として補助事業や啓発活動を行っているものの、効果は限定的であることから、今後も地球温暖化対策としてのCO削減の重要性や再生可能エネルギーの導入促進、ごみの減量など取り組みやすい内容を分かりやすく市民に情報発信し、「地球環境にやさしい生活」について市民の意識をより高めていく必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・地球温暖化対策、自然環境保全については、環境基本計画の改定（令和3年3月）、市気候変動対策実行計画の改定（令和4年6月）、計画に基づく講座の開催など、施策の推進に努めているところであり、とりわけ、脱炭素社会の実現（2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ）に向けて、再生可能エネルギー利用拡大や市民の省エネ行動の実践啓発などを効果的に進める必要がある。
- ・循環型社会の形成については、3Rの推進に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で事業活動が縮小していることに伴い、ごみの排出量は減少しているが、同感染症の5類感染症への変更に伴う事業活動の回復によるごみの排出量の変化に注目するとともに、ごみの減量や資源化に向けた各種の施策を確実に展開する必要がある。

基本目標 4 人が集い活力を生むまちづくり

施策21 農林業の振興

生産地であり、かつ、消費地である地域特性をいかし、都市部との交流を図りながら、地産地消をベースとした付加価値の増大につながる農林業を推進するとともに、山林農地の有する国土保全・水源かん養などの多面的機能を維持・発揮するため、農林業者の経営力の向上や後継者の育成などの支援に取り組む。

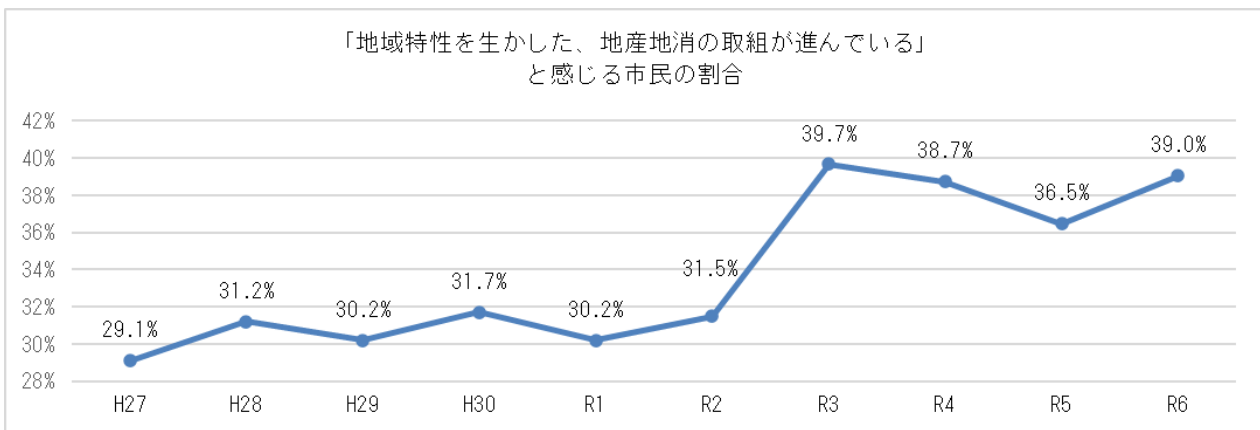
■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
														事業費	一般財源
1	新規就農支援事業	一般								○	→	→	→	90,833	4,755
2	需要に応じた米生産推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	138,395	138,395
3	地域農業計画実践支援事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	74,327	23,756
4	果樹産地化事業	一般	→	→	→	●								885	605
5	盛岡りんご担い手バックアップ事業	一般						○	→	→	→	→	→	3,984	634
6	食と農の連携推進事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	227,771	161,198
7	中山間地域等直接支払事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	566,440	142,570
8	環境保全型農業直接支払交付金事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	127,061	49,865
9	畜産振興事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	238,071	75,104
10	有害鳥獣対策事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	68,937	60,692
11	木材需要拡大推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	45,681	11,915
12	文京区学生と創るアグリイノベーション事業	一般											○	4,380	0
13	農地中間管理事業	一般							○	→	→	→	→	40,661	16,585
14	スマート農業導入促進事業	一般								○	→	→	→	9,194	0
15	多面的機能支払交付金事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,214,106	547,802
16	農業基盤整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	858,034	344,860
17	森林適正管理推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	93,854	23,787
18	森林経営管理事業	一般					○	→	→	→	→	→	→	172,547	0
19	市有林造成事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	444,745	100,940
20	地籍調査事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	347,136	86,784
21	林道整備事業	一般										○	→	17,712	12
施策 計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5,784,754	1,790,259
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	農業総生産額	単位	目指す方向		R4実績値	9,988	達成率	132.9%
		百万円	↗					
当初値 (H25)	6,405	R1目標値	7,489	R6目標値	9,102	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>※実績の最新値はR4 ※H28に「純生産額」から「総生産額」に変更している ※推計方法の変更や最新の統計結果等により遡及改定している</p>					<p>・盛岡市の農業産出額の内訳をみると、畜産の占める割合が約7割と高くなっているが、特にこの畜産の数字が伸びており、農業総生産額の増加にも結びついている。 ・農業用機械・施設の導入を支援し、農作業の効率化や作業環境の改善が図られたことで、農業者の生産性が向上し、農業総生産額の増加につながったと考えられる。</p>			
実績値の推移					達成状況			
指標②	林業総生産額	単位	目指す方向		R4実績値	692	達成率	△234.4%
		百万円	↗					
当初値 (H25)	835	R1目標値	814	R6目標値	896	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>※実績の最新値はR4 ※H28に「純生産額」から「総生産額」に変更している ※推計方法の変更や最新の統計結果等により遡及改定している</p>					<p>・計画期間内において、木材価格の低迷が進んでいるなか、一時的にウッドショックによる木材価格の高騰があったものの、総じて木材需要量や木材価格の下落傾向であった。 ・市の取り組みにおいては、バスセンターや新野球場、盛岡市中央公園、道の駅などの大規模公共施設への市産材活用や森林整備に係る支援を実施してきたが、今後においても、木材利用の振興や森林整備の機運醸成に取り組んでいきたい。</p>			
実績値の推移					達成状況			
指標③	新規就農者数	単位	目指す方向		R6実績値	251	達成率	128.6%
		人	↗					
当初値 (H25)	71	R1目標値	121	R6目標値	211	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>※実績の最新値はR6</p>					<p>・国の「新規就農者育成総合対策」による支援に加え、平成29年度に市単独の「親元就農給付金事業」を創設し、経営が不安定な就農直後の所得確保や経営発展のための機械・施設等の導入を支援した。また、専門的知識を有する農業経営改善支援員による相談対応や関係機関と連携した支援体制を構築することで、新規就農者へ寄り添い伴走支援に努めたことにより、目標値を超え順調に推移した。</p>			
実績値の推移					達成状況			
指標④	農用地の利用集積面積	単位	目指す方向		R6実績値	4,012	達成率	73.0%
		ha	↗					
当初値 (H25)	2,476	R1目標値	4,230	R6目標値	4,581	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>※実績の最新値はR6</p>					<p>・農地の「貸し手」と「借り手」のマッチングにおいて、特に中山間地域では農地の耕作条件が不利であることから集積が進みにくく、目標達成はできなかったものの、平成26年度からの農地中間管理機構を活用した農地集積・集約の促進とともに、地域農業マスタープランの実践及び地域計画の策定を通じて、着実に農地の利用集積・集約を進めた。</p>			



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・産直の利用者数とグリーンツーリズム施設の利用者数が増加しており、都市と農山村との交流人口の増加につながっている。
- ・盛岡産農畜産物の魅力発信や愛着醸成につながる取組、体験型プログラム等の実施により、盛岡産を意識して購入するなど市民の認知度や愛着が高まった。
- ・電気柵設置費補助事業を拡充したことにより、電気柵を設置する農家が増加し鳥獣被害面積が減少し、令和5年度から被害金額が減少に転じた。
- ・高校生・大学生等を対象とした林業等事業所現場見学会を実施し、参加者全員が林業に興味を持ったことで、林業及び関連産業の認知度が高まった。
- ・農業用機械・施設の導入を支援し、農作業の効率化や作業環境の改善が図られたことで、農業者の生産意欲と生産性の向上に寄与した。
- ・中山間地域等直接支払事業の実施により、耕作放棄地発生や農用地減少を抑止した。
- ・航空レーザ計測及びデータ解析を行い、集約化施業の推進等、森林資源の有効活用に向け情報を整理した。

(課題)

- ・新規就農者の認定農業者への移行など、地域の中心的な担い手への発展につなげていく必要がある。
- ・生産者が主体となった「6次産業化」は継続的な商品販売や販路拡大につながりにくい。
- ・農用地や水路、農道などの地域資源の保安全管理に関する担い手の負担が増加している。
- ・森林所有者の森林整備に対する意欲を向上させる必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・新規就農者数は着実に増えているものの、全体の農業者数は高齢化等により減少し続けており、引き続き、新規就農者の確保の取組を進めるとともに、その後の認定農業者への移行を積極的に進めるなど地域農業の担い手へとつながるよう関係機関と連携した伴走支援を行っていく必要がある。
- ・農家所得の向上と食関連産業の活性化に取り組んできたが、生産者の減少は避けられない現状を踏まえると、農業の持続的な発展のために盛岡産農畜産物の価値を上げ、事業者に使ってもらえるような取組が必要である。
- ・林業の新規就労者については、これまでの林業等事業所現場見学会等の取組により林業及び関連企業への認知度を高めてきたが新規就労者は増加せず横ばいの状況であることから、引き続き高校生・大学生等に対し、林業等の魅力を伝える取組が必要である。

施策22 商業・サービス業の振興

商業の活発な事業活動を展開させるため、地域特性をいかしたにぎわいのある商店街の形成や、生産者、消費者、商業者等の連携の促進、多様なサービス業の育成・活性化の支援など、商業・サービス業の振興を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

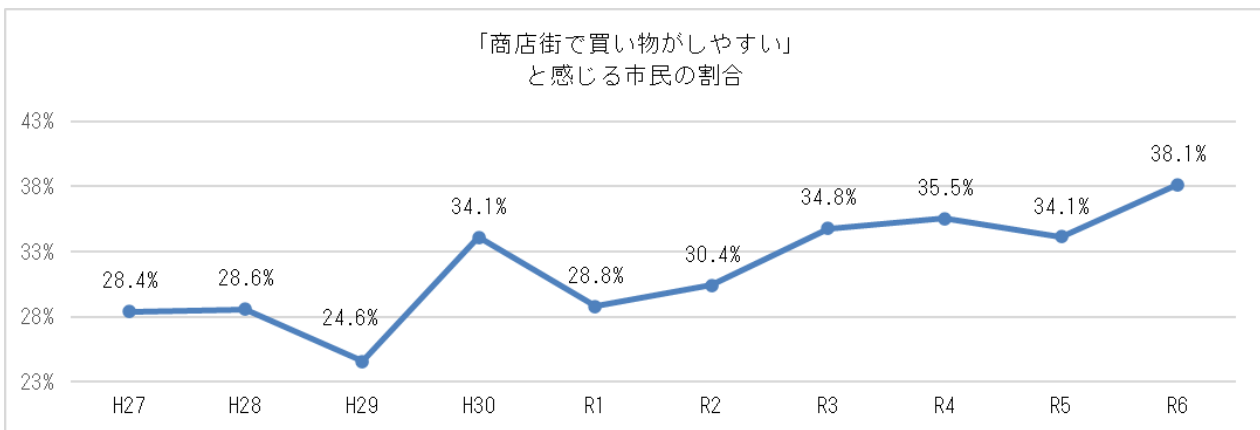
（単位：千円）

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	商店街活性化支援事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	752,917	206,687
2	商工団体育成事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	455,919	388,476
3	商店街等指導事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,632	1,632
4	盛岡南地区物流拠点整備事業	一般								○	→	→	67,794	14,024
5	中央卸売市場活性化事業	市場	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,949	2,949
施策計		一般											1,278,262	610,819
		一般以外											2,949	2,949

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況				
指標①	卸・小売の年間販売額	単位	億	円	目指す方向	↑	R3実績値	11,779	達成率	98.0%
当初値 (H24)	10,724	R1目標値	11,300	R6目標値	11,800	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
<p>※経済センサスにより調査している項目のため調査年度のみ掲載しており、実績の最新値はR3</p>						<p>・卸・小売の年間販売額について、コロナ禍におけるインターネットショッピングの定着や行動制限による外出機会の減少などにより、令和3年実績を平成28年実績と比較すると7%程度落ち込んでいたが、令和6年の目標値の水準程度に留まっている状況にある。</p>				

実績値の推移						達成状況				
指標②	サービス業の事業所数	単位	事業所	目指す方向	↑	R3実績値	5,040	達成率	87.0%	
当初値 (H24)	4,639	R1目標値	4,900	R6目標値	5,100	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析				
<p>※経済センサスにより調査している項目のため調査年度のみ掲載しており、実績の最新値はR3</p>						<p>・経営支援策や消費喚起策等の経済対策事業を実施したことにより、コロナ禍や物価高騰による影響の中においても、サービス業の事業所数は目標値に向けて推移している。</p>				



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・盛岡商工会議所等との連携や盛岡市商店街連合会を通じた市内各商店街によるイベント開催等への補助により、商店街・個店の魅力向上を図った。
- ・「もりおかエネルギーサポート給付金」の支給などにより市内企業の事業継続を図るとともに、「プレミアム付き電子商品券」の発行、飲食店・宿泊業への支援など、重層的な支援を行うことで市内経済の活性化に寄与した。
- ・令和4年度にAIを活用した人流・交通分析システムを整備することにより、タウンマネジメント機能を強化し、中心市街地活性化につなげた。
- ・開設者と場内事業者が一体となり市場運営に取り組み、市民・県民への食料品の安定供給のため、市場を取り巻く環境の変化を適時的確に捉え、市場活性化ビジョンの取組を継続した。
- ・物流業界では、ドライバーの労働環境改善や効率化・集約化等により新たな拠点整備に向けた用地需要が高まっており、令和4年6月に整備手法や規模、整備地区を定めた盛岡南地区物流拠点整備基本計画を策定した。

(課題)

- ・エネルギー価格や物価の高騰が事業者の経営に大きな影響を与えており、中小企業者から事業継続、消費喚起、物価高騰などへの支援を求める声があることから、市内経済の活性化に向けた必要な支援策を講じていく必要がある。
- ・取扱量を確保し食料品を安定供給するため、市場機能を停滞させないことが必要であるが、中央卸売市場の施設設備の経年劣化による故障・不具合が頻発しており、維持管理コストが年々上昇しているほか、故障の対応については、場内業者の営業に支障が及ばないよう早急に対応する必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・「商業サービス業の振興」は、商業者の事業活動を活発にする様々な取組を進め、概ね目標値に近づいた。
- ・小施策1「魅力ある商店街の形成支援」では、本市の商店街は、主催イベントや、映画等の地域資源を切り口にしたイベントの開催により、活性化に意欲的に取り組んだが、「旧バスセンター閉鎖(H27)」、「中心市街地内大型店閉店(R1)」、「新型コロナウイルス感染症の拡大(R2~R4)」など、集客に影響する外的要因も発生したため、年間小売業販売額や歩行者数は減少傾向となった。現在は「新バスセンター開業(R4)」や「新大型店開店(R6)」のほか、「ニューヨーク・タイムズ紙効果(R5~)」も相まって、中心市街地の人流は回復傾向にあるが、販売額の回復までは至っていない。

引き続き、魅力ある商店街づくりに寄与するような施策を取り進め、商店街の賑わい拡大を図っていく必要がある。

- ・小施策2「ロジスティクス機能の充実」では、食糧消費量の減少、消費者ニーズの多様化、産地の生産量の減少などの影響により、中央卸売市場の年間取扱高は目標値に届かなかった。引き続き、市場活性化ビジョン2022に掲げる取組項目を確実に実施していきたい。
- ・小施策3「多様なサービス業の振興」では、コロナ禍による外出自粛の影響による需要の低下や、為替の変動に伴う燃料費・人件費等といった物価高騰への対応として、本市では、事業継続緊急支援金の支給といった経営支援策を講じることで、経営への影響の軽減に取り組んだところである。引き続き、盛岡の魅力構成する商業・サービス業の振興策を講じ、市内経済の回復につなげていく必要がある。

施策23 工業の振興

製造業等の活発な事業活動を展開させるため、大学や公的研究機関などとの連携を進めるとともに、企業の新技術や商品開発、海外展開を支援するほか、新事業創出や起業の支援、産業集積基盤の整備、ものづくり人材の育成など、工業の振興を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
			事業費	一般財源											
1	工業振興事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	258,032	213,569
2	I T産業振興事業	一般									○	→	→	72,980	34,724
3	新産業等用地整備事業	一般				●								73,713	73,713
4	新産業等用地整備事業	新産					○	→	→	→	→	→		2,406,896	968
5	地場・伝統産業振興事業	一般				○	→	→	→					125,585	82,154
6	産業支援事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	23,933	11,729
7	成長分野拠点形成支援事業	一般					○	→	→	→	→	→	→	96,966	61,459
8	産学官連携研究センター管理運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	194,027	32,202
9	新事業創出支援センター管理運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	82,203	10,725
10	産業支援センター管理運営事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	167,522	138,006
施策計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,094,961	658,281
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2,406,896

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	製造品出荷額等	単位		目指す方向		R6実績値	13,260	達成率	145.9%
		千円	万円	↑					
当初値 (H25)	10,171	R1目標値	10,511	R6目標値	12,288	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・令和元年の目標値の設定が低かったことから、新たに令和元年の実績値を基に目標値の再設定を行ったところだが、令和3年度はコロナ禍の影響により消費生産活動が減少した結果、出荷額も減少し目標値に届いていなかったが、直近ではようやくコロナ禍以前の状況に回復してきている。</p>			
※令和3年度から令和6年度目標値を変更しています。									



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・企業サポート専門員を配置し、年間100件以上の企業訪問を行うことにより、生産性向上をはじめ、資金繰り支援や事業承継等、多様化・複雑化する企業の経営課題の解決を支援した。
- ・「盛岡デー」等の物産展を継続的に開催することで、特産品のPRや来訪の動機付けにつながる取組となった。
- ・産学官連携研究開発や新事業創出、高度人材の育成等のヘルステック・クラスターの活動に対する支援により、ヘルステック関連企業の集積が進んだ。
- ・「起業家塾@もりおか」及び「起業家塾for Beginner@もりおか」を実施し、卒業生を起業に繋げる成果となった。
- ・AI・IoTプラットフォーム事業により、企業のIT人材が育成され、新たな企業間の技術連携が創出された。
- ・道明地区新産業等用地第一事業区に立地企業が5社進出した。

(課題)

- ・高等教育機関等の集積により理工系人材を多く輩出している一方で、新卒採用の受け皿となる企業が少なく、若者の市外流出に歯止めがかかっていない。
- ・企業において人材確保が近年の課題となっている。
- ・企業誘致のための工業用地が不足している。
- ・未来技術の社会実装による企業の成長モデルが少ない。

■まとめ～今後に向けて～

- ・「工業の振興」については、様々な取組を進めた結果、指標である製造品出荷額が目標に達しており、成果を上げたものと認められる。
- ・小施策1「地場産業の経営力の強化」では、企業訪問などの取組を通じ企業の状況把握を行ったほか、コロナ過以降、各企業が必要とするDX人材の育成など、企業ニーズに適合した研修を開催するなどにより、市内企業のDX化が進展したと認められる。引き続き取組を進めたい。
- ・小施策2「産学官連携と新事業の育成」では、「産学官連携研究センターの運営」に努め、岩手大学との連携強化を図った。しかし、大学側が進める基礎研究を活用して製品化する動きは低調に留まっているため、引き続き、大学側の研究内容が、企業ニーズとマッチングするよう、大学側との意見交換を深めていきたい。
- ・小施策3「企業集積と生産基盤の拡充促進」では、新たな設備投資に対して固定資産税補助を行うことで、道明地区新産業等用地第一事業区への企業の進出等が実現されたことから、同用地第

二事業区の公募や市内の企業の拠点増設に向けて、支援を継続していきたい。一方で、工業用地の不足が課題であることから、今後は、企業サポート専門員による企業訪問等を通じて、経営状況や用地のニーズの把握に努め、市内における工業用地の適地についても、調査・検討を進めていきたい。

- ・小施策4「創業・企業の支援」では、起業家に対し必要な情報を提供するために様々な研修メニューを用意したことで、本市新規創業者数が順調な伸長を見せている。引き続き、起業家への時宜をとらえた情報提供に努めたい。

施策24 観光の振興

盛岡に多くの人を訪れるようにするため、地域資源を活用した観光地域づくりと広域的な観光交流の促進に努め、積極的な情報発信により、国内外の旅行者やコンベンションの誘致を推進するとともに、祭り・イベントの充実や特産品などの物産の振興、おもてなしの心の醸成や受入態勢の整備など、観光の振興を図る。

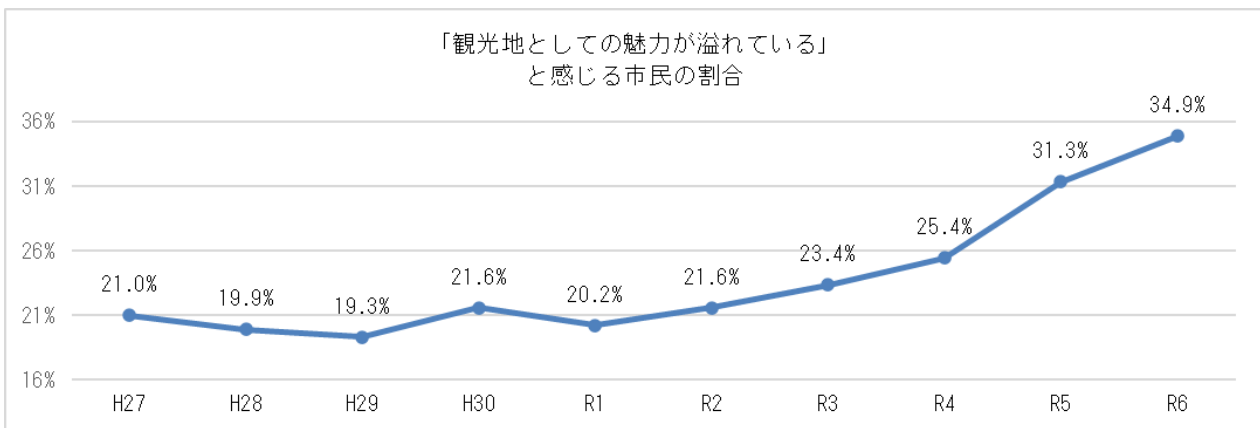
■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
			事業費	一般財源										
1	観光客誘致宣伝事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,525,061	506,433
2	祭り・イベント振興事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	528,301	477,177
3	物産振興事業	一般	→	→	●								15,459	15,459
4	M I C E 誘致推進事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	107,442	104,241
5	広域観光推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	142,327	139,318
6	道の駅設置事業	一般			○	→	→	→	→	→	→	→	2,271,993	147,579
施策 計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4,590,583	1,390,207
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況			
指標①	観光客入込数	単位	目指す方向			R6実績値	425	達成率	△81.0%
		万人回	↑						
当初値 (H25)	472	R1目標値	500	R6目標値	530	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<ul style="list-style-type: none"> 観光客入込数について、令和元年までは各種観光キャンペーン事業の展開などにより増加してきた。 令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に旅行者が激減し、本市においても同様の傾向となった。感染拡大の影響を受けた宿泊事業者の支援のため、令和2年度から4年度まで、「盛岡の宿応援事業」を実施し、観光客入込数の減少に歯止めをかけることができたものと考えられる。 令和5年1月に、ニューヨーク・タイムズ紙による「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が2番目に選定されたことや、新型コロナウイルス感染症の5類移行による人流回復により、本市への観光需要が高まり、観光客入込数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大前の数値までに回復しておらず、目標値に達していない。 			



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・盛岡の魅力の総合的なプロモーション活動や伝統行事・祭り、イベントの開催支援、盛岡の宿泊接割事業等を行うことで、観光基盤の維持が図られ、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ観光客入込数の回復につながった。
- ・「盛岡City wifi」の整備やデジタル観光マップなどの作成等を行い、外国人観光客の受入環境整備を図り、外国人宿泊観光客数の増加につなげた。
- ・一般国道4号渋民バイパス沿いに観光振興や地域拠点となる道の駅「もりおか渋民（たみっと）」の整備を進め、令和7年春の開業に向けた様々な取組や情報発信を行った。
- ・令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び積極的な誘客宣伝活動の実施により、観光客の増加に寄与した。

(課題)

- ・観光客入込数及び宿泊観光客数が新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻っていない。
- ・全国的な会議等の開催方法がオンライン併用など多様化してきており、開催支援件数が目標値に達していない。
- ・多言語による観光案内が少ない。

■まとめ～今後に向けて～

- ・「チャグチャグ馬コ」や「盛岡さんさ踊り」などの祭り・イベントの開催により、まちのにぎわいを創出するとともに、「街なかさんさ踊り」、「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」、冬季間のイルミネーションイベントの継続実施による通年型観光の推進により、誘客促進につなげることができた。
- ・令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び誘客宣伝活動を行い、観光客入込数の増加につなげることができたが、効果を持続発展させていくために、積極的なプロモーションや受入環境整備など、更なる事業展開を図っていく必要がある。
- ・高付加価値化の取組や観光DXの推進など、観光ニーズの多様化に向けた対応が求められており、第5期観光推進計画におけるアクションプランを計画的に推進していく必要がある。

施策25 雇用の創出

若い世代を中心とした市民の多様な働く場を確保するため、商工団体等との連携を図るとともに、積極的な企業誘致を展開するほか、創業支援などにより、多様な雇用の創出を図る。
また、勤労者が安心して働くことができるように、労働環境の向上を促進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

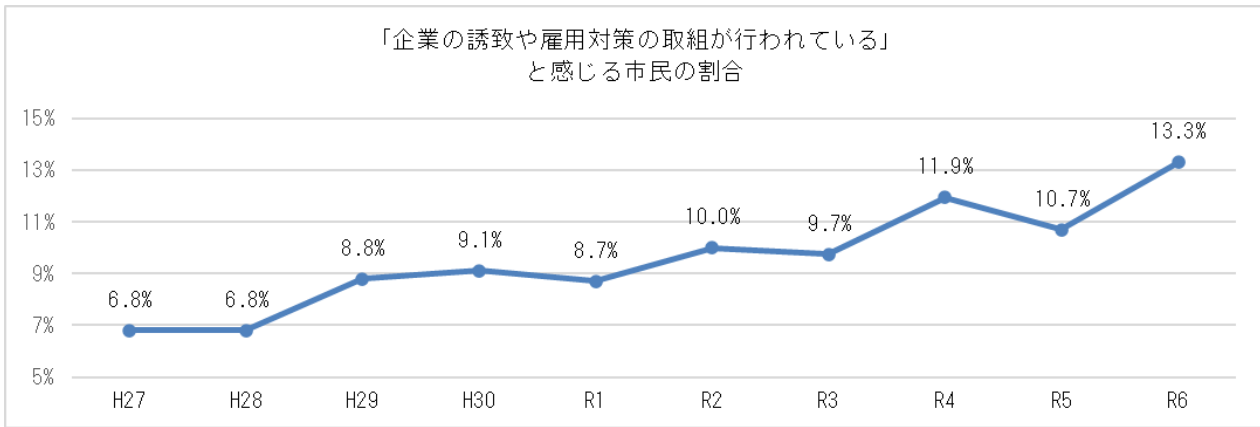
(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	盛岡広域企業誘致推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	591,499	519,099	
2	雇用対策推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	129,288	29,427	
3	勤労者対策事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	817,164	313,964	
施策計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,537,951	862,490	
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況					
指標①	盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率					単位	目指す方向	R6実績値	1.22	達成率	129.8%
						倍	→(+)				
当初値 (H25)	0.94	R1目標値	1.00	R6目標値	1.00	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度まで、好調な景気動向を背景に求人倍率は上昇傾向にあったが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動の縮小により、雇用吸収力の大きい飲食・宿泊サービスの求人が減少し、求人倍率の落ち込みがみられた。感染症の影響が緩和された令和4年度以降は回復しているものの、物価上昇・資材高騰の影響が懸念される状況から、感染症前のピーク時の水準には至っていない状況にある。 					

実績値の推移						達成状況					
指標②	盛岡公共職業安定所管内の就職率					単位	目指す方向	R6実績値	31.4	達成率	△117.6%
						%	↗				
当初値 (H25)	37.4	R1目標値	40.0	R6目標値	42.5	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析					
						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度まで、3割台後半の横ばいで推移していたものの、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企業求人数の減少のほか、就職活動を控える動きがあったため、新規求職申込件数が減少し、就職率も減少した。 令和4年度以降、感染症の影響緩和により、社会経済活動の正常化と併せて、求職活動も活発化することが見込まれたが、職業紹介件数は回復せず減少の状況が続いており、求職者が望む職種や条件と求人内容が一致しないいわゆる「雇用のミスマッチ」が生じていると考えられ、就職率の増加に至っていない。 					
※就職率＝就職件数÷新規求職申込件数											



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・市内への立地を希望する企業に対して道明地区新産業等用地など物件の紹介を行い、誘致につなげることができた。
- ・勤労者福祉サービスセンターが提供するサービスを通じて、単独で福利厚生事業を実施することが難しい中小企業の従業員の福利の向上に寄与した。
- ・就職面談会・企業研究イベント等の開催により、学生に企業情報を提供する機会を創出した。
- ・金融機関との連携により4種の勤労者融資制度を運用し、比較的低金利で資金融資を行うことで、勤労者の生活の安定に寄与した。

(課題)

- ・企業ニーズに対して産業用地が不足している。
- ・勤労者福祉サービスセンターの会員数が減少している。
- ・コロナ禍以降、新卒者の就職活動は売り手市場の状況が続いていることを背景に、地元企業と学生等の交流事業に参加する学生等の数が減少しており、交流事業の周知や地元企業の情報発信等の手法を工夫する必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・「雇用の創出」については、人材不足に伴う求人数の増加に対し、就職率の向上が課題となっていることから、関係機関と連携強化を進めていきたい。
- ・小施策のうち「企業の誘致」では、コロナ禍以降、各企業の地方移転傾向に応じた誘致活動の強化に取り組むも、誘致企業数が目標数に及ばなかった。企業誘致数の増加は、新卒者の地元定着にも貢献するため、令和7年度以降も大学・高校との連携強化により、学生の地元就労意識の向上を図るほか、IT産業やヘルステック産業を中心に、本市の産業基盤を牽引する魅力のある企業の誘致に取り組んでいきたい。
- ・「雇用対策の推進」では、盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率はコロナ禍の落ち込みから回復し、目標水準を超えて横ばいの状況となっているが、就職率は減少しており、求職者が希望する職種や条件と求人内容の不一致による「雇用のミスマッチ」が生じていると考えられることから、関係機関との連携によるマッチング支援の一層の充実を図りたい。
- ・「勤労者福祉の充実」では、既存事業者の廃業や事業縮小により、勤労者福祉サービスセンターの会員数の減少傾向が続いている。センターの活動は、中小企業の福利厚生の充実、ひいては従業員のワーク・ライフ・バランス向上に寄与するものであることから、引き続き、未会員事業者がセンターに関心を持っていただけるよう、センターの活動をPRする取組を進めていきたい。

施策26 都市基盤施設の維持・強化

快適な市民生活と活発な産業活動を支えるため、道路や橋りょう、公園、上下水道施設などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6		
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額		
														事業費	一般財源
1	建築指導事務	一般	→	→	→	→	→	●						36,467	30,710
2	耐震診断・改修促進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	98,987	24,970
3	道路橋りょう維持管理事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,451,567	6,769,618
4	橋りょう維持補修事業	一般	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,733,819	315,300
5	道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	10,122,280	9,106,280
6	道路除排雪事業（除雪車両等購入費）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	193,571	30,943
7	市道舗装新設改良事業（農政課）	一般	→	→	●									165,327	3,798
8	身近なくらしを支える道路整備	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	16,774,713	783,390
9	都市公園整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,439,207	216,161
10	旧盛岡競馬場跡地（自由広場ゾーン）整備事業	一般	→	→	→	●								1,229,062	263,062
11-1	盛岡市動物公園整備事業（ソフト）	一般					○	→	→	→	→	→	→	1,687,608	1,085,608
11-2	盛岡市動物公園整備事業（ハード）	一般								○	●			221,186	221,186
12	お城を中心としたまちづくり事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,082,813	137,220
13	公園等維持管理事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	2,094,967	1,693,191
14	花と緑のまちづくり事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	169,636	166,649
15	上水道安全対策事業	水道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,960,599	3,200,332
16	配水管整備事業	水道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	15,321,578	12,671,642
17	水道水源水質保全促進事業	水道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	36,948	36,948
18	浄配水場施設整備事業	水道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	6,415,474	6,048,429
19	鉛製給水管解消事業	水道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	98,736	66,078
20	公共下水道汚水施設整備事業	下水	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	9,122,008	507,278
21	流域下水道建設負担金事業	下水	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,281,427	9,427
22	公共下水道改築更新事業	下水	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4,795,881	628,947
23	浄化槽整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	169,752	77,815
24	浄化槽設置整備推進事業	浄化槽	●											14,232	15
25	公共下水道雨水施設整備事業	下水	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	6,939,058	486,425

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
26	太田地区整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	15,955,641	929,581
27	都南中央地区整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	5,431,483	893,508
28	道明・下飯岡地区整備事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	7,531,802	975,074
29	優良建築物等整備事業	一般	→	→	→	→	→	●					602,042	301,024
30	(仮称)新盛岡バスセンター整備事業	一般						○	→	→	→	→	1,247,082	211,841
31	市街地再開発事業	一般							○	→	→	→	3,346,965	120,218
施策計		一般											80,785,978	24,357,148
		一般以外											48,985,940	23,655,520

■まちづくり指標（成果指標）の状況

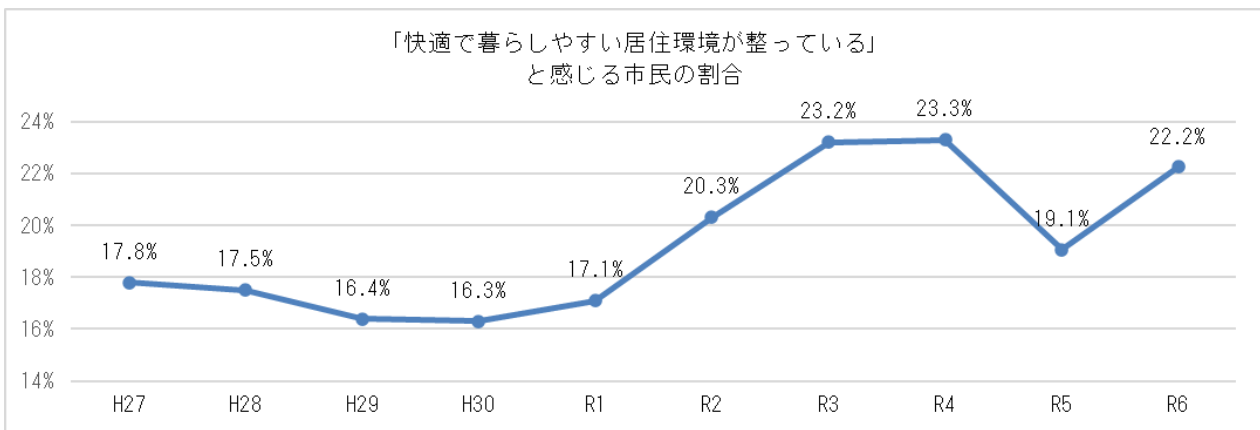
実績値の推移					達成状況			
指標①	市道改良率	単位	目指す方向		R6実績値	75.9	達成率	111.1%
		%	↗					
当初値 (H25)	73.9	R1目標値	74.8	R6目標値	75.7	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>※H28に新しく設定した指標</p>					<p>・市道の改良率は、毎年度の舗装新設実績の積み重ねにより、令和4年度時点で令和6年度の目標値を上回っており、事業は順調に推移していることから、引き続き、市道改良率の向上を図り、安全で快適な道路環境を整える。</p>			

実績値の推移					達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	74.3	達成率	1.7%
		%	↗					
当初値 (H25)	74.2	R1目標値	80.0	R6目標値	80.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
<p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p>					<p>・都市公園については、公園整備等により、整備目標としている「一人当たりの都市公園面積」12㎡/人以上(令和6年度末13.2㎡/人)に達している。一方で、街路樹については、近年、通行の安全等を確保するため、巨大化・老朽化した樹木や枯死木の伐採を行っていることが要因となり、市民アンケートの割合が減少傾向で推移しているものと考えられる。 ・植栽管理に関する苦情が年々増えており、市民から求められる維持管理の実施が難しくなっている状況も背景にあることから、公園や街路樹など、まちなかの緑の質の向上を図って行く必要がある。</p>			

実績値の推移						達成状況																																							
指標③	水道管路の耐震化率	単 位	目指す方向	R6実績値	33.6	達成率	91.2%																																						
		%	↗																																										
当初値 (H25)	23.3	R1目標値	29.6	R6目標値	34.6	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																																							
<table border="1"> <caption>水道管路の耐震化率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H25)</td><td>23.3</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>24.9</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>26.4</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>27.4</td><td>-</td></tr> <tr><td>R1</td><td>28.1</td><td>29.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>29.1</td><td>-</td></tr> <tr><td>R3</td><td>30.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>31.6</td><td>-</td></tr> <tr><td>R5</td><td>32.6</td><td>-</td></tr> <tr><td>R6</td><td>33.6</td><td>34.6</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	当初値 (H25)	23.3	-	H27	24.9	-	H28	25.5	-	H29	26.4	-	H30	27.4	-	R1	28.1	29.6	R2	29.1	-	R3	30.5	-	R4	31.6	-	R5	32.6	-	R6	33.6	34.6	<p>・水道管路の耐震化率は、計画的な更新工事により、年々上昇しているが、令和6年度の目標値に達しなかった要因として、平成27年度～令和元年度にかけて、発注した工事の不調や不落が続き、予定していた更新工事が実施できず、耐震化率の伸び悩みがあったことが影響している。令和2年度以降は、工事規模や発注時期を工夫したほか、債務負担行為や繰越制度を活用した発注を行い、更新工事を実施した結果、近年は約1%ずつ順調に上昇しており、目標値まで近似している。</p>			
年度	実績値	目標値																																											
当初値 (H25)	23.3	-																																											
H27	24.9	-																																											
H28	25.5	-																																											
H29	26.4	-																																											
H30	27.4	-																																											
R1	28.1	29.6																																											
R2	29.1	-																																											
R3	30.5	-																																											
R4	31.6	-																																											
R5	32.6	-																																											
R6	33.6	34.6																																											

実績値の推移						達成状況																																							
指標④	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	単 位	目指す方向	R6実績値	97.0	達成率	71.4%																																						
		%	↗																																										
当初値 (H25)	95.0	R1目標値	96.0	R6目標値	97.8	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																																							
<table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H25)</td><td>95.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>95.2</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>95.3</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>95.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>95.9</td><td>-</td></tr> <tr><td>R1</td><td>96.1</td><td>96.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>96.3</td><td>-</td></tr> <tr><td>R3</td><td>96.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>96.6</td><td>-</td></tr> <tr><td>R5</td><td>96.9</td><td>-</td></tr> <tr><td>R6</td><td>97.0</td><td>97.8</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	当初値 (H25)	95.0	-	H27	95.2	-	H28	95.3	-	H29	95.7	-	H30	95.9	-	R1	96.1	96.0	R2	96.3	-	R3	96.5	-	R4	96.6	-	R5	96.9	-	R6	97.0	97.8	<p>・公共下水道未整備地区における下水管渠の整備、土地区画整理等の他事業の進捗に合わせた下水管渠の整備や浄化槽設置整備事業の実施により、令和元年度までの汚水処理人口普及率は、目標値を達成できていたが、住宅密集地における下水管渠整備が概ね完了したことに伴って郊外部における下水管渠整備の割合が増加した結果、管渠整備延長に対する汚水処理人口普及率の増加度合いが低下したことにより、汚水処理人口普及率は、着実に上昇した一方で、目標値を下回る結果となっている。</p>			
年度	実績値	目標値																																											
当初値 (H25)	95.0	-																																											
H27	95.2	-																																											
H28	95.3	-																																											
H29	95.7	-																																											
H30	95.9	-																																											
R1	96.1	96.0																																											
R2	96.3	-																																											
R3	96.5	-																																											
R4	96.6	-																																											
R5	96.9	-																																											
R6	97.0	97.8																																											

実績値の推移						達成状況																																							
指標⑤	面的整備による生活環境整備率(整備済路線延長/整備計画路線延長)	単 位	目指す方向	R6実績値	93.7	達成率	95.1%																																						
		%	↗																																										
当初値 (H25)	29.0	R1目標値	63.0	R6目標値	97.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																																							
<table border="1"> <caption>面的整備による生活環境整備率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H25)</td><td>29.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>30.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>31.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>33.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>38.1</td><td>-</td></tr> <tr><td>R1</td><td>42.4</td><td>63.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>50.8</td><td>-</td></tr> <tr><td>R3</td><td>58.3</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>75.4</td><td>-</td></tr> <tr><td>R5</td><td>90.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>R6</td><td>93.7</td><td>97.0</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	当初値 (H25)	29.0	-	H27	30.5	-	H28	31.7	-	H29	33.7	-	H30	38.1	-	R1	42.4	63.0	R2	50.8	-	R3	58.3	-	R4	75.4	-	R5	90.5	-	R6	93.7	97.0	<p>・土地区画整理事業や生活環境整備事業のほか、民間開発(道明地区)による面的整備の進捗により、生活環境整備率が令和6年度までで93.7%に上昇し、目標値には未達となっているものの、基盤整備等は概成しており、生活環境の向上が図られている。</p>			
年度	実績値	目標値																																											
当初値 (H25)	29.0	-																																											
H27	30.5	-																																											
H28	31.7	-																																											
H29	33.7	-																																											
H30	38.1	-																																											
R1	42.4	63.0																																											
R2	50.8	-																																											
R3	58.3	-																																											
R4	75.4	-																																											
R5	90.5	-																																											
R6	93.7	97.0																																											



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・旧耐震木造住宅の耐震診断・耐震改修、危険ブロック塀撤去への補助事業の実施により建築物等の適正化が図られ、良好な住宅地が形成されている。
- ・市道改良率向上、除雪指定路線延長、橋りょう修繕工事促進等の取組により、安全で快適な道路環境が向上し、道路利用者の円滑な通行が着実に確保されてきている。
- ・盛岡市動物公園は、公民連携事業により、老朽施設の改修や動物展示の更新、新たなサービスの創出等を行い、動物公園としての魅力を高めている。
- ・水道の耐震管の採用による管路整備や老朽施設の計画的な更新により、災害に強い水道施設の構築が推進されている。
- ・公共下水道未整備地区への下水管渠の整備のほか、土地区画整理等の他事業の進捗に合わせた下水管渠の整備や浄化槽設置整備事業の実施により、汚水処理人口普及率が着実に上昇し、汚水処理の充実が図られている。
- ・土地区画整理事業や生活環境整備事業の実施により、生活環境整備率が向上し、宅地造成が進み、定住人口の増加が図られている。
- ・盛岡バスセンターの開業により、結節点として、中心市街地や河南地区のにぎわい創出、まちの活性化に寄与している。

(課題)

- ・市内には、倒壊の危険があるブロック塀が数多く存在していることを実態調査で確認している。
- ・木造住宅耐震改修は、工事費の増嵩や所有者の高齢化などにより、応募者数が減少している。
- ・都市公園の管理運営は、老朽化した公園施設の計画的な更新とともに、多様化するニーズへの対応や効率的で持続可能な維持管理の手法が必要となっている。
- ・街路樹の老木化や大径木化により、景観を損ねるとともに道路交通の安全をも脅かす状態となっている。
- ・水道事業の給水収益が減少傾向にある中で、財源確保を図りながら、浄水場や基幹管路などの重要施設を計画的に更新する必要がある。
- ・下水道創成期に整備された既存施設の老朽化が進行し、耐用年数を経過した施設の割合が増加している。
- ・土地区画整理事業や生活環境整備事業は、事業収束に向けて、計画的な工事完了や換地処分等を実施する必要がある。
- ・土地区画整理事業は、今後の換地処分や清算金等の事務処理を進め、速やかに事業を完了し、地権者の土地活用を推進する必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・安全で快適な市民生活と活発な産業活動を支える都市基盤施設である道路や橋りょう、公園、上下水道施設は、それぞれの整備事業のほか、土地区画整理事業や生活環境整備事業の進捗により、着実に整備が進んでいる。また、各都市基盤施設の老朽化に対しても、維持管理計画や長寿命化計画により、計画的な維持更新が進められている。一方で、これらの事業を進める持続的な財源確保が課題となっており、より効果的で効率的な整備や維持管理の手法のほか、民間活力を活用した取組を検討する必要がある。
- ・近年は、自然災害が激甚化・頻発化しており、特にも地震への対策として、橋梁や上下水道施設などの基礎的インフラの耐震化を促進するとともに、一般住宅についても倒壊の危機を回避するため、旧耐震木造住宅の耐震診断や耐震改修工事に関する市民への周知や啓発を進め、防災まちづくりの強化を図る必要がある。

施策27 交通環境の構築

幹線道路の整備や公共交通機関の利便性の向上を図るほか、自転車走行環境や歩行環境の整備などに取り組みることにより、総合的な交通体系を確立するとともに、マイカー利用の抑制と公共交通や自転車利用の促進を図り、環境にやさしく快適な交通環境を構築する。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
			事業費	一般財源										
1-1	公共交通利用促進対策事業（整備関連）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	1,397,981	533,713
1-2	公共交通利用促進対策事業（ハード以外）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	734,078	583,235
2-1	自転車の安全と利用促進に関する事業（整備関係）	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	105,999	3,309
2-2	自転車の安全と利用促進に関する事業（ソフト事業）	一般		○	→	→	→	→	→	→	→	→	255	255
3	都市の骨格を形成する街路事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	3,369,412	224,945
施策計		一般											5,607,725	1,345,457
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

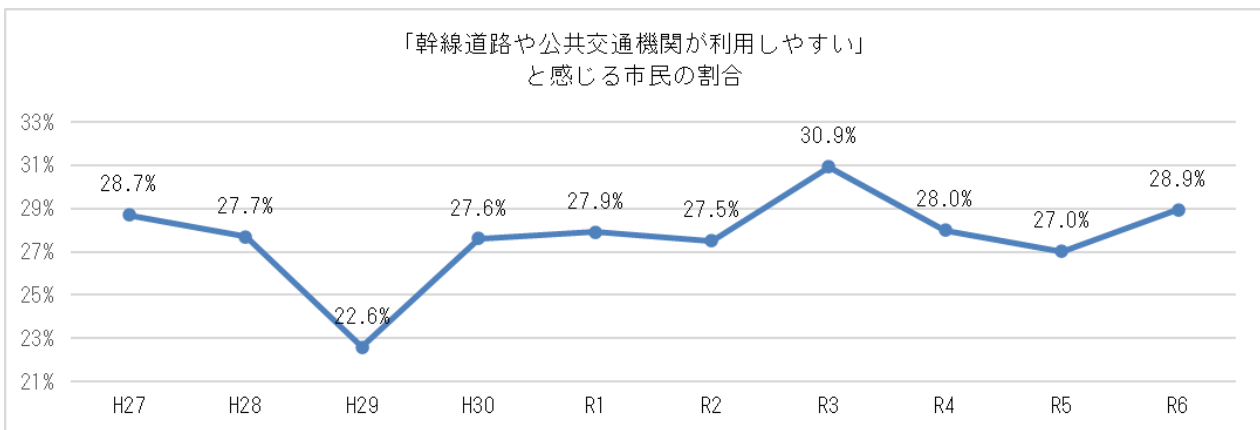
実績値の推移					達成状況			
指標①	平日の主要幹線道路の混雑度	単位	目指す方向		R6実績値	0.92	達成率	172.7%
		割合	↘					
当初値 (H25)	1.11	R1目標値	1.09	R6目標値	1.00	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<p>・平日の主要幹線道路の混雑度は、全体的に減少傾向となっており、平成30年度以降は、令和6年度目標値を下回る状況が続いている。要因としては、幹線道路の整備が着実に進んでいることや、コロナ禍における働き方改革によるテレワークの普及促進等の影響により、自動車交通量が減少したことが考えられる。</p>			

実績値の推移					達成状況			
指標②	交通の手段分担率の変化(自動車)	単位	目指す方向		R6実績値	66.8	達成率	△119.0%
		%	↘					
当初値 (H25)	59.3	R1目標値	56.0	R6目標値	53.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析		
					<p>・通勤時における自動車の交通手段分担率は、平成26年度以降、増加傾向を示しており、令和2年度以降の近年は、横這い傾向で推移し、令和6年度目標値を達成できていない状況となっている。増加傾向から横ばい傾向に転じた要因としては、公共交通の利用促進の取組や自転車施策の推進の一定の効果により、自家用車利用からバスや鉄道、自転車への転換が図られたものと推察できる。今後の取組としては、通勤者の「マイカーから公共交通や自転車への転換」を促す意識啓発への取組だけでは限度があることから、公共交通や自転車の利用環境を向上させる施策を進めるなど、更なる施策の推進が必要である。</p>			

実績値の推移						達成状況			
指標③	交通の手段分担率の変化(バス、鉄道)	単位	目指す方向	R6実績値	13.6	達成率	△25.6%		
		%	↗						
当初値 (H25)	14.7	R1目標値	17.0	R6目標値	19.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・通勤時におけるバスや鉄道の交通手段分担率は、令和3年度以降は増加傾向に転じている。コロナ禍の影響により、バスや鉄道の利用時の密を避けるため自家用車を利用していた通勤者が、バスや鉄道の利用に回帰していることが要因の一つと考えられる。今後も公共交通への転換を促すモビリティ・マネジメントなどの利用促進策を推進する必要がある。</p>			

実績値の推移						達成状況			
指標④	交通の手段分担率の変化(徒歩、自転車など)	単位	目指す方向	R6実績値	19.6	達成率	△320.0%		
		%	↗						
当初値 (H25)	26.0	R1目標値	27.0	R6目標値	28.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・通勤時における徒歩や自転車などの交通手段分担率は、令和元年度までは減少傾向が続き、令和元年度には平成26年度以降の最低値の17.6%まで減少したが、令和2年度には増加に転じ、それ以降は20%前後で推移している。要因としては、自転車通勤者の利用環境を向上させる自転車走行空間整備の効果が現れているものと考えられる。</p>			

実績値の推移						達成状況			
指標⑤	1日当たりのバス・鉄道利用者数	単位	目指す方向	R5実績値	59,231	達成率	△482.6%		
		人	↗						
当初値 (H25)	71,962	R1目標値	74,400	R6目標値	74,600	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
						<p>・1日当たりのバス・鉄道利用者数は、平成30年度までは目標値を超えていたが、令和元年度以降は目標値を下回り、特にコロナ禍の影響が本格化した令和2年度以降は大幅に減少している。令和4年度以降は、回復傾向にあるものの人口減少に加えて、運転手不足によるバスの減便などもあり、コロナ禍前までの水準には達しておらず、公共交通事業者の経営は厳しい状況にある。</p>			
※実績の最新値はR5									



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・総合交通計画や地域公共交通網形成計画、もりおか交通戦略の各種施策の取組により、まちづくり評価アンケート調査（小施策の成果指標）の「快適に移動できる」と答えた市民の割合が増加傾向にある。
- ・自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の整備を実施していることにより、ネットワークが形成された区間では自転車が逆走する違反が少なくなっており、まちづくり評価アンケート調査（小施策の成果指標）で「自転車で快適に移動できる」と答えた割合が増加傾向にある。

(課題)

- ・コロナ禍による公共交通利用者の減少や運転士不足に伴う路線バスの減便や廃止などの影響により、公共交通不便地域が拡大している。
- ・地域公共交通網形成計画に位置付けた「公共交通空白地区を解消する移動手段の確保・導入」事業や、盛岡都市圏地域公共交通計画（令和7年9月策定）に基づく実施施策の計画的な推進のため、持続的な財源を確保し、着実に実施する必要がある。

■まとめ～今後に向けて～

- ・平日の主要幹線道路の混雑度は、減少傾向にあり、幹線道路の事業進捗によって、着実に段階的な道路ネットワークの形成が図られ、交通渋滞の緩和が進んでいる。一方、計画的な事業の進捗を図るための財源確保が課題となっており、早期に効果が発揮できる将来道路網計画を段階的に実現するため、より効果的で効率的な整備を継続して進める必要がある。
- ・バスや鉄道利用者数が令和3年度から徐々に回復していることから、今後も継続して公共交通利用者の増加による公共交通機関の維持存続を図るとともに、コロナ禍後の利用促進策を更に検討する必要がある。また、徒歩や自転車などの交通手段分担率は横ばいであることから、今後とも利用増加を図る施策を継続する必要がある。
- ・公共交通の利用促進や利便性向上のため、地域公共交通網形成計画に位置付けた施策の取組のほか、盛岡都市圏地域公共交通計画の策定を進め、持続可能で効果的な公共交通ネットワークの構築を目指す実施施策に取り組む必要がある。

施策28 国際化の推進

産業や教育、文化、スポーツなど幅広い分野において、諸外国との交流を促進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境の整備を進める。

また、企業の国際競争力向上への支援や国際的に活躍できる人材の育成など、国際化の推進を図る。

■主要事業の実施年度及び投資額（H27-R6）

（単位：千円）

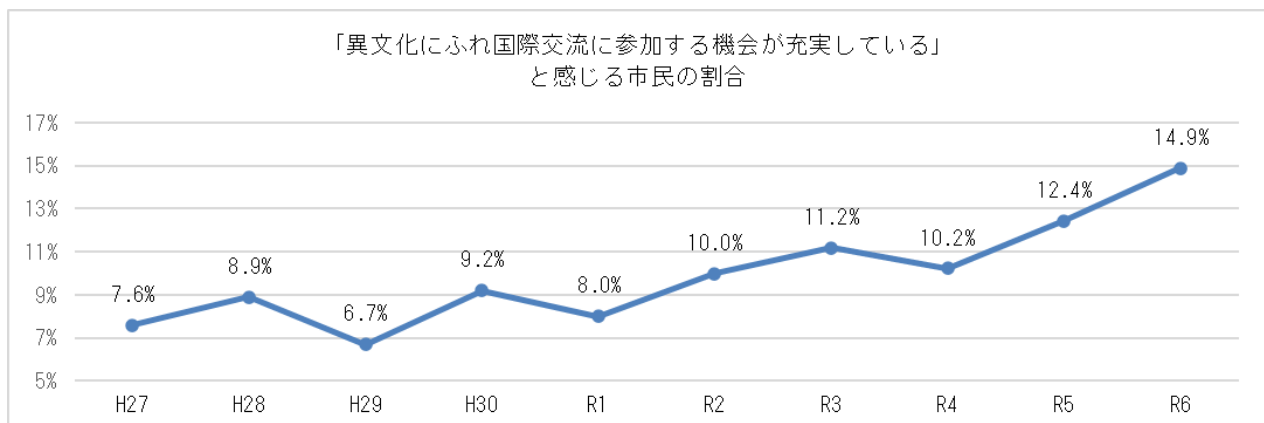
No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	姉妹都市等国際交流事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	214,308	89,078	
2	国際交流関係事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	12,378	12,378	
施策計		一般	/	/	/	/	/	/	/	/	/	226,686	101,456	
		一般以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移					達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「この一年間に国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	単位	目指す方向		R6実績値	3.0	達成率	16.7%
		%	↗					
当初値 (H25)	2.6	R1目標値	3.8	R6目標値	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析			
					<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度を除き、毎年微増を続けてきたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国際交流活動が停滞したことから減少した。 ・令和4年度以降は、「ウィズ・コロナ」として各種事業等を工夫して開催することで持ち直し、令和6年度実績は平成25年度当初値と比較すると0.4ポイント上昇した。 			

■施策に対する市民の実感

H27-R6増減率：195.8%



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・(公財)盛岡国際交流協会と連携し、各種講座・イベントを実施することで、市民の国際交流への理解と関心を深めた。
- ・中学生によるビクトリア市での学校体験やホームステイ体験を通じ、姉妹都市交流への理解の醸成及び国際交流の次代を担う人材育成を行った。
- ・アールラム大学からの短期留学生の受入れを行い、英語のコミュニケーション能力向上及び文化や生活習慣の違いについての理解を深めた。
- ・まちづくり評価アンケート調査「国際リニアコライダーをよく知っている」と答えた市民の割合が増加した。

(課題)

- ・交流事業について、各分野における国際交流が十分に進んでいない。
- ・異文化や多文化共生に対する理解が十分に進んでいない。
- ・インディアナ州交流派遣事業が令和2年度をもって事業廃止となったこと、それに代わる国際交流事業がないこと。

■まとめ～今後に向けて～

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による制限下において、民間団体も含め事業・講座が十分には実施できなかったことも影響し、指標値は減少したが、盛岡国際交流協会と連携し、オンラインの活用など工夫しながら事業・講座を開催し、機会の損失を最小限に食い止めることができた。新型コロナウイルス感染症の影響がまだ色濃かった令和4年度から持ち直して以降は増加傾向となり、令和6年度実績は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻ったことから、引き続き取組を進め、これまで以上に幅広い分野において交流を促進する必要がある。
- ・国際リニアコライダー誘致等を見据え、ILCの建設・運用時に研究や産業振興等の中心世代となる、高校生、専門学校生、大学生を対象に、科学技術の促進やグローバル化社会について理解を深めるとともに、自らのキャリア形成を考える機会としてグローバル化・科学技術推進講座を開催した。
- ・国際リニアコライダーの関係団体と連携し、情報発信や国への働きかけを行った。
- ・国際リニアコライダーの講座の実施や関係団体による情報発信は活発にされているが、市民生活への直接的な影響について関心が低く、認知度の劇的な向上に至っていない。

施策29 都市間交流の促進

にぎわいのあるまちを創出するとともに、市民生活の質を高めるため、市民とさまざまな都市や地域の人々との交流を促進する。

■主要事業の実施年度及び投資額 (H27-R6)

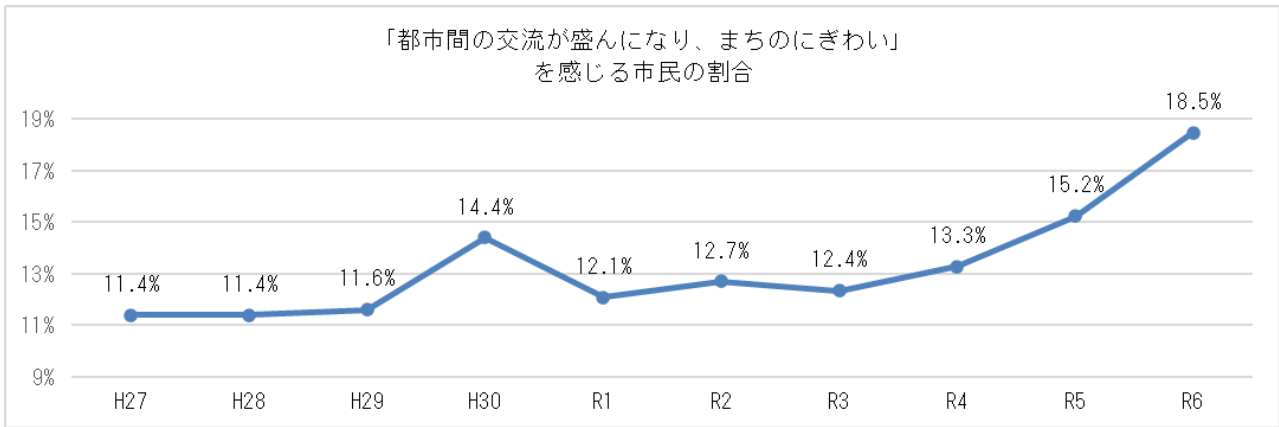
(単位：千円)

No.	事務事業	会計	実施年度										H27-R6	
			27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	投資額	
													事業費	一般財源
1	都市間交流事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	28,353	20,531
2	広域連携推進事業	一般	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	6,258	4,158
施策計		一般											34,611	24,689
		一般以外												0

■まちづくり指標（成果指標）の状況

実績値の推移						達成状況																																						
指標①	都市間交流を促進するための協定等の締結数					単位	目指す方向	R6実績値	5	達成率	100%																																	
	当初値 (H25)	4	R1目標値	4	R6目標値							5																																
当初値 (H25) 4 R1目標値 4 R6目標値 5						平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																																						
<p>実績値の推移 (指標①)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> </table>						年度	H25	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	目標値					4					5	<ul style="list-style-type: none"> ・石川啄木ゆかりの地であり「啄木かるた大会」などを通じ交流を続けてきた函館市教育委員会と令和元年度に「友好交流に関する覚書」を結び、協定等の締結は次の3市、2団体となった。 <ol style="list-style-type: none"> ①沖縄県うるま市との友好都市提携 ②東京都文京区との友好都市提携 ③北海道函館市教育委員会との「友好交流に関する覚書」 ④秋田岩手地域連携軸推進協議会(8市町で構成) ⑤令和・南部藩(10市町で構成) ・都市間での協定等については、相手方との共通する歴史的背景や、さまざまな分野における市民や民間団体等が主体となって継続する交流の積み重ねにより機運が生まれ締結に至るものであり、その成果として、平成31年に文京区と友好都市提携を締結している。 					
年度	H25	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																		
実績値	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5																																		
目標値					4					5																																		

実績値の推移						達成状況																																						
指標②	みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数					単位	目指す方向	R6実績値	60	達成率	76.5%																																	
	当初値 (H27)	47	R1目標値	47	R6目標値							64																																
当初値 (H27) 47 R1目標値 47 R6目標値 64						平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析																																						
<p>実績値の推移 (指標②)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>47</td><td>47</td><td>51</td><td>53</td><td>55</td><td>59</td><td>59</td><td>59</td><td>59</td><td>60</td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>47</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>64</td></tr> </table>						年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	47	47	51	53	55	59	59	59	59	60	目標値					47					64	<ul style="list-style-type: none"> ・事務検討会議や専門部会等を通じ、随時、新規事業の実施に向けた協議を行ってきたが、各市町の状況等の違いから事業化に至ったものが少なく、目標数を下回ったもの。 ・目標値に届かなかったものの、広域圏の一体的な発展に向け、各市町間での協議や既に実施中の事業を継続することで、連携が深化され、圏域の住民が連携による効果を実感できる取組が増加した。 					
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																		
実績値	47	47	51	53	55	59	59	59	59	60																																		
目標値					47					64																																		
※H28に「にぎわいや産業振興につながる自治体連携の取組数」から変更している																																												



■10年間の成果、課題

(成果)

- ・平成31年2月20日、これまでの交流を踏まえ、東京都文京区と友好都市を提携した。
- ・友好都市との交流において、沖縄県うるま市とは「いわて・盛岡デー・イン・沖縄」や「ちゅらしま大沖縄展」を実施し、本市の「盛岡さんさ踊り」やうるま市の「エイサー」など双方が有する伝統文化を通じた交流を行い、東京都文京区とは「文の京講座」や「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」を実施したほか文京区長等を「盛岡さんさ踊り」へ招待するなど、お互いの魅力や強みを生かした都市間交流によって相互理解が促進された。
- ・うるま市とは、令和4年度に友好都市提携10周年を迎え、友好都市提携記念碑を建立するなど今後の交流促進を確認するとともに、記念碑を目にした市民の意識が醸成された。
- ・平成27年に連携中枢都市宣言を行い、平成28年に各市町と連携協約を締結し、連携中枢都市圏を形成した。
- ・平成28年3月に第1期となるみちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン（平成28年度～令和2年度）を策定した。
- ・第1期の期間中には、盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業、配偶者暴力相談支援センター広域連携事業、盛岡広域成年後見センター設置運営事業、電子入札等基盤整備事業などの実施により住民の安心感や快適性の向上が図られた。
- ・令和2年度に、第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン（令和3年度～令和7年度）を策定した。
- ・うるま市と文京区が友好都市協定を締結したことにより、今後は3都市間の相互協力による連携事業を検討することとした。

(課題)

- ・市民レベルでの都市間交流が十分に進んでいない。
- ・盛岡広域圏の人口減少・少子高齢化が加速していることから、圏域を持続させていく視点に立った取組の検討が必要である。

■まとめ～今後に向けて～

- ・指標①「都市間交流を促進するための協定等の締結数」については、目標値は達成することができた。一方で、締結した都市と良好な関係性を維持するには、相互の往来などを含めた積極的な交流を図っていく必要があるが、その財源の確保・捻出が新たな課題となってくることから、都市間交流の成果をどのように示していくか検討する必要がある。

- ・指標②「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数」については、目標値に届かなかったものの、広域圏の一体的な発展に向け、各市町間での協議や既の実施中の事業を継続することで、連携が深化され、圏域の住民が連携による効果を実感できる取組が増加した。

2 戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、基本目標を達成するため、各分野の29の施策において、それぞれの取組を推進していく一方で、特に重点的・施策横断的に取り組む必要がある課題に対応するため、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえ、重点的・施策横断的に取組を進めてきたものです。

施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除も行いながら、弾力的で効果的な運用を展開してきました。

ここでは、戦略プロジェクトの取組の変遷と取り組んできた結果の概要等について掲載しています。

1 戦略プロジェクトの変遷

年度	プロジェクト名		
H27	(1) いわて国体おもてなし プロジェクト	(2) 子育て応援プロジェクト	(3) きらり盛岡おでんせ プロジェクト
H28			
H29	(4) 「食と農」・「ものづく り」応援プロジェクト	(5) みんなが支える子ども・ 子育て安心プロジェクト	(6) 2020 あつまる・つながる まちプロジェクト
H30			
H31 R 1			
R 2	(7) 未来のもりおかを創る若 者・しごと応援プロジェ クト R2-R3	(5) みんなが支える子ども・ 子育て安心プロジェクト	(6) 2020 あつまる・つながる まちプロジェクト
R 3			
R 4	(8) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト R4-R6	(5) みんなが支える子ども・ 子育て安心プロジェクト	(9) 回復から成長へ！ まち なか交流・にぎわいプロ ジェクト
R 5			
R 6			

2 取組の概要と成果

資料の見方

プロジェクト名と概要について掲載しています。

(2) 子育て応援プロジェクト

■概要

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現する。

取組期間、投資実績額（～R6 のプロジェクトには R7 への繰越額を含む）、実施事業について掲載しています。

■取組期間：平成27～29年度

■投資実績額：8,689百万円

■実施事業

医療費給付事業、子育て応援プラザ運営事業、特別保育事業、子ども・子育て支援事業計画推進事業、子どものための教育・保育給付事業、子ども未来基金事業、子ども未来基金造成事業、子育て世代包括支援センター事業、私立児童福祉施設整備助成事業、私立児童福祉施設等運営事業、児童館管理運営事業小児救急輪番利病院事業、待機児童解消強化事業、地域児童クラブ等運営事業、乳児家庭全戸訪問等事業、認定こども園等運営費給付事業、保育士確保対策事業、保育士等処遇改善臨時特例事業、夜間急患診療所管理運営事業、予防接種事業、ワーク・ライフ・バランス推進事業、雇用対策推進事業



放課後児童クラブの様子



子育て世代包括支援センターの開設

プロジェクト毎に設定した成果指標の状況を掲載しています。

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移												
待機児童数 ※当初値はH25	人	人	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>54</td><td>9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	54	9	0	0	0
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	54	9	0	0	0										
まちづくり評価アンケート調査「子育てをづらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 ※当初値はH25	%	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>19.2</td><td>19.3</td><td>22.0</td><td>24.0</td><td>30.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	19.2	19.3	22.0	24.0	30.0
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	19.2	19.3	22.0	24.0	30.0										
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 ※当初値はH25	%	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>17.0</td><td>15.5</td><td>13.3</td><td>15.2</td><td>15.9</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	17.0	15.5	13.3	15.2	15.9
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	17.0	15.5	13.3	15.2	15.9										

取組の内容と成果について掲載しています。

■主な取組と成果

・待機児童解消への取組

3か年の取組の中で、認可保育所や3歳未満児を対象とする小規模保育所などの地域型保育事業の新規開設等を積極的に推進し、694人の保育所定員を拡大し、平成28～30年の4月1日時点の待機児童数は0人となり、目標を達成した。

(1) いわて国体おもてなしプロジェクト

■概要

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」に来盛する方々を「おもてなしの心」で温かく迎え、盛岡の魅力を全国に発信するとともに、全ての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進する。

また、ボランティアや市民協働による組織等が一体となって「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を成功へと導く。

■取組期間：平成 27～28 年度

■投資実績額：3,781 百万円



希望郷いわて国体の様子

盛岡市アイスリンクの新設

■実施事業

市民運動総括事業、国民体育大会開催事業、国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業、生涯スポーツ推進事業、盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業、盛岡の食材プロモーション事業、身近な暮らしを支える道路事業、都市公園整備事業、公共交通利用促進対策事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
ボランティア登録者数 ※当初値はH26	↑	人	<table border="1"> <tr><th>年次</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>値</th><td>148</td><td>2,016</td><td>2,096</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>H29目標値: 2,000</td></tr> </table>	年次	当初値	H27	H28	値	148	2,016	2,096	目標値	-	-	H29目標値: 2,000			
年次	当初値	H27	H28															
値	148	2,016	2,096															
目標値	-	-	H29目標値: 2,000															
まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合 ※当初値はH25	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年次</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>31.1</td><td>28.8</td><td>28.9</td><td>27.3</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>H29目標値: 47.0</td></tr> </table>	年次	当初値	H26	H27	H28	割合	31.1	28.8	28.9	27.3	目標値	-	-	-	H29目標値: 47.0
年次	当初値	H26	H27	H28														
割合	31.1	28.8	28.9	27.3														
目標値	-	-	-	H29目標値: 47.0														
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 ※当初値はH25	↓	位	<table border="1"> <tr><th>年次</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>順位</th><td>74</td><td>58</td><td>63</td><td>117</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>H29目標値: 53</td></tr> </table>	年次	当初値	H26	H27	H28	順位	74	58	63	117	目標値	-	-	-	H29目標値: 53
年次	当初値	H26	H27	H28														
順位	74	58	63	117														
目標値	-	-	-	H29目標値: 53														

■主な取組と成果

・大会の成功

市民一丸となって、全国から本市を訪れる方々を心のこもったおもてなしでお迎えすることができ、両大会は大成功に終わった。

・スポーツ環境等の整備

両大会開催を契機に、通年型スケートリンクである「みちのくコカ・コーラボトリングリンク」が新設されたことで冬季大会が円滑に実施されたほか、同様に「太田テニスコート」「盛岡タカヤアリーナ」の整備が推進され、本市のスポーツ環境の充実が図られた。

(2) 子育て応援プロジェクト

■概要

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現する。

■取組期間：平成 27～29 年度

■投資実績額：8,689 百万円



放課後児童クラブの様子



子育て世代包括支援センターの開設

■実施事業

医療費給付事業、子育て応援プラザ運営事業、特別保育事業、子ども・子育て支援事業計画推進事業、子どものための教育・保育給付事業、子ども未来基金事業、子ども未来基金造成事業、子育て世代包括支援センター事業、私立児童福祉施設整備助成事業、私立児童福祉施設等運営事業、児童館管理運営事業、小児救急輪番制病院事業、待機児童解消強化事業、地域児童クラブ等運営事業、乳児家庭全戸訪問等事業、認定こども園等運営費給付事業、保育士確保対策事業、保育士等処遇改善臨時特例事業、夜間急患診療所管理運営事業、予防接種事業、ワーク・ライフ・バランス推進事業、雇用対策推進事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移												
待機児童数 ※当初値はH25	↓	人	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>54</td><td>9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	54	9	0	0	0
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	54	9	0	0	0										
まちづくり評価アンケート調査「子育てをづらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 ※当初値はH25	↓	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>19.2</td><td>19.3</td><td>22.0</td><td>24.0</td><td>30.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	19.2	19.3	22.0	24.0	30.0
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	19.2	19.3	22.0	24.0	30.0										
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 ※当初値はH25	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>17.0</td><td>15.5</td><td>13.3</td><td>15.2</td><td>15.9</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	17.0	15.5	13.3	15.2	15.9
年度	当初値	H26	H27	H28	H29										
値	17.0	15.5	13.3	15.2	15.9										

■主な取組と成果

・待機児童解消への取組

3か年の取組の中で、認可保育所や3歳未満児を対象とする小規模保育所などの地域型保育事業の新規開設等を積極的に推進し、694人の保育所定員を拡大し、平成28～30年の4月1日時点の待機児童数は0人となり、目標を達成した。

・育児不安解消への取組

平成 28 年 4 月には、保健師・助産師・社会福祉士を配置した「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠・出産・育児期における切れ目ない支援体制を整備するとともに、平成 29 年 4 月には、社会全体で子育てを支える拠点として「子育て応援プラザ」を開設し、子育て中の親が集える場や子育てを支える市民、団体等が活動、交流できる場づくりを推進した。

また、乳児家庭全戸訪問 100%実施を目標に取り組み、医療費給付を小学生（通院）まで拡充するなど、育児不安の解消や子育ての経済的負担軽減の一助とした。

(3) きらり盛岡おでんせプロジェクト

■概要

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進する。

また、北陸、北海道新幹線の開業をチャンスと捉え、盛岡のきらり光る魅力を発信し、更なる交流人口の増加と盛岡ファンづくりを推進する。

■取組期間：平成 27～29 年度

■投資実績額：155 百万円



盛岡デーの様子（平成 27 年度）

■実施事業

盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業、盛岡の川賑わい創出事業、盛岡ブランド確立事業、公園等維持管理総務事務、盛岡三大麺普及事業、MICE（マイス）誘致推進事業、外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業、玉山地域賑わい創出事業、地域おこし協力隊活用事業、祭り・イベント振興事業、盛岡デー等観光PR事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
観光客入込数 ※当初値はH26	↑	万人回	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>値</th><td>472</td><td>497</td><td>509</td><td>500</td><td>500</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>490</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	値	472	497	509	500	500	目標値	-	-	-	-	490
年度	当初値	H26	H27	H28	H29																
値	472	497	509	500	500																
目標値	-	-	-	-	490																
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合 ※当初値はH26	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>割合</th><td>78.0</td><td>68.7</td><td>77.7</td><td>78.5</td><td>76.9</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>79.4</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	割合	78.0	68.7	77.7	78.5	76.9	目標値	-	-	-	-	79.4
年度	当初値	H26	H27	H28	H29																
割合	78.0	68.7	77.7	78.5	76.9																
目標値	-	-	-	-	79.4																
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 ※当初値はH26	↑	位	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>順位</th><td>58</td><td>63</td><td>117</td><td>62</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>53</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	順位	58	63	117	62	目標値	-	-	-	53			
年度	当初値	H27	H28	H29																	
順位	58	63	117	62																	
目標値	-	-	-	53																	

■主な取組と成果

・ホストタウン事業の推進

カナダを相手国とする2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの第3次登録が決定し、事前キャンプ誘致活動やラグビーワールドカップ2019™ 日本大会の公認チームキャンプ地選定に向けた申請を行ったほか、県や広域市町等の関係機関・団体と連携しながら国際大会やスポーツ合宿の誘致を図るなど、本市及び盛岡広域の優位性を国内外にアピールした。

その結果として、水球とラグビーのナショナルチームの合宿受け入れやスポーツライミング第1回コンバインドジャパンカップ2018を開催したほか、テニス男子国別対抗戦「デビスカップ」を開催できた。

- ・観光客誘致等の取組

首都圏等で開催する「盛岡デー」や物産と観光展等の観光PR事業をはじめ、台湾やタイを対象国とする海外プロモーション、国内外に向けた積極的な情報発信の継続した取組、「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」で全国各地から来盛した方々への本市の魅力の発信により、年間観光客入込数は目標値の490万人回を上回る実績で推移したほか、平成27年度に創設したMICE（マイス）開催助成制度は、3年間で国際大会11件を含む58件に助成し、交流人口の増加と地域経済の振興に寄与した。

(4) 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

■概要

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化やビジネス環境整備の取組により産業の振興を図る。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進する。

■取組期間：平成 29～31 年度

■投資実績額：730 百万円



盛岡産農畜産物の魅力を打ち出すコンセプト「美食王国もりおか」のロゴ

■実施事業

食と農の連携推進事業、新規就農・経営継承総合支援事業、食と農のバリューアップ推進事業、新規就農支援事業、盛岡の食材プロモーション事業、畜産振興事業、まちなかマッチング事業、まちなか出店促進事業、工業振興事業、工場新設拡充等事業、産業支援事業、地場・伝統産業振興事業、商店街活性化支援事業、新産業等用地整備事業、製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金、成長分野拠点形成支援事業、地域おこし協力隊活用事業、ものづくり産業魅力向上事業、ものづくり人材育成事業、盛岡テクノミュージアム設置事業、道の駅設置事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
農畜産物加工品販売額 ※当初値はH27	↑	百万円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>18</td><td>22</td><td>21</td><td>39</td><td>47</td></tr> <tr><th>R1目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>27</td></tr> </table>	年度	当初値	H28	H29	H30	R1	実績値	18	22	21	39	47	R1目標値	-	-	-	-	27
年度	当初値	H28	H29	H30	R1																
実績値	18	22	21	39	47																
R1目標値	-	-	-	-	27																
製造業粗付加価値額 ※当初値はH27	↑	千万円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>4,209</td><td>5,583</td><td>4,716</td><td>4,485</td><td>4,766</td></tr> <tr><th>R1目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>4,377</td></tr> </table>	年度	当初値	H28	H29	H30	R1	実績値	4,209	5,583	4,716	4,485	4,766	R1目標値	-	-	-	-	4,377
年度	当初値	H28	H29	H30	R1																
実績値	4,209	5,583	4,716	4,485	4,766																
R1目標値	-	-	-	-	4,377																
異業種交流における商談成立件数 ※当初値はH27	↑	件	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>27</td><td>43</td><td>76</td><td>110</td><td>120</td></tr> <tr><th>R1目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>110</td></tr> </table>	年度	当初値	H28	H29	H30	R1	実績値	27	43	76	110	120	R1目標値	-	-	-	-	110
年度	当初値	H28	H29	H30	R1																
実績値	27	43	76	110	120																
R1目標値	-	-	-	-	110																

■主な取組と成果

・農林業の振興

盛岡産農畜産物の高付加価値化や認知度向上、消費拡大を図るため、もりおかの食と農バリューアップ推進戦略を策定し、盛岡産農畜産物の魅力を端的に打ち出すためのブランドとして「美食王国もりおか」のフレーズとロゴの開発、食関連事業者向け商談会や産地訪問ツアーの開催等に取り組んだ。

新規就農者の確保・育成に向けては、市単独の親元就農給付金制度の創設などにより、平成29年度は15名、平成30年度は24名、令和元年度は11名の新規就農者を確保した。

特産食材である「もりおか短角牛」の出荷頭数の増加に向けては、平成29年度に肥育農家の子牛購入経費の一部を助成する制度を創設し、肥育経営の安定化に取り組んだ。

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の実現に向け、「畑のお手伝いプロジェクト」「盛岡産もぐもぐツアー」「盛岡美食の夜」の開催によって農業体験・利用・消費の機会を創出、「マチナカ産直」における「盛岡産」食材の利用促進、「6次産業化等スタートアップ支援事業」による商品開発・販路開拓の支援に取り組み、盛岡産農畜産物の高付加価値化や販路拡大のほか、東京オリンピックのホストタウンとして、キャンプ受入時の歓迎レセプションによるおもてなし等を通じ、盛岡市産食材の魅力発信に努めた。

・工業の振興

経済情勢が上向きであることなどにより、企業の設備投資が増加傾向であったことから、指標である製造業粗付加価値額が取組期間である3ヵ年を通じて向上した。

また、市内に製造業等の産業用地がほとんどない状況にあり、地場企業の業務拡張、創業環境の向上に支障をきたすとともに、市内に、新たに立地しようとする企業へ用地を斡旋できない状況にあったことから、新たな雇用の創出を図るため、食料品製造業等のリーディング産業や研究開発系企業の集積を計画的に進めるとともに、共同施設等を備えた付加価値の高い「ものづくり拠点」となる新産業等用地の整備に取り組んだ。

(5) みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

■概要

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。
 また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現する。

■取組期間：平成 30～令和 3 年度

■投資実績額：10,276 百万円



子育て応援プラザの様子



家庭総合支援センターの開設

■実施事業

医療費給付事業、子育て応援プラザ運営事業、子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業、子ども家庭総合支援拠点事業、子ども家庭総合支援センター事業、産婦健康診査事業、児童福祉施設環境整備事業、待機児童解消対策事業、特別保育事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業、病児・病後児保育事業整備助成事業、母子保健事業、子ども・子育て支援事業計画推進事業、子ども未来基金事業、子育てのための施設等利用給付事業、子育て世代包括支援センター事業、支援対象児童等見守り強化事業、私立児童福祉施設運営費助成事業、私立児童福祉施設整備助成事業、私立児童福祉施設等運営事業、児童館管理運営事業、児童館整備事業、児童福祉施設環境改善事業、待機児童解消強化事業、地域児童クラブ等運営事業、認定こども園等運営費給付事業、保育士確保対策事業、保育所管理運営事業、養育支援訪問（家事援助）事業、小児救急輪番制病院事業、夜間急患診療所管理運営事業、予防接種事業、障がい者相談支援事業、学習支援事業、就学援助事業、小中学校等環境整備事業、特別支援教育事業、ワーク・ライフ・バランス推進事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移														
1月1日現在の待機児童数 ※当初値はH28	↓	人	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>218</td><td>180</td><td>84</td><td>40</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	値	218	180	84	40	0	0
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3											
値	218	180	84	40	0	0											
まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合 ※当初値はH28	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>割合</th><td>74.0</td><td>70.0</td><td>74.2</td><td>79.7</td><td>79.3</td><td>82.1</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	割合	74.0	70.0	74.2	79.7	79.3	82.1
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3											
割合	74.0	70.0	74.2	79.7	79.3	82.1											
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 ※当初値はH28	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>割合</th><td>15.2</td><td>15.9</td><td>19.9</td><td>18.9</td><td>23.2</td><td>19.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	割合	15.2	15.9	19.9	18.9	23.2	19.0
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3											
割合	15.2	15.9	19.9	18.9	23.2	19.0											

■主な取組と成果

・年間を通じた待機児童の解消

児童福祉施設の整備支援や遊休物件を活用した小規模保育所整備支援を行い、認可保育所や小規模保育所等の定員拡大を進め、取組期間の各年度において、翌年4月の入所に向けて定員拡大を行ったほか、保育士奨学金返還支援や事業者への保育士宿舍借上げ支援等、若手保育士が働き続けられるための経済的支援を行い、保育士確保につなげた。

・育児不安解消への取組

平成30年4月に子ども家庭総合支援センターを開設し、子育て世代包括支援センターとの連携や、職員体制の強化によって、相談受付体制が強化され、令和4年度の児童家庭相談受付件数が、開設以降最多の9,568件となり、育児不安の解消につながった。

医療費については、平成30年4月から中学生医療費助成を開始し、令和元年度には未就学児の無料化及び小学生の現物給付化を、令和2年度には中学生の現物給付化を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減した。

乳児家庭全戸訪問については95%前後実施し、併せて産婦健康診査や産後ケア事業により、出産後の子育ての不安感や孤立感の解消につなげた。

児童センターについては、放課後の居場所づくりの方針に基づき、未設置の小校区への計画的な整備を進めるとともに、児童厚生員の配置基準を見直し、安心・安全な居場所づくりを推進した。また、放課後児童クラブについても、同方針に基づき計画的な整備に取り組んだ。

(6) 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

■概要

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションする。

また、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICE（マイス）の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進する。

■取組期間：平成30年度～令和3年度

■投資実績額：705百万円



木伏緑地の整備



「盛岡 City Wi-Fi」の整備

■実施事業

芸術文化活動振興事業、生涯スポーツ推進事業、盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業、地域おこし協力隊活用事業、移住・定住・交流人口対策事業、盛岡ブランド確立事業、盛岡地区かわまちづくり事業、公園等維持管理総務事務、いしがきミュージックフェスティバル支援事業、盛岡三大麺普及事業、地場・伝統産業振興事業、特産品ブランド振興事業、MICE（マイス）誘致推進事業、盛岡デー等観光PR事業、外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業、外国人観光客誘致推進事業、観光客誘致宣伝事業、観光団体育成強化事業、広域観光推進事業、大型観光キャンペーン事業、都市公園整備事業、ホストタウン機運醸成事業、姉妹都市等国際交流事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																					
観光客入込数 ※当初値はH25	↑	万人回	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>472</td><td>500</td><td>508</td><td>519</td><td>324</td><td>310</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>504</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	値	472	500	508	519	324	310	目標値	-	-	-	-	-	504
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3																		
値	472	500	508	519	324	310																		
目標値	-	-	-	-	-	504																		
外国人観光客入込数 ※当初値はH28	↑	人回	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>23,649</td><td>34,249</td><td>53,432</td><td>65,597</td><td>10,707</td><td>4,058</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>50,000</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	値	23,649	34,249	53,432	65,597	10,707	4,058	目標値	-	-	-	-	-	50,000
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3																		
値	23,649	34,249	53,432	65,597	10,707	4,058																		
目標値	-	-	-	-	-	50,000																		
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 ※当初値はH28	↑	位	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>117</td><td>62</td><td>90</td><td>46</td><td>67</td><td>133</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>40</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3	値	117	62	90	46	67	133	目標値	-	-	-	-	-	40
年度	当初値	H29	H30	R1	R2	R3																		
値	117	62	90	46	67	133																		
目標値	-	-	-	-	-	40																		

■主な取組と成果

・観光客誘致等の取組

盛岡デーや各種物産展等の開催を通じた誘客宣伝、平成29年から始まった東北絆まつりの東北6県の県庁所在市での開催、首都圏プロモーションでの盛岡さんさ踊りの披露等による誘客宣伝効果により、交流人口が拡大した。また、各種祭りの主催団体への補助や開催支援により、年間を通じて祭り・イベントの充実を図った。

MICE（マイス）制度については、催事の情報収集、関係団体と連携したプロモーション活動を行ったほか、制度の要綱の改正や、参加者数の該当区分の細分化を図り、支援対象の拡大に努めた。

ホストタウンとしてカナダ女子セブンズや水球カナダ、クライミングカナダの東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受け入れを行い、スポーツによる交流人口の拡大に寄与した。

いしがきミュージックフェスティバルは、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベントを中止したが、平成30年度は写真展や花火の打ち上げ等の新企画を行った。令和元年度は雨天の中での開催となったが、過去2番目に多い来場者を記録し、中心市街地に賑わいをもたらした。

令和3年4月からの東北ディスティネーションキャンペーンに併せて、つなぎ温泉の宿泊施設において盛岡さんさ踊りによるつなぎ温泉観光協会伝統芸能常設公演事業を実施し、コロナ禍により落ち込んだ観光需要の喚起に取り組んだ。

・外国人観光客等の誘致拡大

外国人観光客については、東北絆まつりの東北6県の県庁所在市による祭りの紹介を含めた海外プロモーション、東北を対象とした旅行商品の開発と販売、県の広域振興局の枠組みによる国際旅行博へ出展した海外プロモーション、いわて花巻空港への台湾及び中国定期便の就航による訪日外国人観光客の増加等が要因となり、新型コロナウイルス感染拡大以前は、盛岡市への入込（宿泊客）数が平成30年は前年比で8.7%、令和元年は前年比1.2倍に増加した。

また、受入環境整備については、令和2年度に無料公衆無線LANサービス「盛岡City Wi-Fi」を観光関連施設3カ所に新たに整備し、受入環境の向上を図った。

・盛岡市の魅力向上

マーケティング手法を取り入れるなどの効果的・戦略的な情報発信に取り組んだ結果、暮らしの中に根付く盛岡らしい有形・無形の価値や魅力である「盛岡ブランド」が評価され、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に選出された。

関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として、平成30年度から「盛岡という星で」プロジェクトを展開し、東京圏在住の若年層に向けたSNS等を活用した情報発信により、広く盛岡の魅力を伝えることができた。

また、「地域おこし協力隊」の活動として、ホームページやSNSの活用、ウェブへの記事提供を行ったが、それぞれの活動に対し、ターゲットを設定したことで、より効果的な情報発信となった。

北上川において、北上川沿いの木伏緑地（公園）にトイレや飲食店等、利便性の向上やにぎわい創出に資する施設の整備したほか、かつて盛んだった舟運の実現に向けた木造船「もりおか丸」等の運行実験や、木伏緑地と八幡町・大慈寺町・鉈屋町等の境界で行う各種イベントと連携した開港祭を開催し、安全・安心な船の運航に向けた取組ができた。

また、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で本大会を中止し、オンライン開催となったものの、令和元年度から開始された「いわて盛岡シティマラソン」では、石割ザクラや岩手銀行赤レンガ館、盛岡八幡宮等の中心市街地、盛南地区の新しいまち並み、そして、紅葉に囲まれた御所湖等を「盛岡の魅力が体感できるコース」とすることで、広く盛岡市の魅力を発信できたとともに、ボランティアとしての大会参加や沿道での声援を通して市民の一体感の醸成にもつながった。

(7) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト R2-R3

■概要

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による企業調達の国内回帰やサプライチェーンの分散化などの動きを把握しながら、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出する。

また、テレワーク等ICT活用による新しい働き方の導入、AI、IoT等の新技術の活用による生産性の向上、盛岡産農畜産物の優位性を生かした付加価値向上など、地元企業や農林業などの効率性や生産性を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進する。

■取組期間：令和2年度～令和3年度

■投資実績額：1,490百万円



新産業等用地の整備

■実施事業

若者の就業支援事業、食と農のバリューアップ推進事業、新規就農支援事業、盛岡の食材プロモーション事業、盛岡りんご担い手バックアップ事業、農業改良普及事業、農業生産対策事業、林業労働対策事業、商業振興事業、ものづくり産業魅力向上事業、ものづくり人材育成事業、起業家支援事業、工業振興事業、工場新設拡充等事業、産学官連携研究センター管理運営事業、産業支援センター管理運営事業、産業支援事業、新産業等用地整備事業、新事業創出支援センター管理運営事業、成長分野拠点形成支援事業、盛岡テクノミュージアム設置事業、雇用対策推進事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
盛岡公共職業安定所管内の高校生県内就職率 ※当初値はH29	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>63.8</td><td>67.6</td><td>67.9</td><td>68.1</td><td>69.3</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>R4目標値: 70.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H30	R1	R2	R3	値	63.8	67.6	67.9	68.1	69.3	目標値	-	-	-	-	R4目標値: 70.0
年度	当初値	H30	R1	R2	R3																
値	63.8	67.6	67.9	68.1	69.3																
目標値	-	-	-	-	R4目標値: 70.0																
県内大学生県内就職内定率 ※当初値はH29	↑	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>43.6</td><td>43.1</td><td>41.9</td><td>43.4</td><td>44.9</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>R4目標値: 45.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H30	R1	R2	R3	値	43.6	43.1	41.9	43.4	44.9	目標値	-	-	-	-	R4目標値: 45.0
年度	当初値	H30	R1	R2	R3																
値	43.6	43.1	41.9	43.4	44.9																
目標値	-	-	-	-	R4目標値: 45.0																
青年就農者数（累計） ※新規就農者のうち45歳未満の者 ※当初値はH29	↑	人	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>96</td><td>120</td><td>128</td><td>151</td><td>162</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>R4目標値: 160</td></tr> </table>	年度	当初値	H30	R1	R2	R3	値	96	120	128	151	162	目標値	-	-	-	-	R4目標値: 160
年度	当初値	H30	R1	R2	R3																
値	96	120	128	151	162																
目標値	-	-	-	-	R4目標値: 160																
盛岡市内の働き方改革関連認定企業数 ※当初値はH29	↑	社	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>29</td><td>58</td><td>94</td><td>144</td><td>187</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>R4目標値: 120</td></tr> </table>	年度	当初値	H30	R1	R2	R3	値	29	58	94	144	187	目標値	-	-	-	-	R4目標値: 120
年度	当初値	H30	R1	R2	R3																
値	29	58	94	144	187																
目標値	-	-	-	-	R4目標値: 120																

■主な取組と成果

・学生の地元定着を促進する就職支援の取組

学生の地元企業就職を促すため、各所での情報提供や、高校生を対象としたインターンシップ事業、就職面談会を実施することで、学生に地元企業を知ってもらう機会を作ったほか、ジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生にきめ細やかな就職支援を行ってきたことで、学生の地元志向を高めることができた。

また、ワーク・ライフ・バランスの実現に資する研修会等を開催したことで、取組の必要性を企業に浸透させることができた。

・新規就農支援と雇用就農の推進

もりおかの食と農バリューアップ推進戦略に基づき、食と農の基盤強化や魅力発信に取り組み、農業体験の機会創出や情報発信を通じて市民の関心を高めてきた。全国的な田園回帰の流れの中で、農のある暮らしに新たな価値が見出される一方、大規模災害や感染症の影響により生活のあり方が見直されている。農業次世代人材投資資金や親元就農給付金などの支援策が新規就農を後押しし、特に農業法人等による「雇用就農」が担い手確保の受け皿となっており、独立就農へのステップとしても機能している。

(8) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト R4-R6

■概要

・DX時代のしごとづくり

国によるデジタル実装を通じた地方活性化の推進により、IT分野の需要が更に高まっていくことを見据え、若者をひきつける魅力的な働く場を創出するため、企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組む。

また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援するほか、社会の変化を捉えた新たなビジネスの創出を支援する。

・若者と地元産業をつなぐ

若者と地元産業をつなぎ、本市への定着を図るため、コロナ禍における地方・地元志向の高まりを好機と捉え、高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力の効果的に発信するとともに、インターンシップや就職ガイダンス等により地元企業の認知度の向上や就業希望者とのマッチングを支援するほか、就職後における新社会人マナー研修等のフォローアップ支援に取り組む。

また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努める。

・仕事と子育ての希望をかなえる

女性が安心して子どもを産み育て、社会進出しやすい環境づくりを推進するため、ICTを活用した働き方改革等、地元企業によるワーク・ライフ・バランスの取組を支援します。また、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子どもの居場所づくりに取り組むほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援する。

■取組期間：令和4年度～令和6年度

■投資実績額：4,100百万円

■実施事業

保育士確保対策事業、地域児童クラブ等運営事業、私立児童福祉施設運営費助成事業、妊婦子育て支援事業、こども家庭支援事業、子ども未来基金事業、子ども・子育て情報発信事業、母子保健事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業、児童館整備事業、児童館管理運営事業、介護従事者確保事業、男女共同参画推進事務、男女共同参画意識啓発事業、移住・定住・交流人口対策事業、切れ目のない支援体制整備充実事業、若者の就業支援事業、スマート農業導入促進事業、食と農のバリューアップ推進事業、新規就農支援事業、盛岡りんご担い手バックアップ事業、林業労働対策事業、商業振興事務、地域企業生産性向上支援事業、盛岡南地区物流拠点整備事業、盛岡AI・IoTプラットフォーム事業、地域企業成長加速支援事業、成長分野拠点形成支援事業、工場新設拡充等事業、盛岡広域企業誘致推進事業、産業支援事業、インキュベーション支援、起業家支援事業、新産業等用地整備事業、工業用地確保推進事業、工業振興事業、盛岡テクノミュージアム設置事業、スマートシティ関連事業、雇用対策推進事業、魅力ある職場づくり推進事業



6次産業化
スタートアップ支援事業



AI・IoTプラットフォーム事業
(スパルタキャンプ授業風景)

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
市内IT産業事業所数 ※当初値はR1 ※最新値はR3（経済センサス）	↑	%	<table border="1"> <tr><th>時期</th><td>当初値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>119</td><td>136</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>160</td></tr> </table>	時期	当初値	R3	R4	R5	R6	実績値	119	136				目標値					160
時期	当初値	R3	R4	R5	R6																
実績値	119	136																			
目標値					160																
県内大学生県内就職内定率 ※当初値はH29	↑	%	<table border="1"> <tr><th>時期</th><td>当初値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>43.6</td><td>44.9</td><td>41.0</td><td>39.1</td><td>38.3</td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>45.0</td></tr> </table>	時期	当初値	R3	R4	R5	R6	実績値	43.6	44.9	41.0	39.1	38.3	目標値					45.0
時期	当初値	R3	R4	R5	R6																
実績値	43.6	44.9	41.0	39.1	38.3																
目標値					45.0																
「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 ※当初値はH29	↑	%	<table border="1"> <tr><th>時期</th><td>当初値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>15.2</td><td>19.0</td><td>20.8</td><td>17.7</td><td>19.5</td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50.0</td></tr> </table>	時期	当初値	R3	R4	R5	R6	実績値	15.2	19.0	20.8	17.7	19.5	目標値					50.0
時期	当初値	R3	R4	R5	R6																
実績値	15.2	19.0	20.8	17.7	19.5																
目標値					50.0																
女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数（えるぼし認定） ※当初値はH30	↑	社	<table border="1"> <tr><th>時期</th><td>当初値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>6</td><td>13</td><td>15</td><td>20</td><td>19</td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20</td></tr> </table>	時期	当初値	R3	R4	R5	R6	実績値	6	13	15	20	19	目標値					20
時期	当初値	R3	R4	R5	R6																
実績値	6	13	15	20	19																
目標値					20																

■主な取組と成果

・IT企業誘致と産業集積の推進

IT産業振興のため、AI・IoTプラットフォーム事業やスマートシティ関連事業、スタートアップ支援など多様な取組を継続・拡充し、東北第2位のIT企業集積を活かした情報発信により、IT関連企業の立地関心と誘致活動が着実に進展している。

・若者の地元定着を支える就職支援の充実

若者の人材確保と採用力向上に向けて、市内企業と学生をつなぐ取組や職場の魅力向上に係る取組を複合的に展開しつつ、学生へのカウンセリングによる就職支援や介護職員奨学金返還事業、ジョブカフェいわて運営事業による寄り添った支援を通じて、きめ細やかな就職支援を実施した。

・子育て支援と保育人材確保の推進

市内全ての小学校区への児童センター整備を完了したことや、子ども未来基金を活用した子育て支援事業や、保育士への奨学金返還支援・宿舍借上げ支援・処遇改善支援、医療的ケア児の受入施設への支援、産後ケア事業の無料化と電子申請導入など、多面的な支援策を通じて、子育て環境の充実と保育人材の確保を着実に進めてきた。

・女性が活躍できる職場環境の整備

女性が能力を発揮しやすい職場環境の整備に取り組んだ結果、企業の成長につながるとの認識が浸透し、えるぼし認定企業数が15社（令和4年度）から19社（令和6年度）に増加するなど、具体的な成果が現れている。

・6次産業化と新規就農支援の推進

6次産業化スタートアップ支援事業により商品開発やEC販売への参入を支援し、生産者・事業者の魅力向上と情報発信力の強化を図るとともに、盛岡りんごの供給力維持に向けて剪定作業の担い手確保や生産技術の継承を支援することで、農家経営の安定化に貢献したほか、新規就農支援事業により着実に新規就農者を確保することができた。

・若者の林業理解促進と就業支援

林業の魅力発信と人材確保に向けて、中学生から大学生を対象とした現場見学会を実施し、参

加者全員の理解促進と就職への関心を高める機会を創出するとともに、令和6年度からは新規就業者を雇用する事業体への人件費や安全器具購入費の補助を開始し、雇用しやすい環境整備に積極的に取り組んだ。

(9) 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト

■概要

・コロナからのV字回復

令和5年1月、ニューヨーク・タイムズ紙（電子版）が発表した「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれ、国内外に本市の魅力を発信する絶好の機会となっており、観光需要回復への期待が高まっていることから、好機を活かした更なる誘客促進や消費の拡大を図るため、東北六市や盛岡広域8市町と連携したプロモーション、MICE（マイス）の誘致等を推進する。

また、まつり・イベントの振興等により来訪者に盛岡らしいおもてなしを提供するほか、地域経済への波及効果が期待される高規格スポーツ施設を活用した誘客コンテンツの拡充・強化に取り組む。

・ポストコロナの交流・新展開

観光客や市民等によるまちなかの社会経済活動を活性化させるため、感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会を創出する。

また、SNSやオンラインを活用した交流のほか、デジタル技術等を活用し、市外の方が積極的に本市と関わりをもつ機運を醸成するための仕掛けづくりなど関係人口や交流人口の創出・拡大に取り組む。

・市民の日常に生まれるにぎわいの創出

まちなかに日常のにぎわいと活力を生み出すため、商店街等の活性化支援や地域の魅力をつなぐ結節点「ローカルハブ」をコンセプトとした盛岡バスセンターのにぎわい機能による周辺エリアの価値向上、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上、将来のまちづくりを見据えた内丸地区における一体的再整備のプラン構築に取り組む。

また、盛岡バスセンターと近接する地区の再開発による交流拠点の整備を促進するほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備に取り組む。

■取組期間：令和4年度～令和6年度

■投資実績額：10,757百万円



盛岡バスセンターの開業



通常開催となった盛岡さんさ踊り

■実施事業

芸術文化活動振興事業、スポーツ大会・合宿誘致事業、生涯スポーツ推進事業、地域おこし協力隊活用事業、いわて盛岡ボールパーク管理運営事業、スポーツ活動機会提供事業、盛岡地区かわまちづくり事業、移住・定住・交流人口対策事業、シティプロモーション推進事業、内丸地区再整備事業、食と農のバリューアップ推進事業、商店街等指導事業、商店街活性化支援事業、タウンマネジメント機関支援事業、商業活性化事業、商業振興事務、観光団体育成強化事業、広域観光推進事業、MICE（マイス）誘致推進事業、観光客誘致宣伝事業、まつり・イベント振興事業、道の駅設置事業、観光施設整備事業、市街地再開発事業、動物公園整備事業、お城を中心としたまちづくり事業、まちなかウォーカブル推進事業、盛岡バスセンター整備事業、公共交通利用促進対策事業、姉妹都市等国际交流事業、友好都市等交流事業、第21回全国藩校サミット盛岡大会開催事業

■指標の状況

指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
観光客入込数 ※当初値はH28	↑	万人回	<table border="1"> <caption>観光客入込数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>500</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>310</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>370</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>430</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>425</td> <td>530</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	500	-	R3	310	-	R4	370	-	R5	430	-	R6	425	530
年度	実績値	目標値																			
当初値	500	-																			
R3	310	-																			
R4	370	-																			
R5	430	-																			
R6	425	530																			
中心市街地の通行量 ※当初値はH30	↑	人回	<table border="1"> <caption>中心市街地の通行量推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>13,094</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14,389</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>13,453</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>13,138</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>13,443</td> <td>17,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	13,094	-	R3	14,389	-	R4	13,453	-	R5	13,138	-	R6	13,443	17,500
年度	実績値	目標値																			
当初値	13,094	-																			
R3	14,389	-																			
R4	13,453	-																			
R5	13,138	-																			
R6	13,443	17,500																			
都市機能誘導区域等の流動人口 ※当初値はH30 ※情報元であったRESASの「流動人口メッシュ」サービスの終了に伴い、R6実績値は把握不可となったため、R5の実績値を最終値とする。	↑	人	<table border="1"> <caption>都市機能誘導区域等の流動人口推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>68,456</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>66,052</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>70,167</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>78,335</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>80,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	68,456	-	R3	66,052	-	R4	70,167	-	R5	78,335	-	R6	-	80,000
年度	実績値	目標値																			
当初値	68,456	-																			
R3	66,052	-																			
R4	70,167	-																			
R5	78,335	-																			
R6	-	80,000																			

■主な取組と成果

・国際・世代間交流による関係人口の拡大

姉妹・友好都市との周年記念事業を契機に相互訪問や各種交流を通じて市の魅力を発信したことや、若い世代の交流事業による新たな担い手育成を行ったことで、市民・民間レベルでの新たな交流の広がりにより交流人口・関係人口の増加につながった。

・国際俳句大会と文化体験による交流人口の拡大

盛岡国際俳句大会の開催により国内外から延べ5,822人が参加し、市の魅力発信と交流人口の増加に貢献したほか、芸術・伝統文化体験事業を通じて子どもたちが多様な分野に触れる機会を提供し、芸術文化への関心を育む取組を推進した。

・祭り・イベントの再開と通年型観光の推進

令和4年度から「チャグチャグ馬コ」や「盛岡さんさ踊り」などの伝統的な祭り・イベントを通常開催としたことで、まちのにぎわいを回復・創出するとともに、「街なかさんさ踊り」や冬季イルミネーションイベントなどを継続的に実施し、通年型観光の推進に取り組んできた。令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」の2番目に選ばれたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備や積極的な誘客宣伝を展開し、観光客数の増加につながるなど、盛岡の魅力を広く発信する取組を具体的に進めてきた。

・健康アプリ活用による市民の運動促進とまちの回復

健康づくりアプリ「MORI-WALKER」をリリースし、イベントや企業表彰制度などを通じた広報活動により、ダウンロード数が約5,500件に達した。アプリを活用した健康づくりの取組等により、成人の週1回以上のスポーツ実施率が令和4年度の45.6%から令和6年度には49.4%に向上した。

また、地域通貨「MORIO-Pay」のポイント付与によるインセンティブが地域経済にも貢献し、コロナ禍で停滞していた市街地の通行量の回復にも寄与した。

・動物公園と舟運事業による観光資源の再活用と誘客促進

動物公園のリニューアル工事を実施し、令和5年度にリニューアルオープンしたことで、2年間で延べ約35万人が来園するなど集客効果を上げた。

また、舟運実行委員会による北上川フェスタや運航体験、講演会の継続開催により河川空間のにぎわいを創出した。

これらの取組により、観光客入込数の増加に寄与した。

・交通・公共空間の整備による中心市街地の活性化

盛岡バスセンターの開業や、全国相互利用可能な交通系 I C カードシステムの導入、複合商業施設 m o n a k a のオープンを通じて、中心市街地へのアクセス性とにぎわいを向上させた。

また、岩手銀行中津川別館跡地で広場設置の社会実験を実施し、約 3 か月間で 31 回のイベントに延べ 12,500 人が来場するなど、地域の回遊性や滞留性の向上に寄与した。

・食の魅力発信による観光誘客とまちなか活性化

「盛岡の美味しいもんアンバサダー」制度を通じて、認定店舗 78 店・メニュー 104 品を展開し、盛岡産の特産食材を活用した商品提供により、市民や観光客に食と農の魅力を発信。これにより、コロナ 5 類移行後のまちなかのにぎわい回復に貢献し、観光客入込数の増加につながった。

3 自治体経営の取組

1 体系図等

■ 目指す将来像

ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡

■ 自治体経営の理念

目指す将来像の実現のため、社会情勢や市民ニーズ等に的確に対応しながら、自治体経営に取り組みます。

- (1) 市民が主体的に市政にかかわることを保障し、市政に関する情報を提供するとともに、市民参画や協働によるまちづくりを推進します。
- (2) 中長期的な展望に立った健全な財政運営と簡素で効率的な組織体制のもとで、公正でかつ透明性の高い自治体経営を推進し、信頼性の高い市政を確立します。
- (3) 他の自治体との連携や相互協力のもとに、自律的な自治体経営を推進します。
- (4) 市民の視点で適切に施策等を評価し、常に見直しを行いながら、改革改善に取り組みます。

■ 自治体経営に基づく方針

自治体経営の取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの自治体経営の理念のもと、5つの方針を定め、必要な取組を推進しています。

また、取組の推進にあたっては、まちづくりの取組と同様に指標を設定し、目標を定めて進捗を図っています。

方針1 市民参画や協働によるまちづくり

- 推進項目Ⅰ 協働の環境整備
- 推進項目Ⅱ 公民連携の推進
- 推進項目Ⅲ 広聴機能の充実
- 推進項目Ⅳ 分かりやすい行政情報の提供

方針2 経営資源配分の最適化

- 推進項目Ⅰ 予算配分の最適化
- 推進項目Ⅱ アセットマネジメントの推進
- 推進項目Ⅲ 事務改善の推進

方針3 健全な財政運営の実現

- 推進項目Ⅰ 将来負担を意識した財政運営
- 推進項目Ⅱ 自主財源の確保
- 推進項目Ⅲ 出資等法人の健全経営の確保
- 推進項目Ⅳ 地方公営企業の経営の効率化及び健全化

方針4 信頼される市政の確立

- 推進項目Ⅰ 組織・人事の適正化
- 推進項目Ⅱ 職員人材育成の推進
- 推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保

方針5 自律した経営の推進

- 推進項目Ⅰ 地方分権の推進
- 推進項目Ⅱ 他の自治体との連携の推進

2 各取組の成果と課題

資料の見方

自治体経営の方針について掲載しています。

方針1 市民参画や協働によるまちづくり

市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政といったさまざまな主体がそれぞれの特性をいかし、連携・役割分担しながら市民参画や協働によるまちづくりに取り組んだ。

方針を構成する各推進項目に紐づく取組名、取組内容を掲載しています。

推進項目Ⅰ 協働の環境整備

○協働推進のための仕組みづくり

町内会・自治会への加入促進と役員負担の軽減のため、不動産協会との協定締結や、複数の謝礼金や補助金の一本化（協働推進奨励金）による手続の簡素化などに取り組んだ。

また、地域のコミュニティ組織や市民活動団体等に活動経費の補助を行ったほか、担い手創出へ向けた研修会の開催、地域担当職員の配置、市民協働推進センター事業による相談等支援、市民協働の活動事例の情報提供などを行い、積極的に市民協働・地域協働を推進した。

各推進項目の進捗状況を客観的に測るための指標を掲載しています。

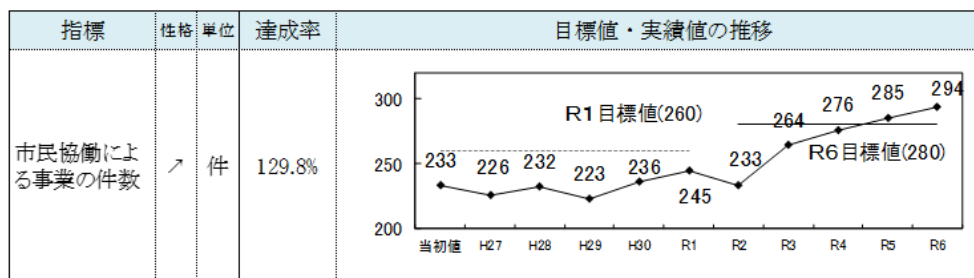
「性格」欄の記号の意味は次のとおりです。

- ・「↑」：数値を上げていくことを目標としています。
- ・「→」：現状を維持していくことを目標としています。
- ・「↓」：数値を下げていくことを目標としています。

「達成率」は次の計算方法で算出しています。

- ・「↑ ↓」の指標： $(R6 \text{ 実績値} - \text{当初値}) / (R6 \text{ 目標値} - \text{当初値}) \times 100$
- ・「→ (+)」の指標： $R6 \text{ 実績値} / (\text{当初値}) \times 100$ 「→ (-)」の指標： $(\text{当初値}) / (R6 \text{ 実績値}) \times 100$
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

■指標の状況



10年間の取組の成果と課題について掲載しています。

■10年間の成果・課題

(成果)

- ・町内会・自治会に対し、負担の少ない手続で奨励金を支給した。また、地域のコミュニティ組織や市民活動団体等に対する活動費の補助を実施し、活動の活性化を図るとともに、持続的な活動に向けての支援を行った。
- ・活動担い手創出のための研修会等の開催、広報誌のほか、SNSも活用しながら市民協働の好事例の紹介を行うなどの支援を行った。
- ・市民協働推進センター及び地域担当職員を設置し、相談や要望の受付体制を整備した。
→上記の取組により市民協働事業が増加し、指標目標を達成することができた。

(課題)

町内会・自治会等の地縁団体において、活動担い手の不足や役員の高齢化が共通の課題となっており、特に働く世代等の若者の参加を促進するとともに、担い手の負担のさらなる軽減を図るなど、持続可能な組織づくりに向けた取組が必要である。

方針 1 市民参画や協働によるまちづくり

市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政といったさまざまな主体がそれぞれの特性をいかし、連携・役割分担しながら市民参画や協働によるまちづくりを進めます。

推進項目 I 協働の環境整備

○協働推進のための仕組みづくり

町内会・自治会への加入促進と役員負担の軽減のため、不動産協会との協定締結や、複数の謝礼金や補助金の一本化（協働推進奨励金）による手続の簡素化などに取り組んだ。

また、地域のコミュニティ組織や市民活動団体等に活動経費の補助を行ったほか、担い手創出へ向けた研修会の開催、地域担当職員の配置、市民協働推進センター事業による相談等支援、市民協働の活動事例の情報提供などを行い、積極的に市民協働・地域協働を推進した。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
市民協働による事業の件数	↑	件	129.8%	<table border="1"> <caption>市民協働による事業の件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>233</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>226</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>232</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>223</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>236</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>245</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>233</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>264</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>276</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>285</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>294</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	233		H27	226		H28	232		H29	223		H30	236		R1	245	260	R2	233		R3	264		R4	276	280	R5	285		R6	294	280
年度	実績値	目標値																																						
当初値	233																																							
H27	226																																							
H28	232																																							
H29	223																																							
H30	236																																							
R1	245	260																																						
R2	233																																							
R3	264																																							
R4	276	280																																						
R5	285																																							
R6	294	280																																						

■10年間の成果・課題

（成果）

- ・町内会・自治会に対し、負担の少ない手続で奨励金を支給した。
- ・地域のコミュニティ組織や市民活動団体等に対する活動費の補助を実施し、活動の活性化を図るとともに、持続的な活動に向けての支援を行った。
- ・活動担い手創出のための研修会等の開催、広報誌のほか、SNSも活用しながら市民協働の好事例の紹介を行うなどの支援を行った。
- ・市民協働推進センター及び地域担当職員を設置し、相談や要望の受付体制を整備した。
- ・上記の取組により市民協働事業が増加し、指標目標を達成することができた。

（課題）

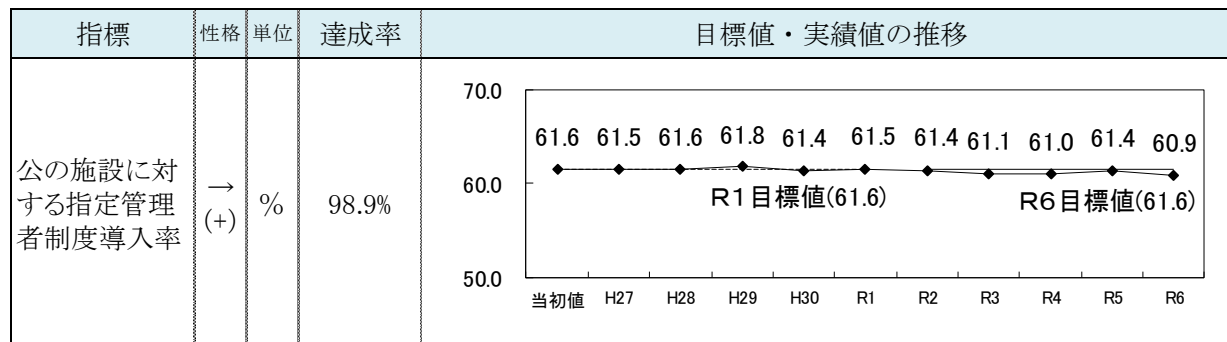
- ・町内会・自治会等の地縁団体において、活動担い手の不足や役員の高齢化が共通の課題となっており、特に働く世代等の若者の参加を促進するとともに、担い手の負担の更なる軽減を図るなど、持続可能な組織づくりに向けた取組が必要である。

推進項目Ⅱ 公民連携の推進

○民間委託、指定管理者制度等の活用

370施設のうち227施設において指定管理者制度による管理運営を行った。
また、民間委託について保育所5園の民間移管を実施したほか、可燃ごみの収集や焼却業務の民間委託を行った。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

(成果)

- ・盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づいた公の施設の廃止を進める中で、新規施設については、最適な管理運営の手段を検討の上、指定管理者制度を導入し、目標値と乖離することなく導入率を維持することができた。

(課題)

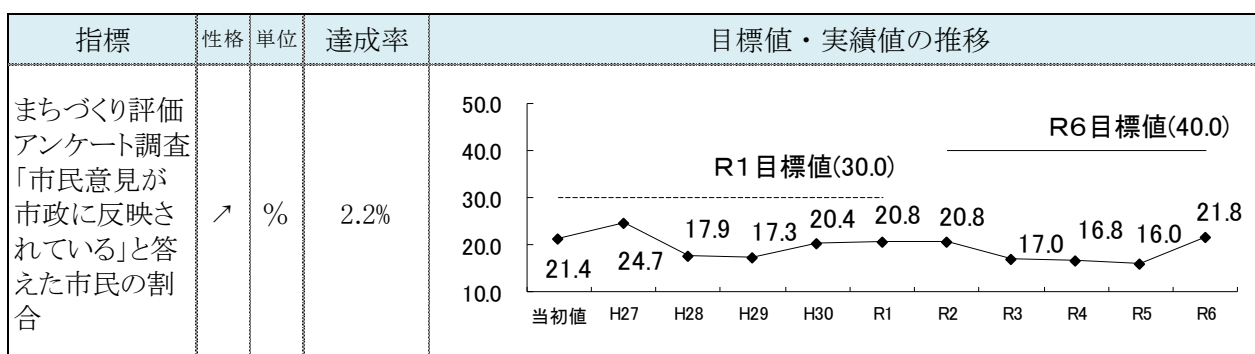
- ・物価や賃金が上昇傾向にある昨今の社会情勢に応じて、適宜、制度の見直しを図る必要がある。

推進項目Ⅲ 広聴機能の充実

○市民ニーズの積極的な把握

「まちづくり懇談会」及び「市民の意見箱～市長への手紙～」等による市民ニーズの把握のほか、パブリックコメント制度及びパブリック・インボルブメント制度の活用による政策形成過程における公正の確保と透明性の向上に努めた。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

(成果)

- ・令和5年10月に「市民の提案箱」から「市民の意見箱」へ変更し、設置箇所の増、制度の周知を行ったことにより、提案等の件数が増加した。
- ・各部署においては、適宜パブリックコメント等を実施した。
- ・全体を通して目標値には達することはできなかったものの、令和6年度の実績値は前年度比5.8%増加した。

(課題)

- ・市民が意見できる場があっても、いただいた意見を必ずしも市政に反映できるわけではないため、反映できない場合は、その理由や市の考え方について理解いただけるような回答、説明等を行う必要がある。

推進項目Ⅳ 分かりやすい行政情報の提供

○伝わる情報提供の推進

「広報もりおか」の発行、公式ホームページ、エクス、フェイスブック及びラジオ放送などを活用し、市政広報を行った。その中で令和4年7月にLINEを活用した市政情報の発信開始や令和6年1月にInstagramを開設し市の魅力を市民と共有するなど、適時適切な広報活動の取組を強化した。

また、市民に読まれ、市政情報が伝わる広報紙を目指し、平成30年5月に「広報もりおか」をリニューアルし、特集・連載記事などの読み物を広報もりおかに掲載するとともに、特集記事は民間事業者の意見を取り入れるなどの取組を進めた。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
まちづくり評価アンケート調査「「広報もりおか」をいつも読んでいます」と答えた市民の割合	↑	%	△54.5%	<table border="1"> <caption>「広報もりおか」をいつも読んでいます」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>48.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>45.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>42.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>47.3</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>44.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>47.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>45.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>45.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>44.7</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	50.1		H27	50.3		H28	48.2		H29	45.8		H30	42.5		R1	47.3	60.0	R2	44.8		R3	47.1		R4	45.5		R5	45.2		R6	44.7	60.0
年度	実績値	目標値																																						
当初値	50.1																																							
H27	50.3																																							
H28	48.2																																							
H29	45.8																																							
H30	42.5																																							
R1	47.3	60.0																																						
R2	44.8																																							
R3	47.1																																							
R4	45.5																																							
R5	45.2																																							
R6	44.7	60.0																																						
盛岡市公式ホームページのページで、「情報が十分に掲載されていない」と回答した数*	↓	件	132.5%	<table border="1"> <caption>「情報が十分に掲載されていない」と回答した数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>2,670</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,670</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,503</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,244</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,202</td> <td>2,555</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2,132</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2,496</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,747</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,140</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,140</td> <td>2,270</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	2,670		H27	2,670		H28	2,450		H29	2,503		H30	2,244		R1	2,202	2,555	R2	2,132		R3	2,496		R4	2,747		R5	2,140		R6	2,140	2,270
年度	実績値	目標値																																						
当初値	2,670																																							
H27	2,670																																							
H28	2,450																																							
H29	2,503																																							
H30	2,244																																							
R1	2,202	2,555																																						
R2	2,132																																							
R3	2,496																																							
R4	2,747																																							
R5	2,140																																							
R6	2,140	2,270																																						

* 平成28年度にホームページをリニューアルし、指標を「盛岡市公式ホームページのトップページのアクセス数」から「盛岡市公式ホームページのページ内アンケートで情報が十分に掲載されていないなどと回答した数」に変更しました。当初値は、平成28年度実績です。

■10年間の成果・課題

(成果)

- ・「広報もりおか」は、平成30年のリニューアル後に「いつも読んでいる」と答えた市民の割合が増えた。
- ・ホームページは、平成28年・令和3年のシステム更新に伴うリニューアルごとに必要な機能や見られるデザインを取り入れながら、その時に必要とされる情報を掲載できるよう努めた。
- ・広報媒体が多様化する中で、必要と考えられる媒体（LINEやSNS）での情報発信を実施することができた。

(課題)

- ・「広報もりおか」を「いつも読んでいる」と答えた市民の割合が減少傾向にあることから、読んでもらえる広報の紙面制作に努める必要がある。
- ・紙の広報発行に係る経費が増加する中で、全ての市民に必要な情報が届くような広報活動を継続できるようにデジタルを含め、広報手段の検討が必要である。

方針2 経営資源配分の最適化

行政評価システムの活用やアセットマネジメントの推進により、限られた経営資源配分の最適化を図るとともに、常に仕事の進め方を見直し、事務改善を進めることにより、低コストで高品質なサービスの提供を目指します。

推進項目 I 予算配分の最適化

○行政評価システムの運用・改善

29の施策と91の小施策を対象とした事後評価、2つの戦略プロジェクトを対象とした事中評価及び令和5年度の新たな取組に対する事前評価を実施した。

○予算編成方法の改善

限られた財源を有効に活用し、より精度の高い予算見積及び調整を図るために、「総合査定方式」による予算編成を行った。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
小施策評価における改革改善案の実施率	↑	%	△452.0%	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>93.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>88.7</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>87.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>82.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>92.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>77.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>72.4</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	95.0	-	H27	-	-	H28	-	-	H29	95.0	-	H30	93.6	-	R1	88.7	75.0	R2	87.0	-	R3	82.1	-	R4	92.9	-	R5	77.8	-	R6	72.4	100.0
年度	実績値	目標値																																						
当初値	95.0	-																																						
H27	-	-																																						
H28	-	-																																						
H29	95.0	-																																						
H30	93.6	-																																						
R1	88.7	75.0																																						
R2	87.0	-																																						
R3	82.1	-																																						
R4	92.9	-																																						
R5	77.8	-																																						
R6	72.4	100.0																																						
当初値は、29年度実績です。																																								

■10年間の成果・課題

(成果)

【行政評価システムの運用・改善】

- ・実施した施策や事業が、当初の目標をどの程度達成したかを評価し、次年度以降の事業の進め方や、方向性について検討・決定することができた。
- ・評価結果を公表することで、市民へのアカウントビリティを果たすことができた。

【予算編成方法の改善】

- ・一件査定を行ったことにより、各事業の必要性、規模等について丁寧に検討を行い、適切に予算が配当された。

(課題)

【行政評価システムの運用・改善】

- ・評価結果と予算編成との連動が不十分である。
- ・担当課等において評価資料作成などの業務負担が重く、本来の業務や改善活動に十分な時間やエネルギーを割けなくなっている懸念がある。

【予算編成方法の改善】

- ・一件査定のため予算調製に時間を要した。

推進項目Ⅱ アセットマネジメントの推進

○公共施設保有の最適化と長寿命化（建築物系施設）

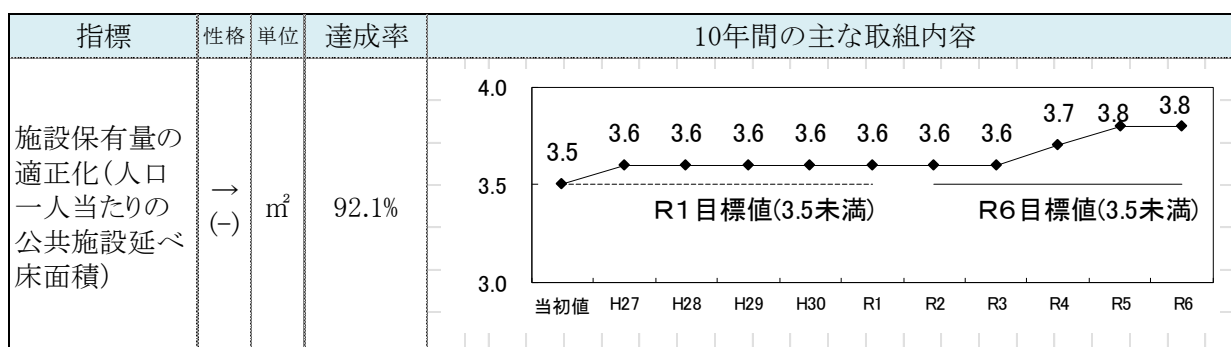
「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」を円滑に推進するため、向こう3か年の計画として「同実施計画」をローリング方式により毎年度策定し進捗管理を行い、特に進捗に遅れがみられた小中学校の大規模改修については、別途「市立小中学校安全対策改修計画」を策定し、安全確保のために必要な改修を急ぐなどの対応策を講じた。

また、マネジメントの推進にあたり、民間活力の導入を図るため「もりおかPPPプラットフォーム」を設立し、サウンディング型市場調査を複数回実施し公的遊休不動産の活用を進めたほか、廃校活用による地域活性化や財源確保に取り組んだ。

○公有財産の適正管理

財産台帳の整備を進めたほか、庁舎については、老朽化や社会環境の変化に対応した機能の維持・向上に努めた。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

(成果)

【公共施設保有の最適化と長寿命化（建築物系施設）】

- ・人口減少の進行に伴い、指標目標である3.5 m²/人は達成できなかったが、計画に基づく取組により、令和6年度末時点で、次の縮減効果があった。
- ・中期計画で除却を予定していた事業件数は61件（約5.3万m²）だったが、30件（約1.9万m²）の除却を実施し、また、除却には至らなかったが、33件（約2.8万m²）の用途廃止を行い、保有量の縮減を図った。
- ・上記の除却30件のうち、条例上廃止し、解体又は譲渡した15施設の合計で、除却前に比べ、1年当たり約5億円の維持管理運営費を縮減した。

【公有財産の適正管理】

- ・財産表を活用し、未利用財産の把握と売却・貸付を促進した。
- ・庁舎については、老朽化した配管やトイレ設備の改修を行うなど機能の維持・向上を図った。

(課題)

【公共施設保有の最適化と長寿命化（建築物系施設）】

- ・指標値が示すとおり、人口一人当たりの公共施設延べ床面積割合は増加しており、将来にわたり持続可能な公共サービスを提供するためには、新規建設を抑止した上で、更なる集約

化・複合化等による保有量の縮減が必要となる。

- ・多くの施設で劣化・老朽化が進行しており、早期に施設の安全性を確保する必要があるほか、合わせてニーズの高いトイレ環境の整備やLED化を速やかに実施する必要がある。
- ・利用者数が減少傾向の施設に係る改修費用が過剰な投資とならないよう、実施する工事箇所を精査する必要がある。

【公有財産の適正管理】

- ・統廃合等に伴い用途廃止となった市有地・建物が、未利用財産として普通財産へ区分変更される事例が増加しており、普通財産に対する維持管理にかかる人的・財政的負担が増大している。
- ・庁舎の老朽化が進行することに伴い、各種設備等の更新・修繕が必要となってくることから、計画的に実施していく必要がある。

推進項目Ⅲ 事務改善の推進

○業務プロセス・手段の改善

業務改革改善事例発表会を開催し、改善事例を全庁に周知するとともに、優秀な事例を表彰することで、各課等における業務改善に対する機運を高めた。

○窓口サービスの向上の推進

職員接遇セルフチェック、窓口利用者アンケートの実施・評価を行った。また、接遇マイスターを中心とした職場接遇研修を行った。

○証明書等コンビニ交付サービスの運用

市ホームページ、まちサポりおか等を使用してサービスの周知を行った。

○ICT等利活用の推進

統合型GISの活用やオープンデータの公開により、行政保有情報の公開を進めたほか、行政手続きのオンライン化を進め、申請や届出をオンラインでできるようにした。また、AI-OCRによるデータ処理や一部業務でRPAによるシステムへの自動入力を実施し、業務効率化も図った。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合	↑	%	70.3%	<table border="1"> <caption>職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>59.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>63.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>56.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>52.4</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>47.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>84.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>84.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>85.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>85.2</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	期	実績値	目標値	当初値	50.1		H27	50.1		H28	59.9		H29	63.1		H30	56.2		R1	52.4	80.0	R2	47.3		R3	84.4		R4	84.4		R5	85.0		R6	85.2	100.0
期	実績値	目標値																																						
当初値	50.1																																							
H27	50.1																																							
H28	59.9																																							
H29	63.1																																							
H30	56.2																																							
R1	52.4	80.0																																						
R2	47.3																																							
R3	84.4																																							
R4	84.4																																							
R5	85.0																																							
R6	85.2	100.0																																						
当初値は、27年度実績です。																																								
窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合	→(+)	%	101.2%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>96.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>94.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>98.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>97.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>97.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>96.0</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>95.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>95.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>91.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>94.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>96.1</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	期	実績値	目標値	当初値	96.3		H27	94.8		H28	98.8		H29	97.6		H30	97.4		R1	96.0	95.0	R2	95.3		R3	95.0		R4	91.8		R5	94.3		R6	96.1	95.0
期	実績値	目標値																																						
当初値	96.3																																							
H27	94.8																																							
H28	98.8																																							
H29	97.6																																							
H30	97.4																																							
R1	96.0	95.0																																						
R2	95.3																																							
R3	95.0																																							
R4	91.8																																							
R5	94.3																																							
R6	96.1	95.0																																						
窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合	→(+)	%	98.4%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>91.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>96.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>96.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>95.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>95.4</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>95.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>92.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>88.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>92.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>93.5</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	期	実績値	目標値	当初値	92.8		H27	91.2		H28	96.9		H29	96.7		H30	95.4		R1	95.4	95.0	R2	95.4		R3	92.0		R4	88.4		R5	92.3		R6	93.5	95.0
期	実績値	目標値																																						
当初値	92.8																																							
H27	91.2																																							
H28	96.9																																							
H29	96.7																																							
H30	95.4																																							
R1	95.4	95.0																																						
R2	95.4																																							
R3	92.0																																							
R4	88.4																																							
R5	92.3																																							
R6	93.5	95.0																																						

■10年間の成果・課題

(成果)

【業務プロセス・手段の改善】

- ・令和3年度以降、全体の8割以上が自ら業務の改善に取り組んでおり、一定の成果を上げている。
- ・業務改革改善事例発表会へは例年各部から取組事例のエントリーがあり、他部署の取組について学び参考とすることができる良い機会となっている。

【窓口サービスの向上の推進】

- ・接遇研修を受講した職員（接遇マイスター）による職場研修等が行われたことにより、多くの職員の意識向上が図られ、「職員の対応が満足」と答えた回答の割合が高い水準で保たれた。

【証明書等コンビニ交付サービスの運用】

- ・自動交付機より交付証明書の種類が多く、閉庁している曜日、時間帯でも証明書の取得が可能のため、住民サービスの向上が図られた。

【ICT等利活用の推進】

- ・統合型GISを活用し行政情報を可視化し公開したほか、市民が利用しやすい形式でデータを公開した。
- ・ぴったりサービスや岩手県電子申請システムを活用し、転入届の特例による転出届や職員採用試験の申込など、行政手続きのオンライン化を進めた。
- ・AI-OCRによる市民アンケートのデータ化やRPAによる定例的な処理の自動化を進

め、業務効率化を図った。

(課題)

【業務プロセス・手段の改善】

- ・令和6年度に業務改善への取り組みを行ったと回答した中で、約85%が個人的な取組であり、係や課単位での取組が難しい。

【窓口サービスの向上の推進】

- ・窓口での声かけによるアンケートの協力依頼だけでは回答数の増加が困難。
- ・本庁舎においては利便性に関して庁舎設備の古さや駐車場に関する意見が多く寄せられており、本来の調査対象である窓口機能の利便性の評価が正確に図れなくなっている。

【証明書等コンビニ交付サービスの運用】

- ・サービスの周知とともに、サービス利用に必要となるマイナンバーカードの更なる普及を進めていく必要がある。
- ・勤務時間外にもシステムが稼働していることから、障害発生時は勤務時間外であっても職員が登庁して対応する必要がある。

【ICT等利活用の推進】

- ・市民にとって利便性の高い手続きを優先してオンライン化を進める必要があるが、オンライン申請の手続を作成するための人的リソースが不足しており、リソースを確保する必要がある。
- ・AI-OCRやRPAについては、実行環境やライセンス数に制限があり、利用できる課に限られていることから、多くの課が利用できるようにする必要がある。

方針3 健全な財政運営の実現

自治体経営の基本である「最少の経費で最大の効果」を念頭に置きながら、歳入確保の強化、徹底した歳出の見直しにより、中長期にわたり計画的な収支のバランスを図ることにより健全な財政運営の実現を目指します。

推進項目 I 将来負担を意識した財政運営

○財政指標の目標管理

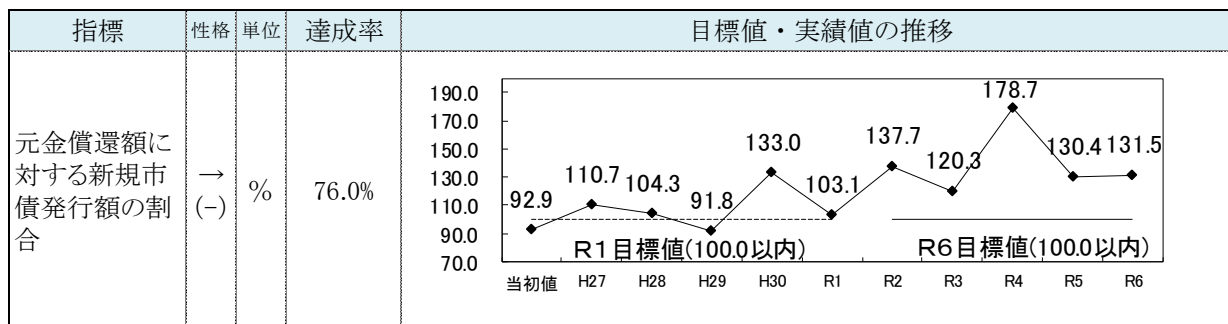
市債を財源とする事業及び借入額を精査し、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」の適正化の持続に努めた。

○市債残高の縮減

市債を財源とする事業及び借入額を精査し、臨時財政対策債を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内とするよう努めたが、総合計画や公共施設の保有最適化・長寿命化計画等に沿った事業実施を図るため、必要な市債を予算計上した。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																								
実質公債費比率	→ (-)	%	140.0%	<table border="1"> <caption>実質公債費比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>12.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>9.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>9.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>9.9</td></tr> <tr><td>R4</td><td>10.2</td></tr> <tr><td>R5</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>R6</td><td>10.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	12.6	H27	10.4	H28	9.6	H29	9.5	H30	9.3	R1	9.5	R2	9.7	R3	9.9	R4	10.2	R5	10.3	R6	10.0
年度	値																											
当初値	12.6																											
H27	10.4																											
H28	9.6																											
H29	9.5																											
H30	9.3																											
R1	9.5																											
R2	9.7																											
R3	9.9																											
R4	10.2																											
R5	10.3																											
R6	10.0																											
将来負担比率	→ (-)	%	180.0%	<table border="1"> <caption>将来負担比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>89.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>73.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>68.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>64.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>60.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>63.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>59.5</td></tr> <tr><td>R3</td><td>57.8</td></tr> <tr><td>R4</td><td>71.2</td></tr> <tr><td>R5</td><td>75.6</td></tr> <tr><td>R6</td><td>83.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	89.4	H27	73.0	H28	68.6	H29	64.2	H30	60.6	R1	63.0	R2	59.5	R3	57.8	R4	71.2	R5	75.6	R6	83.0
年度	値																											
当初値	89.4																											
H27	73.0																											
H28	68.6																											
H29	64.2																											
H30	60.6																											
R1	63.0																											
R2	59.5																											
R3	57.8																											
R4	71.2																											
R5	75.6																											
R6	83.0																											
予算総額に対する新規市債発行額の割合	→ (-)	%	119.4%	<table border="1"> <caption>予算総額に対する新規市債発行額の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>6.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>6.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>R4</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>R5</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>R6</td><td>6.7</td></tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	5.4	H27	7.0	H28	6.2	H29	5.4	H30	9.2	R1	6.9	R2	6.6	R3	6.8	R4	9.8	R5	7.2	R6	6.7
年度	値																											
当初値	5.4																											
H27	7.0																											
H28	6.2																											
H29	5.4																											
H30	9.2																											
R1	6.9																											
R2	6.6																											
R3	6.8																											
R4	9.8																											
R5	7.2																											
R6	6.7																											



■ 10年間の成果・課題

(成果)

【財政指標の目標管理】

- ・ 予算編成において、全ての事業を査定対象とする一件査定を実施し、事業実施の必要性やその規模等について、丁寧に検討を行い、調製を行ったほか、予算執行管理についても適正に行った結果として、実質公債費比率や将来負担比率について、取組期間を通じて指標目標を達成した。

【市債残高の縮減】

- ・ 適切な予算調製により、いわて盛岡ボールパークや給食センター、道の駅など大型事業を実施したにもかかわらず、市債残高は概ね横ばいで推移した。

(課題)

【財政指標の目標管理】

- ・ 施設や交通インフラ等の老朽化が進んでおり、その対応のために市債に依存せざるを得ない状況にある。

【市債残高の縮減】

- ・ 施設や交通インフラ等の老朽化に対応する経費は今後も増加する見込みであり。そのような中で新たな事業に対する財政需要に応えることが難しくなっている。

推進項目Ⅱ 自主財源の確保

○ 収納率向上対策（市税）

納税推進センターにおける初期末納者への電話や文書、令和6年度からはSMSによる納税勧奨や休日・夜間納付相談を実施するとともに、厳正な滞納処分の執行による未納解消への取組を進めた。また、コンビニ収納、クレジット納付やスマートフォン決済などのキャッシュレス納付及び地方税統一QRコードにより全国の金融機関で納付ができるなど納税者の利便性の向上を図った。

○ 収納率向上対策（国民健康保険税）（保育料）（住宅使用料）

納付相談の実施や、夜間・休日催告の強化、口座振替促進の取組及びコンビニエンスストア収納等の納付機会拡大を実施しているほか、科目ごとに以下の取組を実施した。

- （国民健康保険税） 中低額滞納者を対象とした滞納処分の早期着手
- （保育料） 滞納整理専門員の配置や公立保育園長からの督促状手渡し
- （住宅使用料） 滞納整理専門員の配置、生活保護世帯における代理納付及び退去者に対する滞納家賃等収納業務の委託

○未利用財産の有効活用

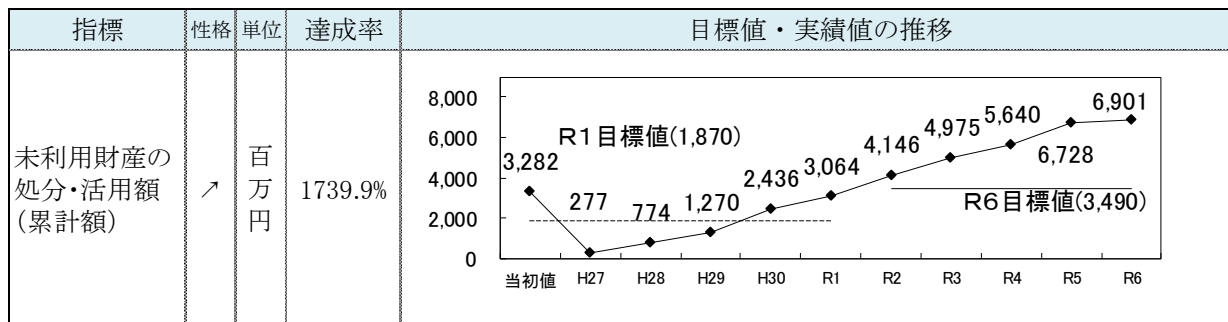
未利用市有地、保留地の売却処分、貸付等の業務のほか、大規模画地の処分に向けて、市ホームページへの掲載を行った。

○使用料・手数料の見直し

「受益者負担の適正化」による使用料等の見直しに向けて、総点検（全庁調査）の結果や社会情勢などを踏まえ、見直し方針及を策定し手数料の検証・見直しを行った。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移
収納率 (市税)	↗	%	110.8%	
収納率 (国民健康保険税)	↗	%	141.5%	
収納率 (保育料)	↗	%	93.0%	
収納率 (住宅使用料)	↗	%	453.8%	



■10年間の成果・課題

(成果)

【収納率向上対策（市税）】

- ・納税推進センターによる電話、文書による効率的、効果的な催告に加え令和6年度からはSMSによる催告も開始した。
- ・令和3年度から始めたキャッシュレス納付、これに加え令和5年度からは地方税統一QRコードにより全国の金融機関での納付が可能となり、納入環境が多様化した。
- ・滞納整理について、高額滞納案件のほか滞納割合の高い個人の少額滞納案件を重点的に整理推進した。
- ・この結果、令和6年度目標値である収納率(市税)98.0%を令和3年度に達成し、令和6年度では98.4%と過去最高値となった。

【収納率向上対策（国民健康保険税）（保育料）（住宅使用料）】

(国民健康保険税)

- ・設定した目標収納率（令和元年度目標：89.5%、令和6年度目標：92.0%）をいずれも達成することができた。

(保育料)

- ・目標の97.7%には届かなかったものの、きめ細やかな催告の継続により、令和6年度には現年度分の収納率100%を達成したほか、滞納繰越分においても、平成27年度と比較し26.28ポイントのプラスとなった。

(住宅使用料)

- ・令和元年度と令和6年度の設定目標を達成することができた。平成27年度の当初と比較し22.69ポイント向上させることができた。

【未利用財産の有効活用】

- ・未利用市有地等の売却や貸付により、歳入を確保した。

【使用料・手数料の見直し】

- ・手数料については、全庁的な調査と検討により、経費と乖離がある手数料を洗い出し、26件の手数料について改正を行うことにより受益者負担の適正化が図られた。使用料についても同様に適正化に向けた検討が行われている。

(課題)

【収納率向上対策（市税）】

- ・これまで懸案だった滞納額100万円前後の滞納案件は解消されたが、滞納額20万円以下の少額滞納案件が全体の9割を占めるようになり、これまでより効果的、効率的な滞納整理が求められている。
- ・死亡者課税の増加が目立ち、課税課との協力連携が必要とされる。
- ・納期内納付につながる要因の分析が必要である。

【収納率向上対策（国民健康保険税）（保育料）（住宅使用料）】

（国民健康保険税）

- ・令和4年度から6年度までの直近3年間の収納率は94%台で推移しているため、より収納率を向上させるため納税折衝や財産調査、滞納整理の手法改善を進めていく。

（保育料）

- ・滞納整理専門員等による催告を継続して実施するとともに、滞納繰越分について、悪質・長期の滞納者に対しては、納税課への移管による滞納処分を実施する必要がある。

（住宅使用料）

- ・今後も滞納整理専門員による初期段階での催告や注意喚起を行いつつ事情に応じた納付相談に取り組み、滞納繰越分の収納率向上を目指す。

【未利用財産の有効活用】

- ・活用にあたっては、老朽化した建物の解体が必要となるケースがあり、これに伴う初期投資が大きくなることから、財政的な制約が利活用の障壁となる場合がある。

【使用料・手数料の見直し】

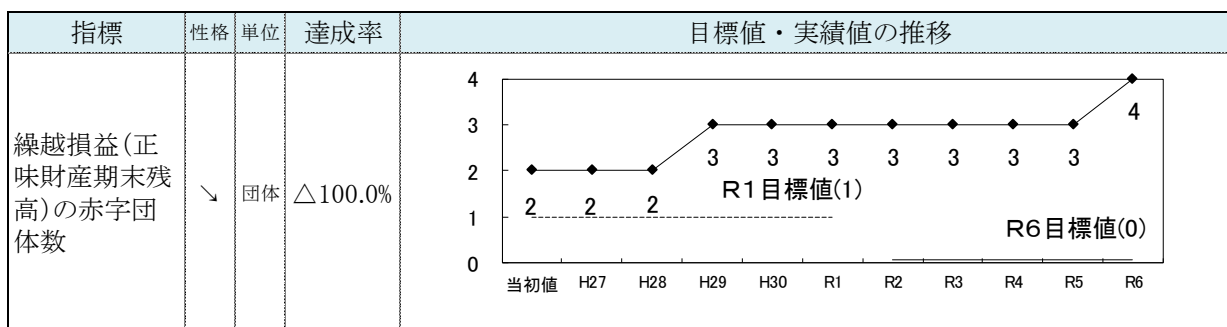
- ・物価高や賃金上昇により、今後も経費の増加が続くと見込まれることから、定期的に見直しを行っていく必要がある。
- ・受益者負担の適正化について、引き続き、市民の理解を得ていく必要がある。

推進項目Ⅲ 出資等法人の健全経営の確保

○経営状況調査の実施・公表

市の出資等割合が法人の出資等額全体の概ね4分の1以上を占める17法人を対象に経営状況調査を実施し、取りまとめ結果を市ホームページで公表した。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

（成果）

- ・経営状況を市民に対して公表することにより、出資法人の透明性を確保することができている。

（課題）

- ・依然として、一定数の法人が「改善を要する」または「大いに改善を要する」状態であるが、法人の事業内容によっては改善が難しいものがあることから、法人を継続する必要性について踏み込んだ検討を行う必要がある。

推進項目Ⅳ 地方公営企業の経営の効率化及び健全化

○水道事業基本計画の推進

第三次水道事業基本計画に基づく実施計画の見直しや財政収支等の確認を行ったほか、企業債の発行額の抑制等による経費削減や業務の効率化を図るとともに、料金収納の強化に取り組んだ。

○水道事業の経営計画の推進

経常経費の精査・検討による費用の削減や企業債の発行額の抑制等による経費の削減を図るとともに、下水道使用料の収納率の向上や水洗化の普及促進等による収益確保に取り組んだ。

○病院事業の経営改善計画の推進

盛岡立病院第4次経営改善計画に基づき、医大移転後における盛岡保健医療圏の救急患者を積極的に受け入れ、市民が安心して受診できる救急医療を提供できるよう取り組んだ。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																								
総資本利益率*1 (上水道)	↗	%	14.9%	<table border="1"> <caption>総資本利益率*1 (上水道) の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>1.30</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2.79</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2.64</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2.71</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2.96</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2.75</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1.97</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2.37</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2.65</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2.34</td></tr> <tr><td>R6</td><td>1.56</td></tr> </tbody> </table>	期	値	当初値	1.30	H27	2.79	H28	2.64	H29	2.71	H30	2.96	R1	2.75	R2	1.97	R3	2.37	R4	2.65	R5	2.34	R6	1.56
期	値																											
当初値	1.30																											
H27	2.79																											
H28	2.64																											
H29	2.71																											
H30	2.96																											
R1	2.75																											
R2	1.97																											
R3	2.37																											
R4	2.65																											
R5	2.34																											
R6	1.56																											
自己資本構成比率*1 (上水道)	↗	%	168.9%	<table border="1"> <caption>自己資本構成比率*1 (上水道) の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>68.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>71.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>74.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>76.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>78.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>80.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>81.8</td></tr> <tr><td>R3</td><td>84.2</td></tr> <tr><td>R4</td><td>85.7</td></tr> <tr><td>R5</td><td>87.7</td></tr> <tr><td>R6</td><td>89.0</td></tr> </tbody> </table>	期	値	当初値	68.9	H27	71.8	H28	74.1	H29	76.6	H30	78.5	R1	80.7	R2	81.8	R3	84.2	R4	85.7	R5	87.7	R6	89.0
期	値																											
当初値	68.9																											
H27	71.8																											
H28	74.1																											
H29	76.6																											
H30	78.5																											
R1	80.7																											
R2	81.8																											
R3	84.2																											
R4	85.7																											
R5	87.7																											
R6	89.0																											
経費回収率*1.2 (下水道)	↗	%	100.0%	<table border="1"> <caption>経費回収率*1.2 (下水道) の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>101.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>102.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100.8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>101.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>101.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>	期	値	当初値	98.1	H27	101.2	H28	102.9	H29	100.8	H30	101.1	R1	101.4	R2	100.0	R3	100.0	R4	100.0	R5	100.0	R6	100.0
期	値																											
当初値	98.1																											
H27	101.2																											
H28	102.9																											
H29	100.8																											
H30	101.1																											
R1	101.4																											
R2	100.0																											
R3	100.0																											
R4	100.0																											
R5	100.0																											
R6	100.0																											
純損益 (病院)	↗	百万円	△358.0%	<table border="1"> <caption>純損益 (病院) の推移</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>-67</td></tr> <tr><td>H27</td><td>162</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-124</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-16</td></tr> <tr><td>H30</td><td>43</td></tr> <tr><td>R1</td><td>-72</td></tr> <tr><td>R2</td><td>575</td></tr> <tr><td>R3</td><td>821</td></tr> <tr><td>R4</td><td>419</td></tr> <tr><td>R5</td><td>-897</td></tr> <tr><td>R6</td><td>-1,159</td></tr> </tbody> </table>	期	値	当初値	-67	H27	162	H28	-124	H29	-16	H30	43	R1	-72	R2	575	R3	821	R4	419	R5	-897	R6	-1,159
期	値																											
当初値	-67																											
H27	162																											
H28	-124																											
H29	-16																											
H30	43																											
R1	-72																											
R2	575																											
R3	821																											
R4	419																											
R5	-897																											
R6	-1,159																											

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
経常収支比率 (病院)	↑	%	△507.1%	<table border="1"> <caption>経常収支比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>98.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>104.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>97.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>97.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>95.0</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>108.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>114.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>104.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>80.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>77.2</td> <td>102.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.5	-	H27	104.5	-	H28	97.1	-	H29	100.1	-	H30	97.0	-	R1	95.0	97.1	R2	108.9	-	R3	114.0	-	R4	104.8	-	R5	80.2	-	R6	77.2	102.7
年度	実績値	目標値																																						
当初値	98.5	-																																						
H27	104.5	-																																						
H28	97.1	-																																						
H29	100.1	-																																						
H30	97.0	-																																						
R1	95.0	97.1																																						
R2	108.9	-																																						
R3	114.0	-																																						
R4	104.8	-																																						
R5	80.2	-																																						
R6	77.2	102.7																																						
<p>*1 平成26年度決算から新会計制度に移行したため、25年度と27年度以降では計算方法が異なります。</p> <p>*2 経費回収率（下水道）の平成28年度以降の実績値は、引当金戻入益の影響を除き算出したものです。</p>																																								

■10年間の成果・課題

（成果）

【水道事業基本計画の推進】

- ・新たな企業債の借り入れを行わず起債を抑制した。
- ・平成29年4月には水道事業を取り巻く環境の変化や水道の使用実態に対応し、利用者間の負担の適正化を図るため水道料金の改定を施行した。

【下水道事業の経営計画の推進】

- ・経常経費の精査・検討による費用の削減や企業債の発行額の抑制等による経費の削減と共に下水道使用料の収納率が向上したことにより、指標目標を達成することができた。
- ・公共下水道使用料の妥当性について検討し、令和7年度からの改定を実施した。

【病院事業の経営改善計画の推進】

- ・公的医療機関として、一般診療はもとより、救急医療及び各種健康診査など多様化する医療需要に応え、市民の健康保持に必要な医療の提供を行った。
- ・地域包括ケア病棟の運用充実を図り、他の医療機関との連携を推進したほか、精神病棟及び感染症病棟を併設した地域多機能病院として、地域医療の確保と保健衛生の向上に積極的に取り組み貢献した。

（課題）

【水道事業基本計画の推進】

- ・今後、有収水量の減少による料金収入の減少や大規模更新等への対応などで収益の減少が予想される。

【下水道事業の経営計画の推進】

- ・公共下水道事業のほか、令和6年度に公営企業会計に移行した農業集落排水事業及び公設浄化槽事業についても、使用料の妥当性や今後の事業方針について検討していく必要がある。

【病院事業の経営改善計画の推進】

- ・収支均衡を図るため、長年に渡り経営改善に取り組んできたが、令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、診療体制や収支構造について大きな環境の変化が生じたところとなり、その後のコロナ補助金の廃止や、全国的な受療率の低下に伴う患者数の減少、人件費・諸物価の高騰などにより経営状況が悪化し、純損失を計上するなど、経営面において課題がある。

方針 4 信頼される市政の確立

組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントを推進するなど、持続可能なまちづくりを支えるとともに、公務員としての資質の向上及び公務員倫理に関する意識の高揚を図るなど、職員の公正な職務の遂行を徹底し、市民に信頼される市政を確立します。

推進項目 I 組織・人事の適正化

○組織機構の見直し

市政の重要課題への取組を重点的に進めるため、また、社会情勢や市民ニーズに対応し、効率的な事務を行うため、組織の新設、再編及び統廃合を行うとともに、特定の行政課題等に対応するための事務局や課内室の設置等を行った。

○定員の適正化

事務事業の見直しや効率化、民間委託等の推進による定数削減に取り組んだほか、施策推進に向けた組織体制の整備や、被災自治体支援のための職員派遣に係る体制整備、仕事と育児や介護との両立を図ることのできる最適な体制構築にあたり、必要な職員を配置した。

○職員給与の適正化

国、県及び他地方公共団体の動向等を踏まえながら、市民の理解が得られる適正な職員給与となるよう努めた。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
市民千人当たりの職員数(一般行政職)	↘	人	△250.0%	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>3.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>4.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>4.3</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	3.8	-	H27	4.0	-	H28	4.0	-	H29	3.9	-	H30	3.9	-	R1	4.0	3.7	R2	4.1	-	R3	4.1	-	R4	4.2	-	R5	4.3	-	R6	4.3	3.6
年度	実績値	目標値																																						
当初値	3.8	-																																						
H27	4.0	-																																						
H28	4.0	-																																						
H29	3.9	-																																						
H30	3.9	-																																						
R1	4.0	3.7																																						
R2	4.1	-																																						
R3	4.1	-																																						
R4	4.2	-																																						
R5	4.3	-																																						
R6	4.3	3.6																																						

■10年間の成果・課題

(成果)

【組織機構の見直し】

- 市民ニーズや社会情勢の変化に対応した体制を整え、より効果的・効率的に行政サービスの提供等を行うことができた。これにより、時間外勤務の縮減や休暇取得日数の増加につながり、職員のワーク・ライフ・バランスの推進が図られた。

【定員の適正化】

- 多様化・高度化する行政ニーズに対応しながら、平成27年度から令和6年度にかけて、職員定数を33人削減したほか、一人当たりの時間外勤務時間数は年間48.5時間減少し(※)、年次休暇取得日数は3.6日増加するなど、働く環境の向上につながった。

※上下水道部、市立病院を除く数値。

【職員給与の適正化】

- ・令和6年度のラスパイレス指数は98.4%であり、中核市平均(99.4%)、全国市平均(98.6%)と比して過大ではないことから、本市の職員給与は、国、県及び他地方公共団体との均衡を踏まえた適正な水準と言える。

(課題)

【組織機構の見直し】

- ・特定の行政課題等に対応するために設置した事務局や室について、当初の目的や成果等を踏まえた見直しを行う必要がある。
- ・少人数の係等について、フォロー体制や働き方改革等の観点から再編・統合を前提として見直しを行う必要がある。

【定員の適正化】

- ・部署により、業務量の偏りや、時間外勤務・年次休暇取得の実績に差が生じていることから、より一層の事務事業の見直しや効率的な組織体制の整備を進める必要がある。

【職員給与の適正化】

- ・人口減少の進行や民間企業との人材獲得競争が激化する中、今後も必要な人材を確保するため、初任給やその他の給与の水準について、国、県及び他地方公共団体との均衡を考慮しつつ、処遇改善につながる取組を検討する必要がある。

推進項目Ⅱ 職員人材育成の推進

○人を活かす人事システム」の運用

能力評価及び業績評価による人事評価を行うとともに、盛岡市人材育成基本方針・人を活かす人事システムに基づき、能力開発・職場環境づくり・人材活用など、人材の確保や育成に向けた取組を行った。

■指標の状況

指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																																				
研修参加率	↑	%	196.8%	<table border="1"> <caption>研修参加率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>83.8</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>87.4</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>91.6</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>93.6</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>95.8</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>96.4</td><td>87.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>93.2</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>94.6</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>91.3</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td>96.3</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td>96.0</td><td>90.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	83.8		H27	87.4		H28	91.6		H29	93.6		H30	95.8		R1	96.4	87.0	R2	93.2		R3	94.6		R4	91.3		R5	96.3		R6	96.0	90.0
年度	実績値	目標値																																						
当初値	83.8																																							
H27	87.4																																							
H28	91.6																																							
H29	93.6																																							
H30	95.8																																							
R1	96.4	87.0																																						
R2	93.2																																							
R3	94.6																																							
R4	91.3																																							
R5	96.3																																							
R6	96.0	90.0																																						
研修内容が有益だと感じた職員の割合	↑	%	△7.7%	<table border="1"> <caption>研修内容が有益だと感じた職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>98.7</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>97.7</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>98.1</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>99.5</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>99.2</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>99.1</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>98.3</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>97.6</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>99.2</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td>97.8</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td>98.6</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.7		H27	97.7		H28	98.1		H29	99.5		H30	99.2		R1	99.1	100.0	R2	98.3		R3	97.6		R4	99.2		R5	97.8		R6	98.6	100.0
年度	実績値	目標値																																						
当初値	98.7																																							
H27	97.7																																							
H28	98.1																																							
H29	99.5																																							
H30	99.2																																							
R1	99.1	100.0																																						
R2	98.3																																							
R3	97.6																																							
R4	99.2																																							
R5	97.8																																							
R6	98.6	100.0																																						

■10年間の成果・課題

(成果)

- ・研修参加率は、目標値を上回っている。
- ・研修計画を年度当初に示し、研修予定を意識した業務遂行が行われている。
研修有益度は、ほぼ横ばいで推移しているが、高い割合を保っている。

(課題)

- ・よりよい研修体制や研修環境を整えるため、研修内容の見直しやオンライン研修等の可能性の検討を含め、職員人材育成を更に推進する必要がある。

推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保

○公務員倫理、法令遵守及び公正な職務執行に関する職員の意識の徹底

新採用職員、中級職員、管理職等をそれぞれ対象としたコンプライアンス研修や月1回以上の職場におけるサービスミーティングを実施したほか、全庁一斉のコンプライアンスチェック及び事務処理に係る総点検を実施した。

○内部監査の充実・強化

盛岡市監査基準に準拠し、3つの重点項目を中心に優先度を勘案した定期監査を実施するとともに、監査基準や監査等の着眼点に基づき、毎月の例月現金出納検査や、決算、健全化判断比率に係る審査等を実施した。また、公営企業会計の決算審査や財政援助団体等監査について、監査専門委員として任用している公認会計士から企業会計制度等について助言・指導を受けるなど、職員のスキルアップを図った。

○外部監査の活用

「農林業の振興に関する財務事務の執行について」を監査テーマとして実施し、監査結果及び意見に対して措置計画を策定した。また、過去に策定した措置計画に基づき措置を講ずるなど、行政経営の効率化に努めた。

■指標の状況

推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保																												
指標	性格	単位	達成率	目標値・実績値の推移																								
まちづくり評価アンケート調査「市の職員は責任を持って仕事に取り組んでいる」と答えた市民の割合	↑	%	△3.8%	<table border="1"> <caption>指標：まちづくり評価アンケート調査「市の職員は責任を持って仕事に取り組んでいる」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>49.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>49.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>44.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>44.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>51.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>48.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>48.8</td></tr> <tr><td>R3</td><td>46.6</td></tr> <tr><td>R4</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>R5</td><td>46.5</td></tr> <tr><td>R6</td><td>48.4</td></tr> </tbody> </table>	時期	実績値	当初値	49.2	H27	49.7	H28	44.8	H29	44.9	H30	51.7	R1	48.8	R2	48.8	R3	46.6	R4	46.3	R5	46.5	R6	48.4
時期	実績値																											
当初値	49.2																											
H27	49.7																											
H28	44.8																											
H29	44.9																											
H30	51.7																											
R1	48.8																											
R2	48.8																											
R3	46.6																											
R4	46.3																											
R5	46.5																											
R6	48.4																											
包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合（過去5年間において）	↑	%	176.7%	<table border="1"> <caption>指標：包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合（過去5年間において）</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>92.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>87.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>91.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>92.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>91.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>93.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>97.4</td></tr> <tr><td>R4</td><td>94.6</td></tr> <tr><td>R5</td><td>94.6</td></tr> <tr><td>R6</td><td>97.8</td></tr> </tbody> </table>	時期	実績値	当初値	92.5	H27	87.3	H28	91.0	H29	90.0	H30	92.7	R1	91.0	R2	93.6	R3	97.4	R4	94.6	R5	94.6	R6	97.8
時期	実績値																											
当初値	92.5																											
H27	87.3																											
H28	91.0																											
H29	90.0																											
H30	92.7																											
R1	91.0																											
R2	93.6																											
R3	97.4																											
R4	94.6																											
R5	94.6																											
R6	97.8																											

■10年間の成果・課題

（成果）

【公務員倫理、法令遵守及び公正な職務執行に関する職員の意識の徹底】

- ・組織全体として、利害関係者との接触・応対に注意を払い、公正な業務執行が安定的に実施された。
- ・職員自らが不適切な行為を未然に防ぐためにすべきことを理解し、実際に行動ができるようになった。

【内部監査の充実・強化】

- ・地方自治法改正に伴い令和2年に策定した盛岡市監査基準に準拠した監査を実施するとともに、定期監査の実施方法について、令和2年度から書面のみを廃止し、実地監査もそれまで一つの部を2か年度に分けて実施していたものを同じ年度に部単位でまとめて実施する形に改め、効率的な監査を実施した。
- ・10年間の合計で、定期監査は、指摘事項が516件、注意事項が571件、監査結果に添える意見が2件、合計1,089件という結果となった。工事監査と財政援助団体等監査を含む指摘事項等の合計は1,160件であった。
- ・毎年度、監査専門委員（令和元年度までは監査専門員）として公認会計士を任用し、専門的な視点による助言・指導を受け、公営企業会計決算審査や財政援助団体等監査に反映することができた。

【外部監査の活用】

- ・外部監査人からの指摘事項等に関して、事務内容の見直しや改善を行い、行政経営の効率化を図ることができた。指摘事項等に対する措置状況は、直近5年間の措置率は97.8%となっており、目標値の95.5%を上回り、ほぼ措置が講じられた。

（課題）

【公務員倫理、法令遵守及び公正な職務執行に関する職員の意識の徹底】

- ・事務執行の誤りが一定の件数発生しており、ヒューマンエラーの発生を前提とした業務執行体制を組んで対応しているが、チェック体制の強化が業務負担の増加の一因となっているため、業務のシステム化・標準化等を推進する必要がある。

【内部監査の充実・強化】

- ・ 監査基準において、各課等における事務処理ミスや事業目的達成を疎外する要因となるリスクを識別し、その内容及び程度を検討して効果的かつ効率的な監査等を実施することとしている。そのためには、各課等において事務上のリスクが発生しないための対応策を整備・運用する仕組み（内部統制）の構築が求められる。健全で効率的に事業を進めるための仕組みの整備・運用状況を勘案して実施内容を検討する必要があるが、仕組みの整備が進んでいない監査対象も多く、監査資料からリスクの重要度を判断している状況である。

【外部監査の活用】

- ・ 未措置事項については、引き続き早期の措置となるよう積極的な取組を行うよう各課等への働きかけが必要となっている。

方針5 自律した経営の推進

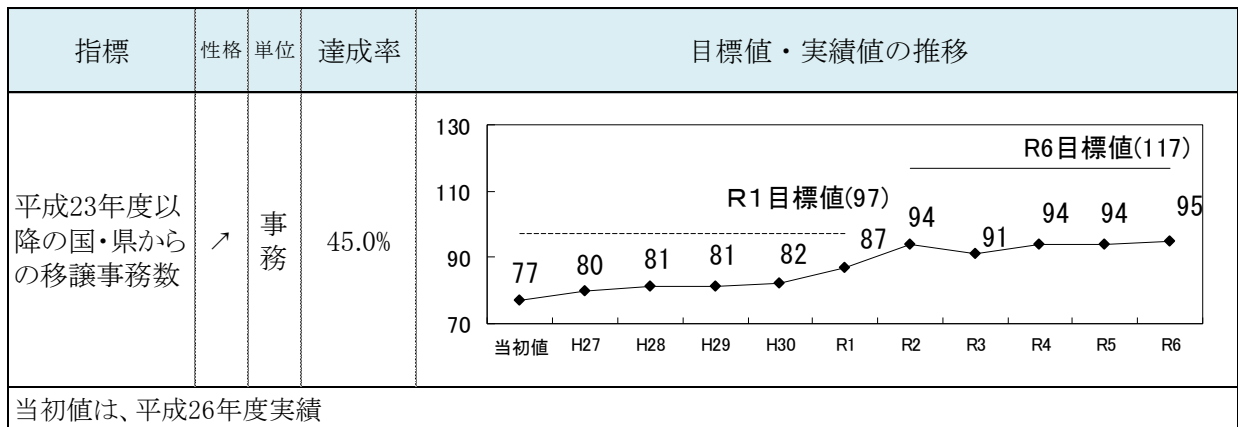
他の自治体との連携や相互協力のもとに、自律した経営を推進します。

推進項目Ⅰ 地方分権の推進

○権限移譲の推進

全国市長会等を通じて、要望活動等を行った。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

(成果)

- 地方分権一括法による大規模な権限移譲の流れが落ち着いた後は、経由事務の廃止や手続の省略等の改革が図られており、指標目標は達成しなかったものの、全国市長会や中核市市長会等を通じ、各市と連携した政策提言や要望活動、調査研究等を通じて本市の市民サービスの向上や行財政の円滑な運営を図った。

(課題)

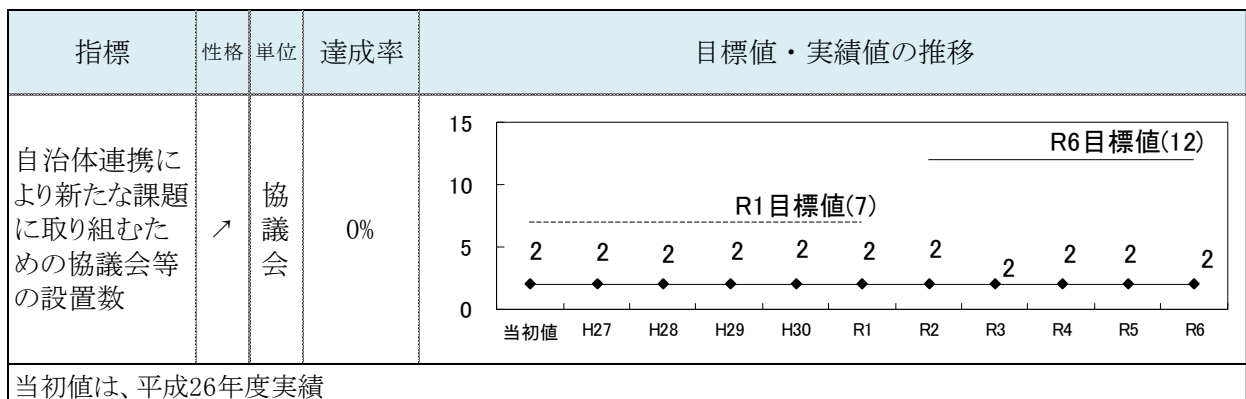
- より良い市民サービスにつなげるため、更なる権限移譲や事務の効率化・利便性の向上が求められる。

推進項目Ⅱ 他の自治体との連携の推進

○自治体連携の推進

みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲載されている事業の進捗を図った。

■指標の状況



■10年間の成果・課題

(成果)

- ・新たな協議会は増えず指標目標は達成しなかったものの、既存の盛岡広域連携都市圏の枠組みにおいて、首長懇談会や事務検討会議の開催を通じ、みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲載した事業の着実な実施や、新たな事業化の取組を行い、広域での連携したまちづくりを進めた。

(課題)

- ・市の内部や各市町間において、連携の必要性やメリットについての認識が不十分であること。
- ・各自治体の地域事情や課題感が異なるため、連携に向けての検討が進まないなど、調整が難しい場合がある。

4 計画期間中の人口動態・土地利用の状況・財政状況

基本構想で掲げた主要な将来見通しと計画期間中の実績を比較しました。

1 人口動態

(1) 人口の推移

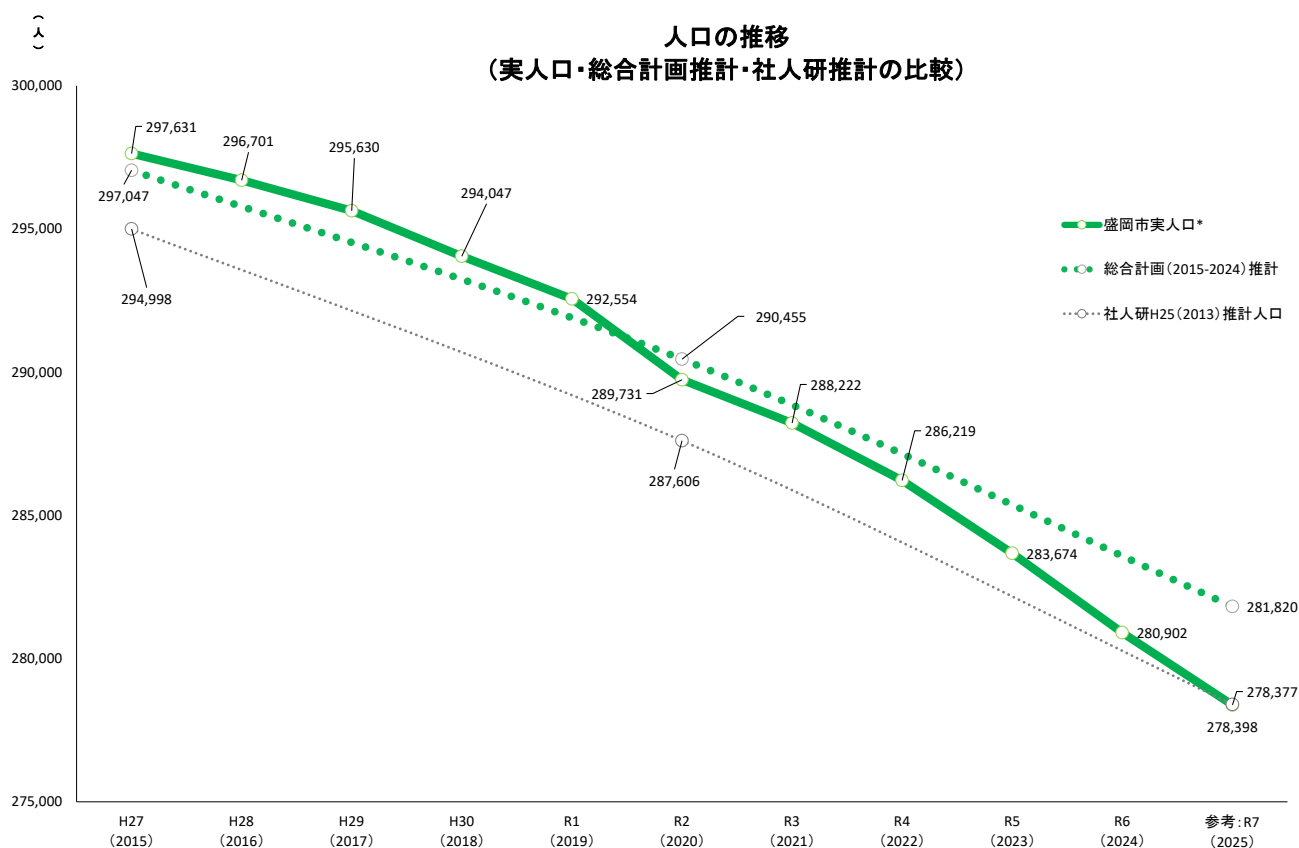
総合計画では、目標年次（令和7年）の本市の人口を281,800人と想定していましたが、岩手県毎月人口推計による人口（以下「実人口」という。）では、令和6年（2024年）に280,902人（想定より△898人）となり、当初の想定を上回るペースで人口減少が進行しています。

平成27年（2015年）と令和6年（2024年）の比較では、総人口で16,729人の減（5.6%の減）となったほか、年齢三区分別では、65歳以上の老年人口が8,297人の増（11.3%増）となった一方で、0歳から14歳の年少人口で6,653人の減（18.1%減）、15歳から64歳の生産年齢人口で22,478人の減（12.3%減）となっており、高齢化が進む一方で、少子化や担い手不足に歯止めがかからない状況です。

(2) 過去の推計人口との比較

平成25年（2013年）発表の国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の将来人口推計との比較でみると、計画期間中は推計値より実人口が上回り、総合計画の各般の取組を通じて、人口減少のスピードが緩和されたといえます。

総合計画将来人口推計との比較では、平成27年（2015年）から令和元年（2019年）までは、推計値より実人口が上回っていましたが、令和2年（2020年）以降から推計値を下回り、特に令和5年（2023年）以降は減少のスピードに拍車がかかっています。



年齢3区分別人口の推移（盛岡市）



単位：人

	区分	H27 (2015)	R2 (2020)	R6 (2024)	参考：R7 (2025)
社人研 推計 (H25)	総数	294,998	287,606		278,398
	年少人口 (15歳未満)	36,165	32,724		29,447
	生産年齢人口 (15～64歳)	183,416	173,619		164,643
	老年人口 (65歳以上)	75,417	81,263		84,308
	年齢不詳	0	0		0
総合計画 推計 (H26)	総数	297,047	290,455		281,820
	年少人口 (15歳未満)	37,182	33,532		29,944
	生産年齢人口 (15～64歳)	185,613	176,092		167,437
	老年人口 (65歳以上)	74,252	80,831		84,439
	年齢不詳	0	0		0
実人口	総数	297,631	289,731	280,902	278,377
	年少人口 (15歳未満)	36,828	33,602	30,175	29,152
	生産年齢人口 (15～64歳)	182,979	167,894	160,501	158,684
	老年人口 (65歳以上)	73,729	80,035	82,026	82,341
	年齢不詳	4,095	8,200	8,200	8,200

資料：(実人口) 国勢調査 (H27・R2)、岩手県人口移動報告年報 (国勢調査以外 (R7は国勢調査実施年のため参考値とする)、各年10月1日、年齢三区分別人口は年齢不詳を除く

<https://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/tyosaBtKekka.html/I002>

(社人研H25推計) <https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson13/3kekka/Municipalities.asp>

2 土地利用の状況

土地は、市民生活や生産活動を行うための共通基盤であり、限られた貴重な資源であるとの認識の下に、保全と活用のバランスに配慮しながら、計画的に土地利用を推進してきました。

その結果、市域における都市計画区域及び農用地区域、森林区域の割合が令和6年度目標値をほぼ達成したほか、毎年度実施する「まちづくり評価アンケート」において、地域の特性を生かした土地利用の計画や管理などが行われていると答えた市民の割合が、平成27年度の約1割から令和6年度には2割と増加した一方で、自然が守られていると思うと答えた市民の割合が令和3年度以降減少傾向にあります。

今後も、田園地域や中山間地域など、自然環境の保全や農林業を営んできた地域では、生産の場としての機能を維持し、水源のかん養や自然災害の防止、地球環境の保全など、より多面的な機能を発揮できるよう配慮しながら土地利用に取り組むとともに、本市の豊かな自然環境のより積極的な情報発信に取り組む必要があります。

宅地や業務用地については、太田地区土地整備事業、都南中央地区整備事業、道明・下飯岡地区整備事業、盛岡バスセンター整備事業、市街地再開発事業（中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業）、道明地区の新産業等用地整備事業が推進されたほか、都心地区や都心地区に連担する職住近接の新しい市街地の形成が図られ、郊外部での大規模な商業施設や幹線道路沿いのロードサイド型の小売店舗や飲食店が増加し、新たなにぎわいが創出されました。

一方で、中心市街地をはじめとする既存商店街においては、店舗の閉鎖等による低未利用地の増加や、新しく整備された地域への人口集積や岩手医科大学の矢巾町への移転に伴う、市域南部への人口集積の偏りが見られるほか、既存住宅地においては空き家や空き地が増加しています。

今後は、中心市街地や既存市街地など、住宅地や事業用地の供給を図ってきた地域では、立地適正化計画に掲げる「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに向け、密度が高く、効率的な土地利用へと誘導するとともに、人口減少などの社会情勢の変化、中心市街地の再生や盛岡らしい景観形成などの新たな行政需要に対応しながら、計画的に土地利用を図る必要があります。



太田地区土地整備事業



盛岡バスセンター整備事業



新産業等用地整備事業

3 財政状況

計画期間中の普通会計における歳入及び歳出決算額は次のとおりです。

総額では、歳入・歳出額ともに、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症への各種対策や、原油価格・物価高騰等への対応により、高い水準で推移しました。

当初の財政見通しでは、歳入では、市税の減少や合併に伴う特例措置の終了による普通交付税の減額の影響などにより減少を見込んでいましたが、市税は横ばい、地方交付税や国・県支出金が増加したため、歳入全体では増加しています。

歳出では、人件費と公債費は同程度で推移する一方で扶助費などの社会保障関係費の増加を見込んでいましたが、人件費や扶助費は増加、公債費は減少しました。

なお、本市の中期財政見通し（令和8年度～12年度）においては、令和8年度以降に毎年度収支不足が見込まれ、令和12年度に約37億円の大幅な不足が見込まれるほか、収支の差を財政調整基金の取崩しにより対応した場合、同基金残高は令和12年度には枯渇する見通しです。

(単位：百万円)

区 分	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	H27～R6計	
歳 入	市 税	42,142	42,773	42,670	42,744	43,150	42,255	41,867	42,530	42,610	42,261	425,002
	地方交付税等	15,238	14,720	13,988	13,339	13,948	14,261	16,822	16,083	17,620	19,731	155,750
	国・県支出金	27,438	27,634	26,863	26,786	29,649	66,948	46,067	44,162	39,690	38,354	373,591
	地 方 債	12,844	11,096	10,479	11,513	13,876	13,566	15,661	13,840	11,501	10,595	124,971
	そ の 他	17,027	16,862	16,886	17,686	16,333	17,561	18,692	22,689	22,609	24,215	190,560
	計	114,689	113,085	110,886	112,068	116,956	154,591	139,109	139,304	134,030	135,156	1,269,874
歳 出	義務的経費	58,076	57,576	58,798	58,147	59,876	62,141	68,582	67,015	67,067	67,482	624,760
	人 件 費	16,535	15,363	15,346	14,861	14,829	15,736	15,411	15,556	15,296	16,976	155,909
	扶 助 費	28,611	29,751	30,885	30,846	32,689	34,039	40,250	38,602	39,202	38,768	343,643
	公 債 費	12,930	12,462	12,567	12,440	12,358	12,366	12,921	12,857	12,569	11,737	125,207
	投資的経費	15,464	13,366	11,648	13,398	17,194	17,146	17,944	20,845	16,902	17,541	161,448
	そ の 他	39,032	40,582	38,810	38,780	38,929	73,892	50,028	48,717	47,180	47,863	463,813
	計	112,572	111,524	109,256	110,325	115,999	153,179	136,554	136,577	131,149	132,886	1,250,021

(四捨五入による端数処理のため、合計が合わない場合があります。)

5 全体総括

1 10年間のあゆみ

計画期間の始期である平成27年度からの10年間は、玉山村との合併10周年や都南村との合併30周年をはじめ、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会や市制施行130周年を契機に、国内外との様々な交流や盛岡の更なる魅力向上、交流人口の拡大などに取り組みました。

また、未曾有の危機となった新型コロナウイルス感染症における感染拡大防止対策や地域経済支援に総力を挙げて取り組んだほか、コロナ禍による閉塞感からの脱却を目指し、にぎわいと活力の回復と創出を図りました。

さらに、この間、重点的・施策横断的に取り組む戦略プロジェクトにおいて、特に子育て支援や、産業支援に力をいれて取り組んだほか（P152）、29の施策の取組や自治体経営の取組において、限られた財源の中で多様化・複雑化するニーズに対応しながら、行政サービスの向上と事務の効率化に取り組んできました。

○主な取組（にぎわい創出・魅力の発信・交流人口の拡大）

H27（2015）	<ul style="list-style-type: none"> ・玉山村合併10周年 ・ハンギングバスケット設置数日本一（公共空間） ・盛岡市アイスリンクオープン（東北唯一の公設通年型スケートリンク）
H28（2016）	<ul style="list-style-type: none"> ・希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催
H29（2017）	<ul style="list-style-type: none"> ・美食王国もりおかの展開
H30（2018）	<ul style="list-style-type: none"> ・東北絆まつり2018盛岡の開催 ・東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン認定（カナダ）
R1（2019）	<ul style="list-style-type: none"> ・市制施行130周年 ・盛岡シティマラソンや盛岡国際俳句大会などの新たな事業の実施（市制施行130周年記念事業） ・東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン認定（マリ共和国） ・友好都市提携（東京都文京区・花蓮縣花蓮市） ・木伏緑地の整備（公衆用トイレ、芝生広場、飲食店エリア）
R2（2020）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策、地域経済支援（～R5） ・コロナ禍を契機としたDXの推進、移住定住・関係人口拡大の取組強化
R3（2021）	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック事前キャンプ受入（カナダ代表）
R4（2022）	<ul style="list-style-type: none"> ・都南村合併30周年 ・国指定重要無形民俗文化財「永井の大念仏剣舞」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録 ・「チャグチャグ馬コ」「盛岡さんさ踊り」「盛岡秋祭り山車」3年ぶり開催 ・新・盛岡バスセンターの開業と周辺エリアの市街地再開発の促進 ・JR東北本線岩手飯岡駅東西線自由通路と新駅舎の完成
R5（2023）	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選出 ・JR田沢湖線前潟駅の開業 ・いわて盛岡ボールパーク オープン ・盛岡市動物公園ZOOMO リニューアル ・新型コロナウイルス感染症5類移行
R6（2024）	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市立図書館 リニューアル

2 主な成果

まちづくりの取組や自治体経営の取組において、特に達成状況が良好*となった取組は次のとおりです。

これらの総合的な取組により、まちづくりの取組に対する市民の実感の満足度が全ての施策において向上していること（P13）や、「盛岡が好き」と回答した市民の割合が8割近くを維持していること（P11）、過去の見通し（社人研推計）より人口減少のスピードが緩和する（P144）など、計画を着実に推進することができました。

また、国指定重要無形民俗文化財「永井の大念仏剣舞」のユネスコ無形文化遺産の登録や、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに続く2番目に盛岡市が選ばれるなど、これまで脈々と受け継がれてきた本市の自然や歴史、文化やまち並みなど、盛岡の暮らしそのものが世界から評価され、改めて市民の自信と誇りの高まりにつながるなど、目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、大きく前進することができました。

(*施策・推進項目の指標達成率の平均が80%以上の取組)

(1) まちづくりの取組

施策名	目標値を達成（100%以上）・おおむね達成（80%以上）の指標
(施策4) 健康づくり・医療の充実	三大死因の死亡率、「身近に健康について相談できる人がいる」「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合
(施策5) 障がい者福祉の充実	障がい福祉サービス受給者数、施設から一般就労への移行、管内事業所の障がい者雇用率
(施策6) 生活困窮者への支援	生活保護受給世帯から自立した世帯の割合、生活困窮者の自立支援相談の解決率
(施策7) 人権尊重・男女共同参画の推進	人権相談件数（女性センター女性相談・子ども青少年課女性相談・子ども家庭総合支援センター児童家庭相談）
(施策10) 生活環境の保全	焼却処理施設での年間処理量
(施策11) 歴史・文化の継承	文化財数、「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合
(施策16) 計画的な土地利用の推進	都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合、農用地・森林として保全し土地利用する割合
(施策19) 社会を担う人材の育成・支援	もりおか若者サポートステーションに年度内に新規登録した盛岡市民のうち就職決定した者の割合、ジョブカフェいわての利用者数
(施策22) 商業・サービス業の振興	卸・小売の年間販売額、サービス業の事業所数
(施策23) 工業の振興	製造品出荷額等
(施策29) 都市間交流の促進	都市間交流を促進するための協定等の締結数

(2) 自治体経営の取組

推進項目名	目標値を達成（100%以上）・おおむね達成（80%以上）の指標
(1-I) 協働の環境整備	市民協働による事業の件数
(1-II) 公民連携の推進	公の施設に対する指定管理者制度導入率
(2-II) アセットマネジメントの推進	施設保有量の適正化
(2-III) 事務改善の推進	「職員の対応が満足」「窓口が便利」と答えた市民の割合
(3-I) 将来負担を意識した財政運営	実質公債費比率、将来負担比率、予算総額に対する新規市債発行額の割合
(3-II) 自主財源の確保	収納率（市税、国民健康保険税、保育料、住宅使用料）、未利用財産の処分・活用額
(4-II) 職員人材育成の推進	研修参加率
(4-III) 公正な行政事務の確保	包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合（過去5年間）

3 主な課題

まちづくりの取組や自治体経営の取組において、達成状況に課題*があった取組は次のとおりです。
 (*施策・推進項目の指標達成率の平均が0%以下の取組)

(1) まちづくりの取組

施策名	当初値以下（0%以下）の指標
(施策2) 子ども・子育て、若者への支援	子育て支援サービス利用者数、「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合
(施策3) 高齢者福祉の充実	「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合
(施策9) 地域コミュニティの維持・活性化	「コミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合
(施策12) 芸術文化の振興	「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合
(施策14) 「盛岡ブランド」の展開	地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」、観光客入込数
(施策15) 良好な景観の形成	「盛岡市の景観について改善したい景観がある」と答えた市民の割合
(施策17) 子どもの教育の充実	学力検査、体力運動能力調査の全国水準との比較（学力：小4国語・算数、中2国語・数学・英語）（体力：小5・女、中2・男、中2・女）
(施策18) 生涯学習の推進	「この1年間に何らかの生涯学習をした」と答えた市民の割合
(施策20) 地球環境の保全と自然との共生	「自然が守られていると思う」「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合
(施策24) 観光の振興	観光客入込数
(施策27) 交通環境の構築	交通の手段分担率の変化、1日当たりのバス・鉄道利用者数

(2) 自治体経営の取組

推進項目名	当初値以下（0%以下）の指標
(2-I) 予算配分の最適化	小施策評価における改革改善案の実施率
(3-III) 出資等法人の健全経営の確保	繰越損益（正味財産期末残高）の赤字団体数
(3-IV) 地方公営企業の経営の効率化及び健全化	純損益（病院）、経常収支比率（病院）
(4-I) 組織・人事の適正化	市民千人当たりの職員数（一般行政職）
(5-II) 他の自治体との連携の推進	自治体連携により新たな課題に取り組むための協議会等の設置数

4 今後に向けて

これまで「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を目指して総合計画各般の取組を進めてきたところでありますが、全国的に人口減少が進行する中で、本市においても、若者や女性の大都市への流出、経済活動の縮小、地域コミュニティの担い手不足、地域公共交通の維持やインフラ老朽化への対応、社会保障関係費の増大や都市の活力の低下が懸念されているほか、人とのつながりの希薄化、近年頻発する大規模災害、新技術の急速な発展、地球環境への関心の高まりへの対応も必要となっています。

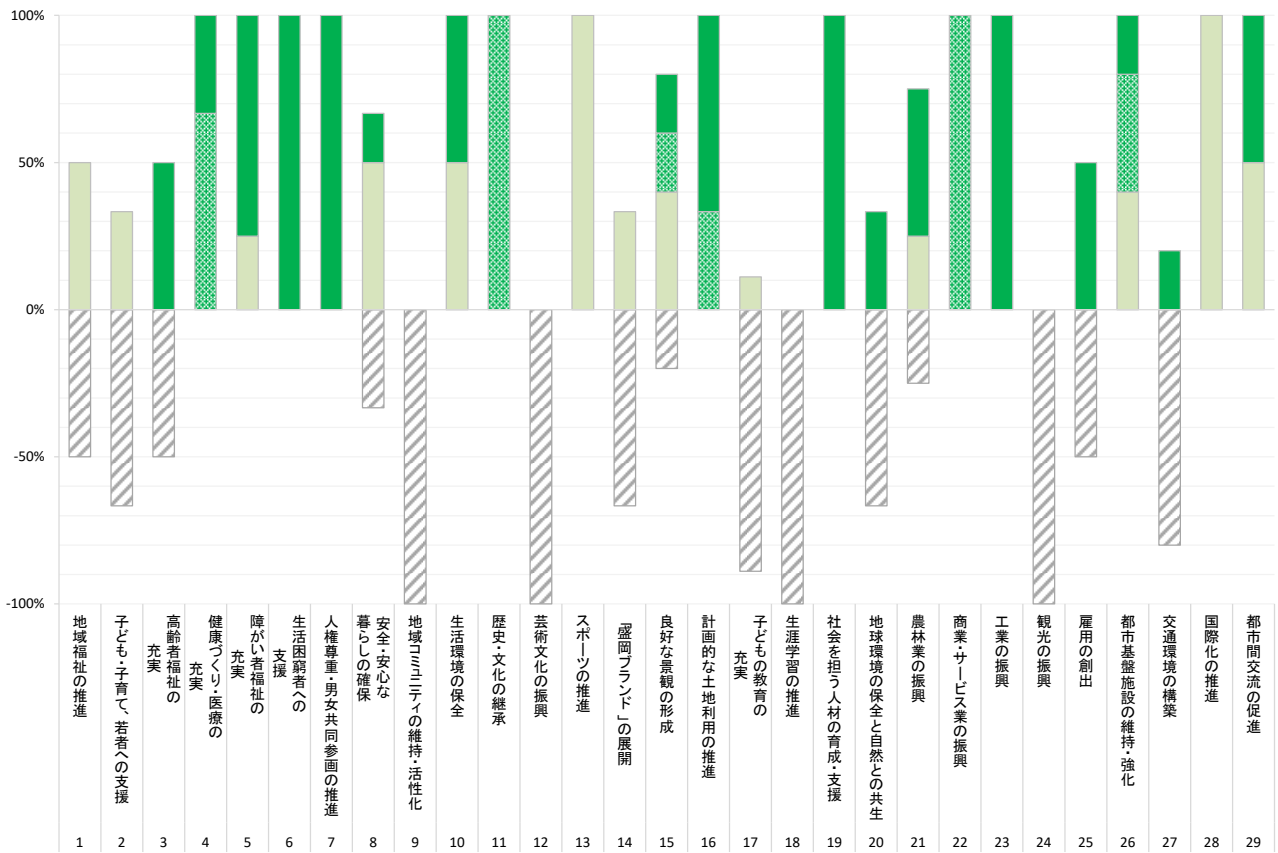
新しい総合計画の策定にあたり実施した市民アンケート等では、盛岡での生活に対する満足度は高く、今後も住み続けたいという声が多い反面、仕事や都市基盤に関するニーズが高いことが明らかになっています。

今後においては、人口対策を喫緊の課題と捉え、人口減少下においても、より強く元気な地元経済を創り、本市に更なる活力をもたらす、満たす取組を通じて、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、市民の誰もが希望する未来を描き、自らの夢をかなえることのできるまちづくりを進めることにより、盛岡市総合計画（令和7年度（2025年度）-令和16年度（2034年度））に掲げる「輝きが増し活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡」の実現を、まちづくりに関わる全ての主体と共に目指します。

■まちづくりの取組（指標の達成状況）

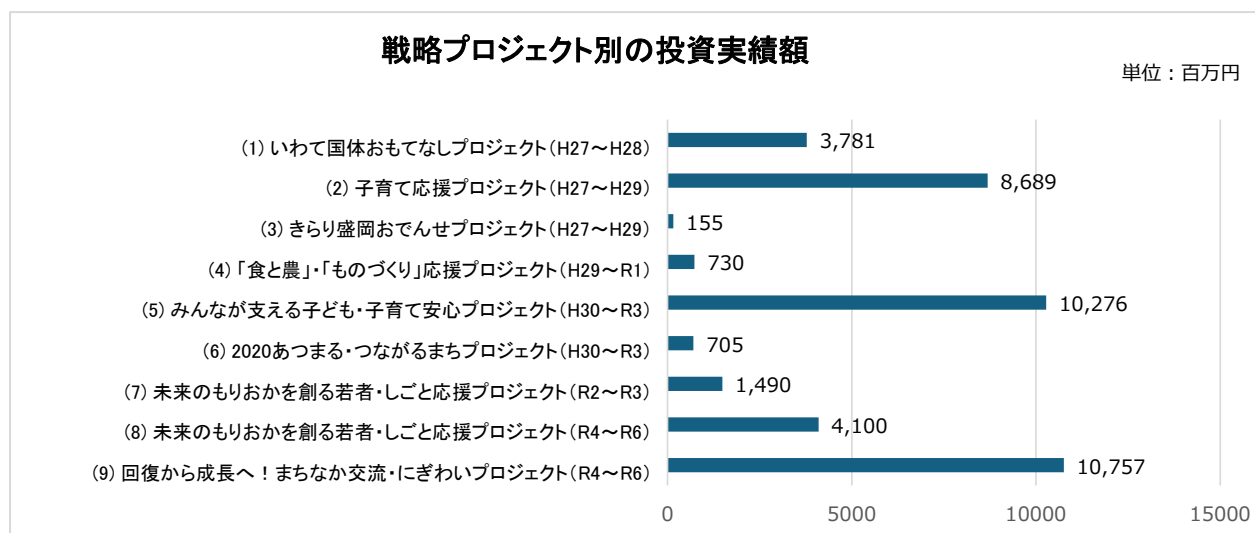
指標達成状況（施策別）

▨ 当初値以下(0%以下)
 ■ 当初値より向上(80%未満)
 ■ おおむね達成(80%以上)
 ■ 目標値達成(100%以上)



施策No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
目標値達成 (100%以上)			1	1	3	2	1	1		1					1	2			2	1	2		1		1	1	1		1
おおむね達成 (80%以上)				2							2				1	1					2					2			
当初値より改善 (80%未満)	1	1			1			3		1			1	1	2		1				1					2		1	1
当初値以下 (0%以下)	1	2	1					2	1			1		2	1		8	1		2	1			1	1		4		
計	2	3	2	3	4	2	1	6	1	2	2	1	1	3	5	3	9	1	2	3	4	2	1	1	2	5	5	1	2

■戦略プロジェクト（投資実績額）

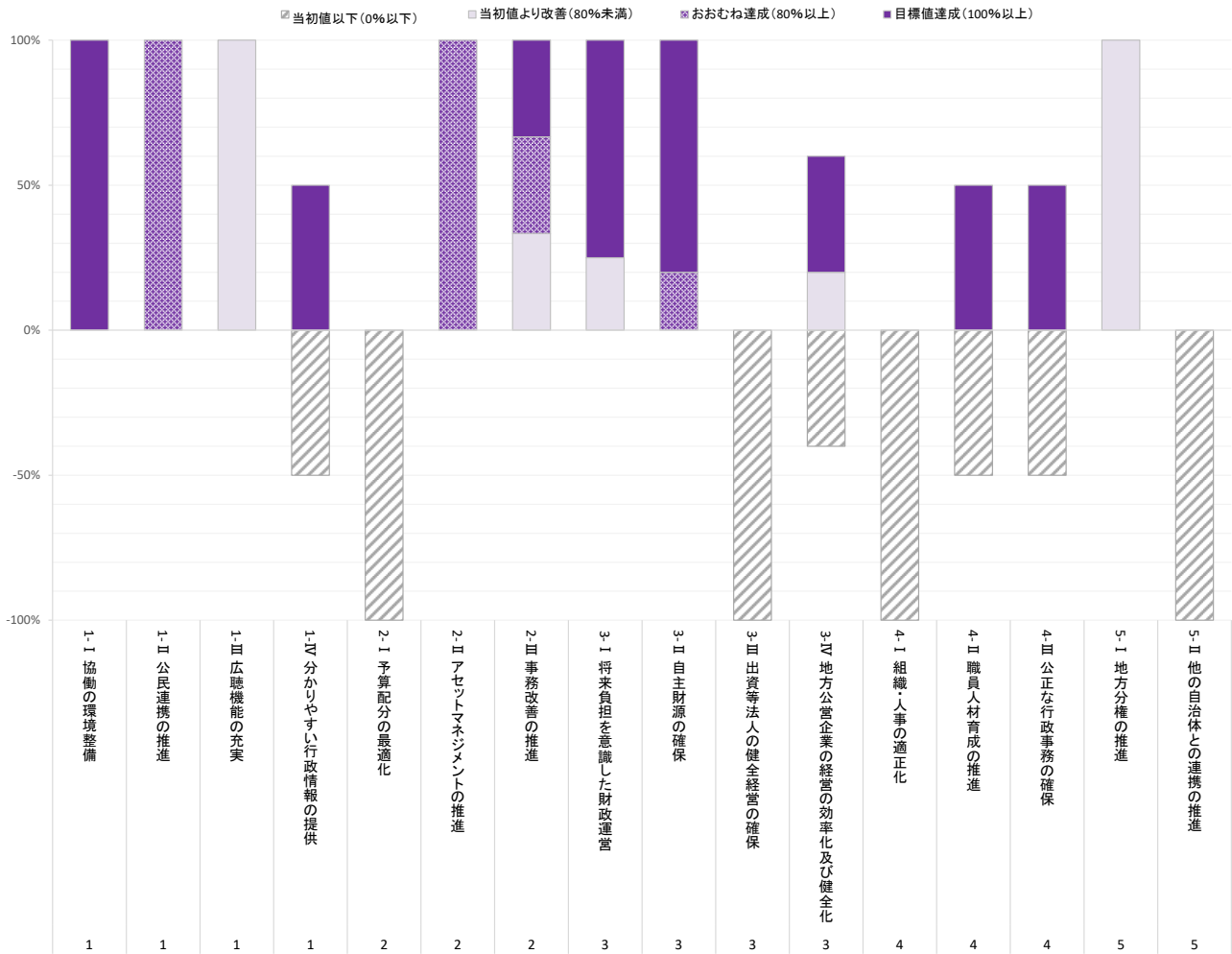


プロジェクト名（投資実績額順）	投資実績額 （百万円）	構成割合
1 (9) 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト（R4～R6）	10,757	26.4%
2 (5) みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト（H30～R3）	10,276	25.3%
3 (2) 子育て応援プロジェクト（H27～H29）	8,689	21.4%
4 (8) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（R4～R6）	4,100	10.1%
5 (1) いわて国体おもてなしプロジェクト（H27～H28）	3,781	9.3%
6 (7) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（R2～R3）	1,490	3.7%
7 (4) 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（H29～R1）	730	1.8%
8 (6) 2020あつまる・つながるまちプロジェクト（H30～R3）	705	1.7%
9 (3) きらり盛岡おでんせプロジェクト（H27～H29）	155	0.4%
計	40,683	100.0%

（四捨五入による端数処理のため、合計が合わない場合があります）

■自治体経営の取組（指標の達成状況）

指標達成状況(自治体経営の取組)



推進項目No.	1-I	1-II	1-III	1-IV	2-I	2-II	2-III	3-I	3-II	3-III	3-IV	4-I	4-II	4-III	5-I	5-II
目標値達成 (100%以上)	1			1			1	3	4		2		1	1		
おおむね達成 (80%以上)		1				1	1		1		0					
当初値より改善 (80%未満)			1				1	1			1				1	
当初値以下 (0%以下)				1	1					1	2	1	1	1		1
計	1	1	1	2	1	1	3	4	5	1	5	1	2	2	1	1

編集：盛岡市市長公室企画調整課
〒020-8530 盛岡市内丸 12-2
TEL 019-613-8394（直通）
kikaku@city.morioka.iwate.jp